

アンチレイシズムリソースキット



第2版

by

アルバータ市民自由リサーチセンター

カルガリ一人種関連と文化交流委員会

アンチレイシズムリソースキット

第2版

アルバータ市民自由調査センター
及びカルガリ一人種関連と
文化交流委員会

アルバータ市民自由調査センター
所在地:
アルバータ州カルガリー
大学通り2500
カルガリー大学
法学部付
T2N 1N4
(403) 220-2505
Fax (403) 284-0945
E-mail: aclrc@ucalgary.ca
© 2007, 2009

謝辞

Alberta **LAW**
FOUNDATION



カルガリー人種関連と
文化交流委員会(CCRCCU)



アルバータ法務財団

アルバータ市民自由調査センター(ACLRC)はアルバータ法務財団からの補助金によって支援されている。

このプロジェクトは多文化教育の為のアルバータ協会によって援助されている。アンチレイシズム教育プロジェクトは、カナダ司法省国家犯罪防止プログラムからの補助金によって支援されている。



Department of Justice
Canada

Ministère de la Justice
Canada

アルバータ州市民自由調査センター役員会

エドウィン・W・ウェブキング（議長）；ジャネット・キーピング（会計係）；ドリーン・バリー；マイケル・グリーン；マイケル・ワイリー；ジェニファー・コシャン

マッピングコーディネーター及び編集者

ブレンダ・ジョンストン、学部4年、修士

コピーエディター

リンダ・マッケイパノス、教育学部、法学部、法学修士、エグゼクティブディレクター、ACLRC

プロジェクトアシスタント

アサド・チャウダリー、法学生

ジェニファー・チェン、教育実習学生

マイケル・ラマーシュ、教育実習学生

メーガン・ローチ、教育実習学生

エヴァン・スカー、教育実習学生

プロジェクトマネジメント

リンダ・マッケイパノス、教育学部、法学部、法学修士、エグゼクティブディレクター、ACLRC

ヴィルマ・ドーソン、エグゼクティブディレクター、CCRCCU

フランシー・フランク、学部、教職免許、アドミニストレーター、ACLRC

調査センターは次の人々の貢献に感謝するものである。

ボランティア：モニカ・チェン、ブレンダ・クワン、ジーン・ルドラム（カルガリー公共図書館）、ジェニファー・アトキンス、ジョスリン・キース・アサンテ、パメラ・ドス・ラモス、フラン・ザボーニアック

表紙：DiscoverySchool.com のクリップアートギャラリーより使用

アルバータ州市民自由調査センターホームページ：<http://aclrc.com>

ISBN# 1-896225-50-0

© 2007, 2009

目次

イントロダクション.....	5
プロジェクトの背景.....	5
メンタリング・プログラム.....	6
アンチレイシズムカリキュラム.....	6
アンチレイシズムリソースキット.....	6
アンチレイシズムリソースキット評価ツール.....	7
ステレオタイプ.....	8
トークニズム（名目的行為）.....	9
登場人物の役割.....	9
問題を調査し、それらはどのように解決されていくか.....	9
成功の為の基準.....	9
ライフスタイル.....	10
パワー（力）.....	10
ヒーローとヒーロー的特性.....	10
自己イメージ.....	10
支配的な観点.....	11
表現.....	11
知識表現.....	11
言語.....	11
書籍.....	13
ウェブサイト.....	57
ビデオ.....	83

イントロダクション

このリソースキットはアンチレイシズムカリキュラムとメンタリングプロジェクトの一部であり、特にプロジェクトのカリキュラム部分に関連している。

プロジェクトの背景

世界的なテロリズムの問題、政治不安と不安定性は我々の社会の構造と全てのカナダ人の精神に対して、判別容易なマイノリティのコミュニティと移民に向けられたレイシズムの増大と疑惑へと至る、脅威を誘発する変化をもたらした。

これらの態度は我々の学校に損害をもたらしている。移民やマイノリティの学生数の多い学校は、文化間の争いごとの顕著な増大を見ている。多くの学生がハラスメントやオストラシズム（村八分）に直面し、職員と教師には問題に立ち向かう備えがなく、そしてそれ故に、問題に対してむしろ貢献しており、解決策を提供するものではない感じている。特に 9.11 と最近の中東での政治不安の後では、多くの移民やマイノリティの若者は、カナダでの人種差別の根絶について悲観的に感じている。

この 2, 3 年を経てきて、カルガリーやエドモントン、そしてその他の地域のいくつかの学校において、人種間のそして同じ人種同士での争いの出来事があったことにより、大きな関心があることが分かった。これらの争いごとの状況のいくつかは、親たち、生徒たち、学校の管理者たちと教師たちの間の多くの関心を高め、引き起こしている。

我々は、学校や家族、そしてコミュニティは、この重要な問題に一丸となって取り組むべきであると信じている。コミュニティのロールモデルによる指導（メンタリング）は、原住民の若者が直面する困難に取り組むために、多くの原住民のコミュニティと学校環境で重要な役割をもつ。プロジェクトのメンタリングパートは、学校において公民権を奪われたマイノリティの若者が直面する困難に取り組むための同様なモデルを使い、対立的で暴力的な態度/事件は、非脅迫的で回復性のやり方で回避され、取り組まれるだろう。

個々人がレイシズムの経験に対応し対処する手助けをすることに加えて、彼らと彼らのコミュニティに人権と責任について教育することもまた有益だろう。この人権と責任についての情報の普及は、差別の標的であるか、そうなるかもしれない人々に、そしてまたそのような活動に加わるか、そうなるかもしれない人々に影響をもたらすだろう。人種やその他の要素のせいで攻撃されていると感じる人々は、この種の差別的な振る舞いが非難されてきたことを知る必要がある。差別に加担する人々に対するメッセージは、この行いは間違っているということだ。彼らがその態度を改めないととも、少なくとも、彼らが可能性のある結果に気が付くとき、彼らの行いを改める時が来ることは、十分にありうる。

プロジェクトの意図は、公的教育システムの全てのレベルにおいて、アンチレイシズム教育を促進し容易にすることである。そのゴールは、全ての生徒が適切かつ効果的なアンチレイシズム教育を受けることを確実にし、個人のレイシズムの経験に対する取り組みを支援し、自己肯定的かつ生産的なやり方で安全を増すことである。

メンタリング・プログラム

メンタリングは、異文化間そして同じ文化の間での効果的なコミュニケーション、争いの解決、そしてアンチレイシズム教育活動を通じた、互いを尊重する関係を確立し維持するためのリソースや支援、そしてトレーニングの提供によって、争いに巻き込まれた生徒に対して、文化的に特有の介入、調停、指導によって援助する。我々は、メンタリング・プログラムを開発し試すためのコミュニティ組織の中の既存の就労関係を用いる。既存のコミュニティ文化リエゾン勤務者は既に、家族と同様の行動的問題を有する若者と共に働くことにより、調停と仲介における重要な役割を演じている。これらのリソースを活用し促進すること、そして我々にできる限りそれらを効果的に使うことは我々の意図するところである。我々は先述したメンターオリエンテーションセッションとメンティー（生徒）教育セッションの開発を計画している。

アンチレイシズムカリキュラム

プロジェクトのアンチレイシズムカリキュラム部分は、教師と生徒に、教室やコミュニティそして現在の資材源につきもののレイシズムの問題を議論し、理解し、取り組むために必要な、自己認識と知識、そして道具を提供することを意図している。プロジェクトのこのカリキュラムの部分は二つの要素がある。

- 1) 教師に進行中の教育セッションを提供すること。
- 2) リソースキット、つまり、クラスルームアンチレイシズムリソースのオンラインガイドの提供

アンチレイシズムリソースキット

我々はいくつかのアンチレイシズム教育リソースが使用できることを認識している。しかしながら、教育者はこれらのリソースの適切なリストも、彼らの教室に対してどのリソースが適しているかを評価するツールも持っていない。

このリソースキットは、多くのアンチレイシズム教育リソースを一つにまとめ、リストとレイシズム問題に取り組む本やウェブサイトやビデオの詳細な説明を含めることを意図している。このキットはまた、現在の本やレッスンプランをアンチレイシズムレンズを通して評価するために、教師や生徒によって使われる評価ツールを提供する。

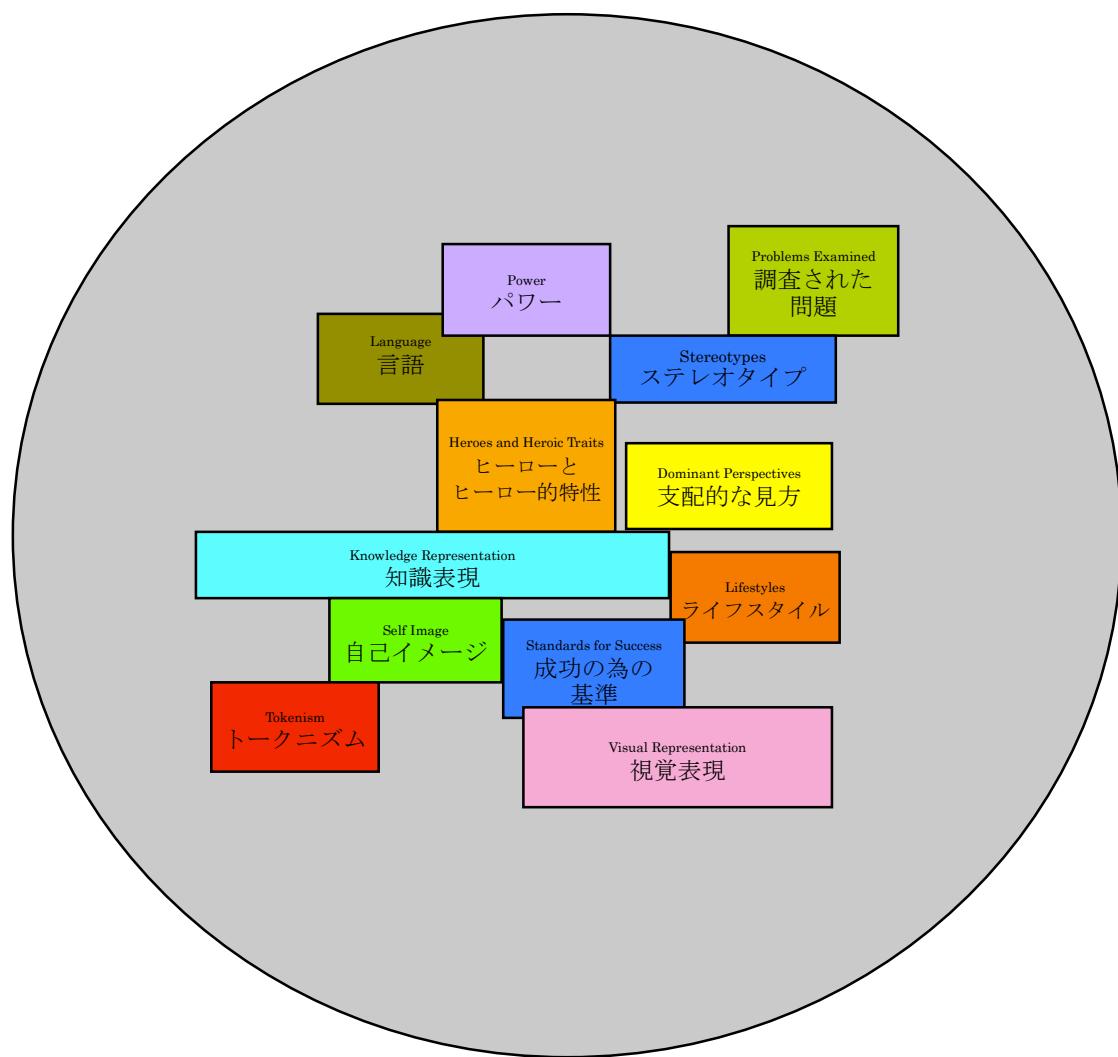
このリソースキットは4つのセクションに分かれる。

- 1) 評価ツール
- 2) 本
- 3) ウェブサイト
- 4) ビデオ

アンチレイシズムリソースキット

アンチレイシズムリソースキット評価ツール

Anti-Racism Resource Kit Evaluation Tool



ANTI-RACISM RESOURCE EVALUATION TOOL

アンチレイシズムリソースキット評価ツール

Making Colour Visible

色を見るようにすること

アンチレイシズムリソースキット

教師の権威をもって誰かが「世界を説明しなさい、そして君はその中にいない」と言う時、それは心理的不均衡の瞬間だ。あたかも鏡を覗き込んだときにそこに何も見えないように。

R・ロザルド

メッセージは我々が教室で使う教材によって伝えられる。そして我々が伝えるメッセージがポジティブで健康なイメージを全ての生徒に示すことが重要である。この評価ツールは、教師と生徒が学校で使われるリソース教材を分析するのに役立つようデザインされている。もし学生達が、読んだ本や彼らが取り組む教室の教材の中にレイシズムを見つけ出す方法を学ぶことができたら、彼らはその知識をコミュニティに引き入れ、彼らの日常生活の中で使うだろう。このツールはまた、教室の環境の中でレイシズムを議論するための言葉を提供する。つまりそれは、レイシズム問題が発生したときに、生徒たちが互いに影響しあう方法を提供することである。

現在存在するようなツールは、しばしば問題にされなくなるような問題を強調したり、明らかにするように意図された質問を含んでいる。教師と学生が彼らの教室やコミュニティに関連するような例を示すことができるよう、すぐに利用ができる例はほとんどない。

下線を引かれたパラグラフは、ありうる教室でのディスカッションを手助けするため、そして種々の概念を明確にするのに役立つように挿入されている。教師や生徒が議論に取り組む前に、彼らは、使われる述語や概念の彼ら自身の理解を深めるためにさらに調査をしたいと思うかもしれない。これは教材に対する議論や批評を深めるのに役立つだろう（術語と概念はこのリソースキットのウェブサイトセクションで調査できる。- [人種平等の為の教育サイト](#)を見てほしい）。勿論、生徒たちとの議論は、適合する学年やカリキュラムに特有のものとなるだろうし、以下に示される議論は修正される必要があるかもしれないし、特定の学年に対しては適切でないかもしれない。

教材の批評や評価は、その価値を損なうものではなく、寧ろ有色人種や先住民や白人の生徒たちに対し、彼らの生きた経験を理解し、使うように要求された教材に取り組み可視化し、前向きな表現を与えられる様に文脈を示すことにより、付加価値を提供することを忘れないようにしなさい。

ステレオタイプ(Stereotypes)

決めつけすることやステレオタイプは有害である。なぜなら、それは個人のアイデンティティに対して許されることではないからである。ステレオタイプは複雑なアイデンティティを過度に単純化する。ステレオタイプは好意的にみるもの（勤勉だ、頭がいい、運動能力が高いなど）と批判的に見るもの（頭が悪い、怠け者だなど）の両方があるが、どちらも有害である。例えば、特定のグループの人々が数学を得意としている信じることは、好意的ステレオタイプとして見られるかもしれないが、そのグループ出身の、数学が苦手だが他の事が得意な人に大きなプレッシャーをかける。

- 原住民の人々や有色人種の人々がどのように描写されるか。描写は文化や人種についての決めつけを助長するだろうか？有色人種の人々と原住民の人々は、広範な活動や仕事をすることで異なるように描写されるべきである。
- 登場人物たちは人種や民族のせいで卑しめられたり嘲笑されてたりはしないか？
- 貧しいのは誰か？

トークニズム(名目的行為)(Tokenism)

トークニズムは最低限の必要性を満たすことの実践である。例えば、本や映画の（登場人物の）中に有色人種の人や原住民の人を含めること、そしてステレオタイプ的な、若しくは彼らの個人的な特徴や経験を考慮しない手法で彼らを描写すること。

- ・ 登場人物たちは白い顔に着色されたように見えるか、または区別される特徴を写実的に描写されているか？
- ・ 違いは意味のある方法で議論され若しくは検査されているか？

登場人物の役割(Character Roles)

教室での議論では、メディアがどのように人々を描写してきたかが議題になるかもしれない。どのような人々がどんな方法で描写されてきたか。あなたはどのように肌の色や文化が描写されたか検査するために、雑誌や新聞の切り抜きを持ってくるように生徒たちに頼むかもしれない。特定の方法でそれらが描写されたとき、生徒たちに対するメッセージはどんなものになるか？

- ・ 誰が何をしているか？どのような仕事や活動に有色人種、原住民、白人の人々が従事しているか？
- ・ 卑屈な役割とはどのようなもので、これらの役割を負うのは誰か？あなたはどのようにして役割が卑屈であることを知ったか？
- ・ 誰が主人公と思われるか？
- ・ 誰が意思決定を担うか？
- ・ どのような人々のグループが「ギャング」として描写されるか？
- ・ 女性達の役割はどんなものか、そして彼らはどのように見られているか？

問題を調査し、それらはどのように解決されていくか(Examine problems and how they are being resolved)

- ・ 誰が問題を解決するか？
- ・ 有色人種や原住民の人々は問題とみなされているか？
- ・ 貧困のような問題は調査されているか、若しくは単に受け入れられているのか？貧困と人種の間の関係は、有色人種や原住民の人々が直面する壁を調査することを通じて探求されているか？
- ・ 行動主義の検査があるか、または単にどんな形での行動主義でもOKであることを受け入れているだけか？

成功の為の基準(Standards for success)

あなたの教室の全ての生徒が成功するであろう全ての方法とはどんなものか？成功することのいくつかの異なるやり方のリストを示しなさい。

- ・ あなたが評価している教材において成功の為の基準はどんなものか？
- ・ 誰の成功の為の基準が考えられたのか？
- ・ 有色人種、原住民そして白人の間の成功した関係において、理解と許容のほとんどをする子供は誰か？

ライフスタイル(Lifestyles)

- ・ 誰のライフスタイルがどのように描写されているか？
- ・ ライフスタイルの標準とはどんなものか？
- ・ どのように差が認識されるか。もし標準を外れたら、ネガティブな含意/判断があるか？例えば、「主流」と異なる食べ物。何人かの子供の食べ物が多文化的経験/出来事として見られるとき、これは分離する傾向があるか、若しくは「他の」子供たちは異なっていたり、カナダ人ではないとして見られるか。
- ・ どのように教室の問題が扱われているか？誰が貧しいか？
- ・ 誰が風変わりか？服装はどのように描写されているか？衣装として見た場合一般的なカナダ人と違うか？

パワー(力)(Power)

教室で生徒たちに力と言うものは何かを定義させなさい。レイシズムと力の文脈において、力はどのように見えるか？カナダの組織を調査することは生徒たちにとって文化的な力がどのように運用されているかを見るための方法を提供するかもしれない。カナダにおいて文化はどんな力を持つか？誰が我々の政府のリーダーで、誰が我々の裁判官で、誰が我々の公的又は私的な組織の運営をする人々なのか？彼らはどのように見えるのか？

- ・ 力を持つことは何を意味するか？
- ・ 力はどのように特権や利益とつながっているか？
- ・ 本やビデオの中の子供たちの間の関係において誰が力を持っているか？
- ・ あなたが使っている本や教材を通じて、誰が一般的に力のある地位にいるか？
- ・ 誰が力を奪われたように感じているか？
- ・ 権力を握っている大人は誰ですか？
- ・ 誰の意見が評価され、どのようなあなたは彼らを語ることができますか？例えば、メディアが描く人々や国に対する役割はしばしば社会によって受け入れられ、そしてしばしば正確な表現ではない (Davison 1997)

ヒーローとヒーロー的特性(Heroes and Heroic traits)

- ・ ヒーローは原住民の人ですか、有色人種の人ですか、それとも白人ですか？
- ・ 誰がどのようにしてヒーローを定義していますか？その問題は何ですか？
- ・ ヒーローは誰の利益に仕えていますか？
- ・ ヒーローが原住民の人か有色人種の人である時、彼らは白人のヒーローと同じ性質に対して称賛されるか？

自己イメージ(Self image)

キャラクターの役割を調査するとき、キャラクター（達）が描写されることが生徒たちに対して持つであろう影響がどんなものかについて考えることは重要である。ポジティブ若しくはネガティブな自己イメージの観点で、どのように有色人種や原住民や白人が教材の中で描写されているかに気が付くこと。もしあなたがポジティブなイメージを示さない教材を使わねばならないのなら、問題のあるものとして示されるイメージを分析することと、それがなぜかを議論することは重要になる。

- ・ その本は読者の自己イメージにどのように影響を及ぼすだろうか？
- ・ 本の中で設けられた規範は子供の将来の希望や自己概念を制限するだろうか？
- ・ 美しさや清潔さ、家族のイメージとはどんなものか？

支配的な観点(Dominant Perspectives)

様々な観点について教材を分析するとき、あなたは様々な観点の有りうる違いがどんなものかについて議論するところから始めるかもしれない。「白人中流階級の観点」が何を意味するか、そしてアフリカ系カナダ人の観点やアジア系カナダ人の観点、先住民の観点とどのように違うのか？誰が「白人中流階級」の人々なのか？彼らの民族的アイデンティティとはなんなのか？

- ・ 誰がその本を書いているのか、そして支配的な観点とはなんなのか？
- ・ 著者は彼/彼女が書いている文化のメンバーか？
- ・ 有色人種の人々や原住民の人々の問題やテーマにその本が取り組んでいる場合、何が著者にそれらに取り組む資格を与えているか？（どんな経験が彼らにその本の創作者としての資格を与えているか）
- ・ その本は白人の中流階級の観点によって支配されているか？白人中流階級の観点とはなんなのか？

表現(Representation)

- ・ 本の中でどんな生徒たちが表現されたか？どのように？（人間性をはぐ奪されたか？）

知識表現(Knowledge representation)

あなたはこの議論を異なる種類の知識を調査することから始めるかもしれない。例えば、どのようにストーリーテリングがいくつかの文化において教育と学習の重要な方法であるか、そして伝統的な教室での学習といかに異なるか？あなたは様々なグループ出身の生徒たちとそれぞれのグループが彼らのクラスメートに、何かを教えるであろう物語を作り出すような演習をしようとするかもしれない。

- ・ 誰の知識が本の中で表現されているか？
- ・ 誰の知識が「価値がある」か「公式なもの」であると見なされているか（ヨーロッパ系カナダ人の知識の在り方からの法的批判として見た異なる知識として）？

言語(Language)

どのように有色人種や先住民の人々が描写されているか意識しなさい。どんな言葉が使われているか、そしてそれらがどのようにあなたの教室の生徒たちに影響を及ぼすかもしれないか。獰猛な、堕落した、“原初の”又は“怠惰な”のような含みのある言葉はしばしばステレオタイプ的なイメージを助長し、攻撃的である。

- ・ 含みのある言葉を監視しなさい。例えば、原初的、怠惰、迷信深いといった。
- ・ 原住民の人々や有色人種の人々を描写するのにどんな言葉が使われるか、そしてどのようにそれらが白人を描写するのに使う言葉と比較されるか？
- ・ 言葉の使い方は現在の出版界やメディアでどのように変化したか？例えば、カナダでは、9.11以来、レイシスト的な漫画、論説、ラジオトークショーそして報道網は他者化の為の複雑な構造とアンチイスラム偏向を作り出した。

子供たちの為の人種間書籍の評議会から開発された、偏見のない教科書と物語の本の選択の為のガイドライン
1980

アンチレイシズムリソースキット

この評価ツールを使い、あなたは生徒たちに彼らが読むのと同じように本を評価することを教えることができるだろう。これは、このツールの使い方のひとつの例である。カルガリー教育委員会に対して、承認された本のリストは、有色人種をレイシスト的ステレオタイプ的な方法で描写する本を多数含んでいるが、これらの本の中には、古典的とみなされるものもあり、そしてそれ故に読む価値がある。もし生徒たちが教材を処理しそれについて語り、レイシズムの文脈の中でそれを理解する方法を持たなければ、それらは全ての生徒にとって有害かもしれない。有色人種の生徒と原住民の生徒は、彼らが、レイシスト的な言葉やステレオタイプ的な登場人物、よそ者とみなされながら、貧困の中で生きているように継続的に見せられる弱い立場に置かれた人々のイメージ等々を含む本を読んだときに影響を受けるだろう。これらの描写は内在化された劣等感、失望、孤独感と自己嫌悪につながる。白人の生徒にとって、これらの本を読むことは、優越感、常態化、独善性を増強する。そのようにして、クラスの教材を評価することは重要であり、評価ツールはあなたが、あなたが探すものがなんなのか、あなたの生徒たちとそれについてどう語り合うかを知る手助けをするだろう。そして、生徒たちに彼らが読んでいるものを処理し理解するために使われるだろう。

この教材評価ツールで使われたソース

Bolgatz, Jane. (2005). Talking Race in The Classroom. New York: Teachers College Press.

ジェーン・ボルガツ(2005) 『教室で人種について話す』 [Amazon](#)、[PDF](#)

Derman-Sparks, Louise & Ramsey, Patricia G.. (2006). What If All The Kids Are White?

Anti-Bias Multicultural Education with Young Children and Families. New York: Teachers College Press.

ルイス・ダーマンスパークス&パトリシア・G・ラムゼイ(2006)『全ての子供が白人だったら?』 [Amazon](#)、[PDF](#)

Henry, Frances & Tator, Carol. (2006). The Colour Of Democracy Racism in Canadian Society Third Edition. Canada: Thomson Nelson.

フランシス・ヘンリー&キャロル・ティター(2006)『民主主義の色、カナダ社会でのレイシズム第3版』 [Amazon](#)

Howard, Gary R.. (2006). We Can't Teach What We Don't Know White Teachers Multiracial Schools Second Edition. New York: Teachers College Press.

ゲイリー・R・ハワード(2006)『我々が知らないことを教えることは出来ない 白人教師と多人種学校』 [Amazon](#)

Perry, Mark. (2000). Walking the Color Line The Art & Practice of Anti-Racist Teaching.

New York: Teachers College Press.

マーク・ペリー(2000)『色の線を歩く 芸術と反レイシズム教育の実践』 [Amazon](#)

Sefa Dei, George J. et al. (2000). Removing the Margins The Challenges and Possibilities of Inclusive Schooling. Toronto: Canadian Scholars' Press Inc..

ディ・セファ、J・ジョージ等(2000)『余白を取り除くこと 包括的学校教育の挑戦と可能性』 [Amazon](#)、[PDF](#)

書籍

教材の利用しやすさは教師たちによってプロジェクトに対する重要な構成要素として位置付けられた。そして、このせいで我々はカルガリー公共図書館に接触し、そしてそれはほとんどの部分で教師と生徒の両方に対して利用しやすかった。このセクションの数々の本は、その図書館によって編集されたリストによるものである。これらの本は、違いを見るようにし、生徒と教師たちがレイシズムの問題を教室に持ち込むための手助けをする。これは決して完全なリストではなく、スタート地点である。これらの本は読者のレベルによって次のように編成される。小学校 3 年、4-6 年、中学 1-3 年（ヤングアダルト）、高校 1-3 年（アダルト）－フィクションとノンフィクション。希望としては、これらの本がカリキュラムを補足するのにつかわれ、最終的には我々は適切なカリキュラムのリンクを含める（[アルバータ州学習カリキュラムリンク](#)）。可能な学習を強調する「付加価値」セクションと同様にそれぞれの本に対して梗概がある。いくつかの本の梗概は Amazon.com に投稿された書評から得られた。教師たちはそれらが彼ら自身の必要を満たすかどうかを見るために全ての本を下見すべきである。

このリソースキットの評価ツールは他の本と同様に我々のリストの中の本を批評するのに役立つだろう。このツールはレイシズムにピントを合わせたアンチレイシズムレンズを提供する。このセクションの為に選ばれた本は、それらが我々の教室で違いを見るようにし、レイシズムに関する問題を議論する場所を与えるように選ばれたにもかかわらず、あなたは、この評価ツールを使って検査されたときに多くが弱点を持つことを知るだろう。生徒たちは、彼らの批評的考察技術を発展させつつ、弱点/問題を見つけ、それらを議論することを楽しむだろう。

このセクションで列挙する本は、レイシズムについて学び議論する状況で役に立つであろう多くの本の一部のサンプリングである。このリソースキットのウェブサイトセクションを調査することを通じて見つかるであろう他の多くの本のリストがある。

様々なウェブサイトに列挙された多くの本は購入する必要があるだろう。しかしながら、それらの多くは、このセクションに列挙されていないとしても、図書館で利用できるだろう。

アンチレイシズムリソースキット

01.

Title Genre Author タイトル ジャンル 著者	Wake Up World!: A day in the life of children around the world. Non-Fiction Beatrice Hollyer 世界よ、目覚めよ！世界の子供たちの命の日 ノンフィクション ベアトリス・ホリヤー
Grades グレード	K – 2 幼稚園～小学校 2 年
Curriculum Link 関連カリキュ ラム	Social Studies: K1. 1, 1. 1, 1. 2, 3. 1, 3. 2 Health and Life Skills: R-K. 5, R-K. 6, R-1. 5, R-2. 5, R-3. 5 English Language Arts: K, 1&2 C. A. L. M. : n/a 社会学習: K1. 1, 1. 1, 1. 2, 3. 1, 3. 2 健康と生活のスキル: R-K. 5, R-K. 6, R-1. 5, R-2. 5, R-3. 5 英語能力: K, 1&2 キャリアと人生設計: n/a
Synopsis 梗概	Hollyer introduces the reader to eight children from a variety of countries around the world, depicting a typical day from sunrise to sunset. Extensively captioned photos chronicle, in the words of each individual child, a typical day, including what foods they eat, what they wear, what their school is like, and what activities are done for fun. While Hollyer makes sure to provide sharp contrasts between physical geography (Sasha from frigid Siberia and Cidinha from the steamy Amazon rain forest of Brazil), she also highlights similarities between each distinct culture. 作者は読者に、特定の日の日の出から日没までを描写することで、世界中の様々な国々の 8 人の子供たちを紹介する。手広く但し書きをつけた写真が、それぞれの子供たちの言葉で、何を食べたか、何を着たか、学校はどんなか、どんな活動をして楽しんだかなど、特定の日を記録する。作者が自然地理学的な鋭いコントラスト(シベリアのサシヤとブラジルの蒙々とする熱帯雨林のシディンハ)を見せるようにしながら、彼女はまた、それぞれの個別の文化の間の類似性も強調する。
Where the Value Lies 価値	This book provides a valuable introduction for young children to look at diverse cultures and races. この本は幼い子供たちに、様々な文化と人種を見る能够ないように、価値のある視点を提供する。

アンチレイシズムリソースキット

02.

Title Genre Author タイトル ジャンル 著者	A Life Like Mine: How children live around the world. Non-Fiction UNICEF 私と同じ命:世界中の子供の暮らし ノンフィクション ユニセフ
Grades グレード	K – 3 幼稚園～小学校 3 年
Curriculum Link 関連カリキュ ラム	Social Studies: K 1. 1, 1. 2, 3. 1, 3. 2 Health and Life Skills: K. 5, K. 6 English Language Arts: K, 1&2 C. A. L. M: n/a 社会学習: K 1. 1, 1. 2, 3. 1, 3. 2 健康と生活のスキル: K. 5, K. 6 英語能力: K, 1&2 キャリアと人生設計: n/a
Synopsis 梗概	UNICEF's A Life Like Mine: How children live around the world expansively examines eighteen children and explores their way of life, spanning 180 countries. The book is organized into four sections: Survival, Development, Protection and Participation, supplemented with luscious photos of exotic lands. ユニセフの『私と同じ命:世界中の子供の暮らし』は 180 の国々にわたり、18 人の子供たちの生き方を調査している。この本は 4 つのセクションからなり、それぞれエキゾチックな土地の鮮やかな写真で補足され、各々の副題は「サバイバル」「開発」「保護」「参加」となっている。 (訳注:日本ユニセフの説明:“美しい写真と共に世界中の子どもたちの生活を考えを知ることができる本。カテゴリーは、「サバイバル」「開発」「保護」「参加」。障害を持って生活をすることについても取り上げられている。とてもポジティブな子どもたちの姿を見ることができる。小学生から高校生まで、あらゆる場面で活躍しそうな本。授業の中で、「家」や、「水」などの各項目を教えるときに、この本の該当のトピックを紹介することもできる。”)
Where the Value Lies 価値	This book is extraordinarily useful in examining and highlighting the differences in race and culture from over one hundred countries around the world この本は世界中の 100 以上の国々からの異なる人種と文化を調査し強調することに非常に役に立つ。

Title Genre Author タイトル ジャンル 著者	Folk Rhymes From Around the World Non-Fiction Evelyn Neaman 世界の民俗音楽韻 ノンフィクション イブリン・ニーマン
Grades グレード	K, 1&2, 3 幼稚園、小学校 1~3 年
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Studies: K, 1, D, 2, 1, 1, 1, 2, 2, 1, 2, 2, 3, 1, 2 Health and Life Skills: R-K, 9, 1, 9 English Language Arts: K, 1&2, 3 C. A. L. M. : n/a 社会学習: K, 1, D, 2, 1, 1, 1, 2, 2, 1, 2, 2, 3, 1, 2 健康と生活のスキル: R-K, 9, 1, 9 英語能力: K, 1&2, 3 キャリアと人生設計: n/a
Synopsis 梗概	This unusual collection of children's folk rhymes represents over 20 cultures. Children are introduced to folk rhymes through familiar rhymes for skipping and counting. Each folk rhyme is presented in its language of origin, in a transliteration for sound appreciation, and in an English translation. The rhymes include riddles, tongue twisters, rhymes for skipping, counting, and games, and rhymes just for fun. The collection is illustrated with lively black and white drawings that show the way the rhymes are used and some of the unusual images they evoke. 20 以上の文化を代表する子供達の民族的音韻(ライム)の風変りなコレクション。子供たちはスキップや数の数え方に対して、親しんだ音韻を通じて民族的な音韻を学ぶ。それぞれの民族的音韻は、その起源となる言語、音の評価の文字化、そして英語翻訳で示される。そうした音韻は、なぞなぞ、早口言葉、スキップや勘定やゲームの為の音韻、単に楽しむための音韻を含む。それらのコレクションは生き生きとした、音韻が使われる方法とそれらが喚起する風変りなイメージのいくつかを見せる白黒の絵で図説される。
Where the Value Lies 価値	Neaman chooses to focus on the different languages that define diverse cultures. Especially magnificent is the way in which each folk rhyme is presented in its original language, highlighting the importance and significance of diverse language. ニーマンは多様な文化を定義する様々な言語に焦点を当てる選んだ。特にすばらしいのは、多様な言語の重要性と意味を強調して、音韻がそのオリジナルの言語で示されるやり方である。

アンチレイシズムリソースキット

04.

Title Genre Author タイトル ジャンル 著者	Celebrating Likes and Differences: Fun and easy theme units for exploring diversity with young children Non-Fiction Susan Hodges 似ていることと違うことを褒めること: 幼い子と共に多様性を探求するための楽しく簡単なテーマユニット ノンフィクション スーザン・ホッジス
Grades グレード	K, 1&2 幼稚園、小学校1・2年
Curriculum Link 関連カリキュ ラム	Social Studies: K, 1, K, 2 Health and Life Skills: R-K, 6, R-K, 9 English Language Arts: K, 1&2 C. A. L. M: n/a 社会学習: K, 1, K, 2 健康と生活のスキル: R-K, 6, R-K, 9 英語能力: K, 1&2 キャリアと人生設計: n/a
Synopsis 梗概	This book provides a list of guides and activities for young children about diversity. この本は幼い子供に対して、多様性についてガイドと活動のリストを提供する。
Where the Value Lies 価値	This book is useful for suggesting activities for children to explore racism and diversity. この本は子供に対し、レイシズムと多様性を探求するための活動を提案するのに便利である。

Title Genre Author タイトル ジャンル 著者	Let's Talk About Race Non-Fiction Julius Lester 人種について話そう(邦訳:「ぼくのものがたり あなたのものがたり」) ノンフィクション ジュリアス・レスター
Grades グレード	K, 1&2, 3 幼稚園、小学校 1~3 年
Curriculum Link 関連カリキュ ラム	Social Studies: K. 1, K. 2, 1. 1, 1. 2, 3. 1, 3. 2 Health and Life Skills: R-K. 9, R-2. 5, R-2. 8 English Language Arts: K, 1&2, 3 C. A. L. M.: n/a 社会学習: K. 1, K. 2, 1. 1, 1. 2, 3. 1, 3. 2 健康と生活のスキル: R-K. 9, R-2. 5, R-2. 8 英語能力: K, 1&2, 3 キャリアと人生設計: n/a
Synopsis 梗概	This picture book focuses on race as a chapter in an individual's story. Lester makes us aware of his racial difference, stating, "There's something else that is part of my story...I'm black." The story is told in such a way that kids can grasp and enjoy, such as his favourite food and hobbies. Lester poses questions that young readers can answer, creating a dialogue to have kids determine who they are and encourage them to tell their own stories. Lester also introduces the notion of prejudice and stereotypes as he tells the reader that "stories" are not always true. この絵本は章ごとに別々の主人公の物語として人種に焦点を当てている。作者は「私の物語に何か普通と違うものがあるとしたら…それは私が黒人だということだ」と言って彼の人種的な特異性を我々に気付かせる。物語は、子供が手にして喜ぶようなもの(例えば好きな食べ物やお気に入りのおもちゃ)のような方法で語られる。作者は、子供たちに自分が誰であるかを決めさせ、彼らに彼ら自身の物語を語るよう促すような対話を作り上げて、幼い読者が答えられるような質問をする。作者はまた、彼が読者に「物語」はいつも真実とは限らないと語ることで偏見やステレオタイプの考え方を紹介する。
Where the Value Lies 価値	Lester's tone is engaging and effective, and the book hits straight to the heart of racial difference and awareness as one of the key factors in a person's being. 作者のトーンに魅力があり効果的で、この本は人の在り方の重要な要素の一つとしての人種的な差異と自覚の核心をまっすぐに突く。

Title Genre Author タイトル ジャンル 著者	Trevor's Story (Growing up biracial) Non-Fiction Bethany Kandal トレバーの物語（バイレイシシャルとして育つこと） ノンフィクション ベサニー・カンダル
Grades グレード	K, 1&2, 3 幼稚園、小学校 1～3 年
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Studies: K. 1, K. 2, 1, 1, 1, 2, 3, 1, 3, 2 Health and Life Skills: K. 6, K. 9, R-1, 5, R-1, 9, R - 2, 1, English Language Arts: K, 1&2, 3 C. A. L. M. : n/a 社会学習: K. 1, K. 2, 1, 1, 1, 2, 3, 1, 3, 2 健康と生活のスキル: K. 6, K. 9, R-1, 5, R-1, 9, R - 2, 1, 英語能力: K, 1&2, 3 キャリアと人生設計: n/a
Synopsis 梗概	Ten year old Trevor Sage-el discusses his life at home and at school, and his feelings about being a son of a white mother and a black father. He tells what he likes and dislikes about being biracial. 10 歳のトレバー・セイジエルは、家や学校での彼の人生や、白人の母親と黒人の父親の間に生まれたことについて彼が感じることについて考える。彼はバイレイシシャルであることについて何が好きで何が嫌いかについて語る。
Where the Value Lies 価値	This book is explicit in its decision to discuss the question of growing up biracial. The book is centred on the question of dual identity and includes some historical background on racism, including the legal and social challenges faced by mixed-race families. Photographs introduce Trevor and his family. この本はバイレイシシャルとして育つことでどんな問題があるかを議論するという決意を示している。この本は二重のアイデンティティの問題を中心に据え、多人種家族が直面する法的及び社会的困難を描写することでレイシズムの歴史的背景を含む。写真はトレバーと彼の家族を紹介している。

Title Genre Author タイトル ジャンル 著者	If a bus could talk (The story of Rosa Parks) Non-Fiction Faith Ringgold もしバスが話せたら(ローザ・パークス物語) ノンフィクション フェイス・リンゴールド
Grades グレード	K, 1&2, 3 幼稚園、小学校1~3年
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Studies: K. 1, K. 2, 1. 1, 1. 2, 3. 1, 3. 2 Health and Life Skills: K. 6, K. 9, R-1. 5, R-1. 9, R - 2. 1, English Language Arts: K, 1&2, 3 C. A. L. M. : n/a 社会学習: K. 1, K. 2, 1. 1, 1. 2, 3. 1, 3. 2 健康と生活のスキル: K. 6, K. 9, R-1. 5, R-1. 9, R - 2. 1, 英語能力: K, 1&2, 3 キャリアと人生設計: n/a
Synopsis 梗概	If a bus could talk, it would tell the story of a young African-American girl named Rosa who had to walk miles to her oneroom schoolhouse in Alabama while white children rode to their school in a bus. It would tell how the adult Rosa rode to and from work on a segregated city bus and couldn't sit in the same row as a white person. It would tell of the fateful day when Rosa refused to give up her seat to a white man and how that act of courage inspired others around the world to stand up for freedom. In this book a bus does talk, and on her way to school a girl named Marcie learns why Rosa Parks is the mother of the Civil Rights movement. At the end of Marcie's magical ride, she meets Rosa Parks herself at a birthday party with several distinguished guests. もしバスが話せたら、バスは白人の子供たちがバスで学校に通うのにアラバマの一部屋しかない校舎まで何マイルも歩かなければならなかつたローザという若いアフリカ系アメリカ人の少女を話すだろう。成人したローザがどのように白人を優遇するバスに乗って通勤したか、白人と同じ列に座ることができなかつたかを語るだろう。ローザが白人の為に席を立つことを拒んだ日の事を、その勇気がどのように世界中を自由の為に立ち上がらせたかを語るだろう。この本は、実際にバスの視点で語られ、マルシーという少女が学校へ行く途中でなぜローザ・パークスが公民権運動の母なのかを学ぶ。マルシーの不思議な乗車体験の最後に、彼女はローザ・パークス自身と何人かの著名なゲストと一緒に誕生日パーティーで会う。
Where the Value Lies 価値	This book is a valuable introduction for children to learn about the discrimination people of colour were forced to face in the United States not so long ago, as well as highlighting the continuing struggles and efforts being made to gain equal rights. この本は子供たちに、継続する平等の為の努力と闘争を強調すると同様に、さして遠くない昔に有色人種が合衆国で強いられた差別について学ぶためには、よい入門書である。

Title Genre Author タイトル ジャンル 著者	The school is not white! (A true story of the civil rights movement) Non-Fiction Doreen Rappaport この学校は白人だけの物じゃない!(公民権運動の実話) ノンフィクション ドリーン・ラパポート
Grades グレード	K, 1&2, 3&4 幼稚園、小学校 1~4 年
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Studies: K. 1, K. 2, 1. 1, 1. 2, 3. 1, 3. 2 Health and Life Skills: K. 6, K. 9, R-1. 5, R-1. 9, R - 2. 1, R-4. 8, R- 4. 9, W-4. 7 English Language Arts: K, 1&2, 3&4 C. A. L. M. : n/a 社会学習: K. 1, K. 2, 1. 1, 1. 2, 3. 1, 3. 2 健康と生活のスキル: K. 6, K. 9, R-1. 5, R-1. 9, R - 2. 1, R-4. 8, R- 4. 9, W-4. 7 英語能力: K, 1&2, 3&4 キャリアと人生設計: n/a
Synopsis 梗概	This book depicts the struggles of an African-American family who make the unpopular and risky decision to send their children to an all-white school as they face resistance and obstacles from both inside and outside the building. The book focuses on the struggle of the children as they attempt to fit into the Mississippi school in 1965, at the beginning of desegregation. この本は、学校の内外で抵抗と妨害に遭いながらも、白人ばかりの学校に子供たちを入学させるという、一般的でない冒險的な決断をしたアフリカ系アメリカ人家族の闘争を描いている。差別撤廃の始まった 1965 年のミシシッピスクールに溶け込もうとする子供たちの努力に焦点を当てている。
Where the Value Lies 価値	The book vividly highlights the difficulties the seven children faced because of their stark racial difference to the homogenous society. As well, the chalky pictures vividly symbolize the somberness and isolation faced by the children. この本は、均一な社会に対する彼らの明白な人種的差異のせいで、7 人の子供たちが直面する困難を鮮やかに描き出している。その上、挿絵は子供たちが直面する不安と孤立を鮮やかに表している。

アンチレイシズムリソースキット

09.

Title Genre Author タイトル ジャンル 著者	Speaking Out: The Civil Rights Movement 1950–1964 (Crossroads America) Non-Fiction Kevin Suppes 声を上げること: 公民権運動の歴史 1950–1964(アメリカの分岐点) ノンフィクション ケビン・サプレス
Grades グレード	3&4, 5 小学校 3 年から 5 年
Curriculum Link 関連カリキュ ラム	Social Studies: 3. 1, 3. 2, 4. 2, 4. 3 Health and Life Skills: R-3. 6, R-3. 7, R-3. 9, R- 4. 1 R-4. 9, W-4. 7, R-5. 6, R-5. 7, R-5. 8, R-5. 9 English Language Arts: 3&4, 5 C. A. L. M. : n/a 社会学習: 3. 1, 3. 2, 4. 2, 4. 3 健康と生活のスキル: R-3. 6, R-3. 7, R-3. 9, R- 4. 1 R-4. 9, W-4. 7, R-5. 6, R-5. 7, R-5. 8, R-5. 9 英語能力: 3&4, 5 キャリアと人生設計: n/a
Synopsis 梗概	This book is one in a series of National Geographic's Crossroads America series, aimed at exploring specific periods and events in American history. This book offers a straightforward and accessible account of the struggles and successes of the civil rights movement. Included are the important turning points in the civil rights movement, as well as the words and pictures of the major players involved (Martin Luther King, Jr., Rosa Parks) Appended are a brief glossary and index. この本は、アメリカの歴史の特定の機関や出来事を掘り下げるなどを狙った、ナショナルジオグラフィックのアメリカの分岐点シリーズの一冊である。公民権運動の戦いと成功の、直かつ理解しやすい記事を提供している。中には、有名な関係者(キング牧師、ローザ・パークス)の言葉や写真だけでなく、公民権運動の重要なターニングポイントがいくつも書かれている。また、簡潔な用語集や索引が付けられている。
Where the Value Lies 価値	This book provides a useful chronological account of the struggles of the civil rights movements, examining the beliefs and opinions of the leaders of the movement due to discrimination and prejudice. Appended are a glossary and index. この本は公民権運動の戦いの使いやすい記録を提供する。そして、差別と偏見のために運動のリーダーの信条と意見を検討する。用語集と索引が付与されている。

アンチレイシズムリソースキット

10.

Title Genre Author タイトル ジャンル 著者	Freedom Riders (John Lewis and Jim Zwerg on the Front Lines of the Civil Rights Movement) Non-Fiction Ann Bausum フリーダム・ライダーズ (公民権運動の前線に立つジョン・ルイスとジム・ツヴァーグ) ノンフィクション アン・バーサム
Grades グレード	5&6 小学校 5,6 年
Curriculum Link 関連カリキュ ラム	Social Studies: 5, 2, 5, 3 Health and Life Skills: R-5. 6, R-5. 7, R-5. 8, R-5. 9, R-6. 1, R-6. 2, R-6. 4 R-6. 7, R-6. 8, L-6. 3, English Language Arts: 5&6 C. A. L. M. : n/a 社会学習: 5, 2, 5, 3 健康と生活のスキル: R-5. 6, R-5. 7, R-5. 8, R-5. 9, R-6. 1, R-6. 2, R-6. 4 R-6. 7, R-6. 8, L-6. 3, 英語能力: 5&6 キャリアと人生設計: n/a
Synopsis 梗概	John Lewis and Jim Zwerg were young men who came together for a cause. They boarded a bus and headed south, armed with nothing but their idealism, courage, and belief in justice. When they reached Montgomery, Alabama, John and Jim met a mob armed with chains, bats, and hammers. They were both badly beaten by the mob—Jim nearly to death—simply because they had ridden together on the bus. John Lewis was black, and Jim Zwerg was white. It was 1961. In compelling detail, Ann Bausum relates a story that alternately chills and inspires. She captures both the black and the white perspective on the Freedom Rides and segregation, through the eyes and experiences of John Lewis and Jim Zwerg. She describes how justice ultimately emerged from hatred and discrimination in a period of American history that did indeed change the world. 二人の若者、ジョン・ルイスとジム・ツヴァークはある主張を持ってやってきた。彼らはバスに乗って南へ向かった。理想と勇気、そして正義を信じる心以外は何も持たずに。アラバマ州モンゴメリーに着いたとき、ジョンとジムは鎖やバットやハンマーで武装した暴徒たちと会った。彼らは二人とも、暴徒によってひどく打ちのめされた—ジムはほとんど死にそうだった—なぜなら、彼らは一緒にバスに乗ったから。ジョン・ルイスは黒人だった。そしてジム・ツヴァークは白人。それは1961年。思わず引き込まれずにはいられない筆致で、アン・バーサムはかわるがわるにぞつとさせたり鼓舞させたりする物語を語る。彼女はジョン・ルイスとジム・ツヴァークの経験と目を通して、フリーダムライダーズと分離政策についての白人と黒人の両方の視点を取り込む。彼女は、実際に世界を変えたアメリカ史のある期間において、憎悪と差別から最終的に正義が浮かび上がってくる様を描写する。
Where the Value Lies 価値	This book provides valuable insight into the hatred and fierce opposition that are faced by people of a different race, especially when physical violence is used. In highlighting the struggles in opposing racism, there are included 59 photos, map, partial roster of riders, chronology, resource guide, research notes, citations, bibliography and index. この本は、特に、肉体的暴力が使われるときに、異なる人種の人々が直面する憎悪と激しい敵対の中に価値ある洞察を提供する。レイシズムに反対する闘争を強調して、59の写真、地図、ライダーたちの名簿、年表、リソースガイド、研究ノート、引用、参考文献と索引が含まれる。

アンチレイシズムリソースキット

11.

Title Genre Author タイトル ジャンル 著者	Racism (Deal with it before it gets under your skin) Non-Fiction Marie Aikens レイシズム(気に障る前に対処しましょう) ノンフィクション マリー・エイ肯ズ
Grades グレード	4&5 小学校 4,5 年
Curriculum Link 関連カリキュ ラム	Social Studies: 5, 2, 5, 3 Health and Life Skills: R-4, 4, 4, 7 English Language Arts: 4&5 C. A. L. M. : n/a 社会学習: 5, 2, 5, 3 健康と生活のスキル: R-4, 4, 4, 7 英語能力: 4&5 キャリアと人生設計: n/a
Synopsis 梗概	A brand new series to help adolescents cope with conflicts in everyday life and promote peaceful homes, schools, and communities. Using realistic examples and sensitive language, Racism: Deal with it before it gets under your skin examines the sources of racial and cultural conflicts. This book will help young people recognize and overcome barriers to peace, understanding, and acceptance. 若者が日常生活のいざこざに対処し、家庭、学校、コミュニティの平和を促進するのに役立つ新しいシリーズ。現実的な例と繊細な言葉を使って、『レイシズム(気に障る前に対処しましょう)』は人種的または文化的ないざこざの源を調査する。この本は、若者が平和と理解そして受容に対する障壁を認識し、乗り越える手助けをするだろう。
Where the Value Lies 価値	The features of the book elucidate effective ways to understand and deal with racism. Of particular importance, Racism 101 explains where racist attitudes come from, Letters to the “Conflict Counsellor” show you how to manage in difficult situations, Quizzes test your ability to handle tense situations involving racism, and a Resource Guide puts organization, books, and websites at your fingertips. この本の特徴は、レイシズムを理解し対処する効果的な方法をはっきり説明しているところだ。特に重要なことには、レイシズム 101 がレイシスト的な態度がどこから来るのかを説明しており、「いざこざカウンセラーへの手紙」は、あなたに困難な状況においての治め方を示し、クイズはあなたのレイシズムを含む緊張した状況を取り扱う能力をテストし、リソースガイドは、あなたに組織や本そしてウェブサイトについての情報を与えてくれる。

Title Genre Author タイトル ジャンル 著者	Season of Rage Non-Fiction John Cooper 怒りの季節 ノンフィクション ジョン・クーパー
Grades グレード	5&6, 7 小学校 5,6 年、中学 1 年
Curriculum Link 関連カリキュ ラム	Social Studies: 5, 1, 5, 2, 5, 3, 7, 1, 7, 2 Health and Life Skills: R-5, 6, R-5, 7, R-5, 8, R-5, 9, R-6, 1, R-6, 2, R-6, 4 R-6, 7, R-6, 8, L-6, 3, R-7, 3 English Language Arts: 5&6, 7 C. A. L. M. : n/a 社会学習: 5, 1, 5, 2, 5, 3, 7, 1, 7, 2 健康と生活のスキル: R-5, 6, R-5, 7, R-5, 8, R-5, 9, R-6, 1, R-6, 2, R-6, 4 R-6, 7, R-6, 8, L-6, 3, R-7, 3 英語能力: 5&6, 7 キャリアと人生設計: n/a
Synopsis 梗概	Dresden was a long way from Canada's capital city, Ottawa. And those whose minds were occupied with earning a living from the land may not have spared much thought about law and justice. But in 1943, Hugh Burnett sent a letter to the federal government in Ottawa complaining about racial discrimination at Kay's Cafe. The owner, Morley McKay, was well-known for his obstinate refusal to serve black patrons. The government took no action. The National Unity Association worked courageously through a variety of means of protest to change attitudes. ドレスデンはカナダの首都オタワから遠く離れた町だった。そして、農業で生計を立てるのに忙殺された人々は、法律や正義について考えるために十分な時間を割こうとはしなかったかもしれない。しかし、1943年、ヒュー・バーネットはケイの店での人種差別についてオタワの連邦政府に訴える手紙を出した。店のオーナーであるモーリー・マッケイは、黒人の客に対して給仕を頑固に拒むことでよく知られていた。政府は何の行動も起こさなかった。国家統一教会は態度を変えるための抗議の様々な手段を通して勇敢に働いた。
Where the Value Lies 価値	This story recounts the true events surrounding a Dresden cafe, the last place in North America that refused to serve black patrons. This book is also valuable as it identifies Dresden as the place where Uncle Tom's Cabin was, and where the Underground Railroad reached Canada. Highlights the prejudices and hatred that still existed, despite the promise of freedom and equality. This book is an important addition to school and public libraries' collections of Black Canadian and civil-rights history. この物語は、北米で黒人の客に料理を出すことを拒否する最後の場所だったドレスデンのカフェを取り巻く実際の出来事を物語る。この本はまた、ドレスデンをアンクルトムの小屋があり、地下鉄道(訳注:奴隸廃止論者等による逃亡奴隸支援の地下組織)がカナダに達する場所であることをはっきりさせたことでも価値がある。この本は、自由と平等が約束されているにもかかわらず、偏見と憎悪がいまだに存在することを強調する。学校と公立図書館の黒人のカナダ人と公民権の歴史に対する重要な史料である。

Title Genre Author タイトル ジャンル 著者	Race, Class, Gender: Bonds and Barriers Non-Fiction Jesse Vorst 人種、階級、性差別: 束縛と壁 ノンフィクション ジェッセ・ヴォースト
Grades グレード	4&5 高校 2,3 年
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Studies: 5, 2, 5, 3 Health and Life Skills: R-4, 4, 4, 7 English Language Arts: 4&5 C. A. L. M. : n/a 社会学習: 20. 1, 20. 2, 30. 1, 30. 2 英語能力: 11&12 キャリアと人生設計: P3, P4, P8, P9, R2
Synopsis 梗概	The book explores overlaps and conflicts between the feminist and anti-racist movements, mostly due to the groups in society that are marginalized by both (women of colour, for example). Although the point-of-view is explicitly feminist and socialist, this does not take away from the quality of the material presented and the suggested ideas about how to best eradicate marginalization. この本は、フェミニズムとアンチレイシズム運動の間の重複と衝突を、ほとんどは両方によって(例えば黒人女性)社会の中で軽視されたグループによって調査したものである。視点は明らかにフェミニズム的かつ社会主義的であるが、これはもつともよく社会的軽視を撲滅する方法についてのアイデアを提示するものの質を貶めるものではない。
Where the Value Lies 価値	The book provides tangible examples of the racial discrimination and subtle marginalization that occur within Canadian society. この本は人種差別とカナダ社会の中で起こる微妙な社会的軽視の実例を提供する。

Title Genre Author タイトル ジャンル 著者	Web of Hate: Inside Canada's far right network Non-Fiction Warren Kinsella ヘイトの網: カナダの極右ネットワークの内側 ノンフィクション ウォーレン・キンセラ
Grades グレード	11&12 高校 2,3 年
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Studies: 20. 1, 20. 2, 30. 1, 30. 2 English Language Arts: 11&12 C. A. L. M. : P3, P4, P8, P9, R2 社会学習: 20. 1, 20. 2, 30. 1, 30. 2 英語能力: 11&12 キャリアと人生設計: P3, P4, P8, P9, R2
Synopsis 梗概	A former 'inside' member of a neo-Nazi group and now a practicing lawyer frequently called upon as an expert in judicial proceedings regarding racist or white supremacist groups, the author details vividly the organization, members and history of all major neo-Nazi groups active in Canada today. Paints a vivid and very real picture of an isolated, but very dangerous and active part of Canadian society that not many are aware exists. ネオナチグループの元「内部」メンバーであり、現在開業弁護士としてレイリストや白人優位主義者グループから訴訟手続きの専門家として頻繁に依頼される著者が、組織やメンバー、カナダで活動中の全ての主要なネオナチグループの歴史を鮮やかに詳解する。鮮明で非常にリアルな孤立者の絵を描くが、それは多くの人が気づかないカナダ社会の非常に危険で活動的な部分である。
Where the Value Lies 価値	Explores a facet of dangerous ideology that exists in Canada today. Eye-opening information that far-right wings operate within Canada today. 今日カナダに存在する危険なイデオロギーの一面を調査し、今日カナダ国内で極右翼が行っていることの目を瞠る情報を示す。

Title Genre Author タイトル ジャンル 著者	Racism in Canada Non-Fiction Ormond Knight Mcague カナダのレイシズム ノンフィクション オーモンド・ナイト・マカギュー
Grades グレード	11&12 高校 2,3 年
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Studies: 20. 1, 20. 2, 30. 1, 30. 2 English Language Arts: 11&12 C. A. L. M. : P3, P4, P8, P9, R2 社会学習: 20. 1, 20. 2, 30. 1, 30. 2 英語能力: 11&12 キャリアと人生設計: P3, P4, P8, P9, R2
Synopsis 梗概	This book is a multi-author compilation of writings dealing with a vast array of topics in the area of racism, mostly dealing with historical and contemporary Canadian racism. この本は多数の著者によるレイシズムの領域の多くのトピックを扱った記事を集めた本である。殆どは、カナダのレイシズムの歴史と現在を扱っている。
Where the Value Lies 価値	Highlights the ongoing struggle to recognize and combat racism in Canada, both in historical context, as well as in the present day 現代と同様に歴史的文脈について、進行中のカナダにおけるレイシズムとの戦いと認識の取り組みを強調している。

Title Genre Author タイトル ジャンル 著者	Racism: Divided by Color Non-Fiction Gerald Newman レイシズム:色分けされた ノンフィクション ジェラルド・ニューマン
Grades グレード	7, 8&9 中学校 1~3 年
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Studies: 9. 1 Health and Life Skills: W-7. 8, W-7. 10, W-8. 7, W-8. 8, W-9. 8, English Language Arts: 7, 8&9 C. A. L. M. : n/a 社会学習: 9. 1 健康と生活のスキル: W-7. 8, W-7. 10, W-8. 7, W-8. 8, W-9. 8, 英語能力: 7, 8&9 キャリアと人生設計: n/a
Synopsis 梗概	Using examples taken from throughout history, a presentation of the concept of race, types of racism that can exist, its effects on society and what can be done to reduce tensions in the future. 歴史全体の例を使って人種のコンセプトの提示と存在しうるレイシズムの形態、その社会への影響と将来の緊張緩和のために何をすることができるか。
Where the Value Lies 価値	Valuable exploration of the concept of race, how to identify where racism exists and the detrimental effects racism has on society. 人種のコンセプトの価値のある探求、レイシズムが存在することを確認する方法とレイシズムが社会にもたらす有害な影響。

Title Genre Author タイトル ジャンル 著者	Racism Non-Fiction Ann T. Keene レイシズム ノンフィクション アン・T・キーン
Grades グレード	6&7, 8&9 小学校 6 年～中学 3 年
Curriculum Link 関連カリキュ ラム	Social Studies: 9. 1 Health and Life Skills: W- 6. 7, W-6. 8, W-7. 8, W-7. 10, W-8.7, W-8. 8, W-9. 8 English Language Arts: 6&7, 8&9 C. A. L. M. : n/a 社会学習: 9. 1 健康と生活のスキル: W- 6. 7, W-6. 8, W-7. 8, W-7. 10, W-8.7, W-8. 8, W-9. 8 英語能力: 6&7, 8&9 キャリアと人生設計: n/a
Synopsis 梗概	This series has a lively format that relies heavily on question-and-answer sections, interviews, and case histories. The books introduce and discuss problems facing teens from a social and psychological perspective, and offer advice on coping and resolution. Racism has a tremendously large scope, including communication between people of different races, minorities and stereotypes, a history of racism in the U.S., the civil rights movement, prejudice against Native Americans and immigrant groups, anti-Semitism, far-right racist groups, the Rodney King beating, black racism, and affirmative action. このシリーズは、質疑応答セクション、インタビュー、事例史に強く依存する生き生きとしたフォーマットを持っている。この本は、社会的かつ心理学的な側面から十代の少年少女が直面する問題を紹介し、議論しており、また対処するためのアドバイスと解決策を提供している。『レイシズム』は、非常に多くの問題を扱っている。異なる人種間のコミュニケーション、少数派やステレオタイプ、アメリカのレイシズムの歴史、公民権運動、ネイティブアメリカンや移民のグループに対する偏見、反ユダヤ主義、極右レイシス トグループ、ロドニー・キング事件、ブラックレイシズム、そしてアフアーマティブアクション。
Where the Value Lies 価値	Broad scope that highlights the large extent to which racism and subtle racist ideology boldly informs our society. 我々の社会の中で、レイシズムと微妙なレイリスト的イデオロギーがくっきりと刻まれた広大な範囲を強調する幅広い視野。

Title Genre Author タイトル ジャンル 著者	I am who I am: Speaking Out About Multiracial Identity Non-Fiction Kathlyn Gay 私は私: 多人種アイデンティティについて声を上げること ノンフィクション カサリン・ゲイ
Grades グレード	7, 8&9, 10 中学1年～高校1年
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Studies: 8. 2, 9. 1, 10. 1, . 2 Health and Life Skills: R-7. 5, R-8. 6, R-8. 7, R-9. 1, R-9. 2 English Language Arts: 7, 8&9, 10 C. A. L. M. : n/a 社会学習: 8. 2, 9. 1, 10. 1, . 2 健康と生活のスキル: R-7. 5, R-8. 6, R-8. 7, R-9. 1, R-9. 2 英語能力: 7, 8&9, 10 キャリアと人生設計: n/a
Synopsis 梗概	Calling on child development experts for opinions and assembling a host of carefully chosen examples and personal comments, she offers a realistic look at what it's like growing up with a mixed-race background. Her wide-angle perspective touches on cultural, historical, and political aspects of the subject, ranging from the current controversy surrounding trans-racial adoptions to racial pigeonholing and the work of activist organizations devoted to supporting and informing multiracial individuals. 児童発達の専門家に意見を求めて、多数の意見を収集し、個人のコメントを集め、彼女は多人種バックグラウンドの中で成長することの現実的な観察を提供する。彼女の広い視野は、物事の文化的、社会的、政治的側面に言及し、人種を分類することに対する議論をはらんだ異人種間の養子縁組を取り巻く現在の環境と、多人種背景を持つ個人に告知し支援することにささげた活動家組織の活動にわたる。
Where the Value Lies 価値	Elucidates the struggle of someone of a mixed race to fit into Canadian society カナダ社会に溶け込むための多人種バックグラウンドを持つ者の努力を明らかにする。

アンチレイシズムリソースキット

19.

Title Genre Author タイトル ジャンル 著者	Frontiers: Selected Essays and Writings on Racism Non-Fiction Marlene Nourbese Philip フロンティア:レイシズムについての選り抜きエッセイと読み物 ノンフィクション マーリーン・ノーベース・フィリップ
Grades グレード	8&9, 10 中学2年～高校1年
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Studies: 9. 1, 9. 2, 10. 1, 10. 2 Health and Life Skills: 8. 5, 8. 6, 8. 7, 9. 6 English Language Arts: 8&9, 10 C. A. L. M. : n/a 社会学習: 9. 1, 9. 2, 10. 1, 10. 2 健康と生活のスキル: 8. 5, 8. 6, 8. 7, 9. 6 英語能力: 8&9, 10 キャリアと人生設計: n/a
Synopsis 梗概	Compilation of the author's (mostly previously published) writings on racism in contemporary Canada. The writings cover a vast array of topics, such as presentation of actual racist incidents, proposals on dealing with racism, proposals on how to bring up the topic in society, ideas on the media's role in fomenting racism, among others. 同時代のカナダにおけるレイシズムについてのアンソロジー。短編群は実際のレイシスト事件の提示、レイシズムを扱うことの提案、社会のトピックを提示する方法の提案、レイシズムを扇動するメディアの役割についての考え方等の様々な多くのトピックをカバーする。
Where the Value Lies 価値	Particularly effective in examining how the media perpetuates racial stereotypes, highlighting the subtlety to which racism exists in society. Also beneficial is the description of racial incidents within Canada. いかにメディアが人種的ステレオタイプを永続させるかを調査し、どんなレイシズムが社会に存在するかに対する微妙さを強調することにとりわけ効果的である。また、有益な点として、カナダ国内の人種的事件の描写がある。

Title Genre Author タイトル ジャンル 著者	Winning over Racism Non-Fiction Obi Akwani レイシズムに打ち勝つこと ノンフィクション オビ・アクワニ
Grades グレード	7, 8&9, 10 中学1年～高校1年
Curriculum Link 関連カリキュ ラム	Social Studies: 7. 1, 7. 2, 9. 1, 9. 2, 10. 1, 10. 2 Health and Life Skills: 8. 5, 8. 6, 8. 7, 9. 6 English Language Arts: 7, 8&9, 10 C. A. L. M. : n/a 社会学習: 7. 1, 7. 2, 9. 1, 9. 2, 10. 1, 10. 2 健康と生活のスキル: 8. 5, 8. 6, 8. 7, 9. 6 英語能力: 7, 8&9, 10 キャリアと人生設計: n/a
Synopsis 梗概	A brief overview of proposals on how to fight racism, including political lobbying, personal interventions, peaceful civil disobedience and other methods, with historical examples and analyses of their effectiveness in achieving change. ロビー活動や個人的な介入、平和的な市民抵抗運動などを含むレイシズムとの戦い方の提案の概要を、歴史的な例と変化を達成するためのそれらの効果の分析とともに示している。
Where the Value Lies 価値	By offering proposals on how to combat racism, it is useful that Akwani brings the situation of racism to the fore, expounding the belief that racism exists in Canada as a system of power. レイシズムと戦う方法について提案を示すことで、アクワニは、カナダ国内に権力のシステムとしてレイシズムが存在するという信念を解説し、レイシズムの状況を前面に持ち出す。

Title Genre Author タイトル ジャンル 著者	Ethnicity and Human Rights in Canada Non-Fiction Evelyn Kallen カナダの民族と人権 ノンフィクション イヴリン・カレン
Grades グレード	7, 8&9, 10 中学1年～高校1年
Curriculum Link 関連カリキュ ラム	Social Studies: 7. 1 7. 2, 9. 1, 9. 2, 10. 1, 10. 2 Health and Life Skills: 8. 5, 8. 6, 8. 7, 9. 6 English Language Arts: 7, 8&9, 10 C. A. L. M. : n/a 社会学習: 7. 1 7. 2, 9. 1, 9. 2, 10. 1, 10. 2 健康と生活のスキル: 8. 5, 8. 6, 8. 7, 9. 6 英語能力: 7, 8&9, 10 キャリアと人生設計: n/a
Synopsis 梗概	The book covers the types of stigmas ethnic minorities face in Canadian society. In detail, it makes the argument that continued successful stigmatization boosts the stereotypes that create the stigma in the first place, a positive-feedback cycle which can be broken by legislation and action by the government and society to de-stigmatize Canada's ethnic minorities. この本は民族的マイノリティがカナダ社会で直面する汚名の種類をカバーする。詳しく言えば、それは最初の場所で烙印を作り出したステレオタイプを連続した成功した烙印化が助長することの議論を作り上げる。政府と社会による法規制と行動によって壊されたかもしれない、カナダの民族グループを烙印から解き放つためのポジティブなフィードバックサイクル
Where the Value Lies 価値	Useful in the detail it gives to the prejudices and stereotypes experienced by minorities in Canada, as well as ways to recognize and end these stereotypes and prejudices. カナダのマイノリティが経験するステレオタイプと偏見を認識し終止符を打つ方法と同様に、偏見とステレオタイプにたいして使いやすい説明を与える。

Title Genre Author タイトル ジャンル 著者	The Invisible Empire: Racism in Canada Non-Fiction Margaret Cannon 見えない帝国:カナダのレイシズム ノンフィクション マーガレット・キャノン
Grades グレード	7, 8&9 中学1~3年
Curriculum Link 関連カリキュ ラム	Social Studies: 7. 1, 7. 2, 9. 1 Health and Life Skills: R-7. 3, R-7. 8, R-7. 9, R-8. 7, R-9. 8 English Language Arts: 7, 8&9 C. A. L. M: n/a 社会学習: 7. 1, 7. 2, 9. 1 健康と生活のスキル: R-7. 3, R-7. 8, R-7. 9, R-8. 7, R-9. 8 英語能力: 7, 8&9 キャリアと人生設計: n/a
Synopsis 梗概	In her book, Margaret Cannon maps out the extent of racism in the multicultural paradise that is Canada. She uses her own experience growing up in the segregated south of the U. S. as a springboard. She wants to know why it is that she, having received profoundly and overt racist indoctrination as a child, was able to grow into a tolerant individual, while children learning tolerance in Canada become hateful grown-ups. マーガレット・キャノンは彼女の本で多文化主義パラダイスであるカナダでのレイシズムの広がりを描き出す。彼女はアメリカ南部の分離地区で成長した彼女自身の経験を出発点として使う。子供時代に深く明らかなレイシスト教育受けて、彼女が寛容な個人へと成長することができたのはなぜかを知りたいと思う。カナダで寛容を学びながらハイトを好む大人になる子供もいるのに。
Where the Value Lies 価値	Eye-opening series of anecdotes detailing racist incidents in contemporary Canada, especially in the area of relations between metro Toronto police forces and black males. Excellent material to spark discussion about racism in Canada in a situation where racism in the immediate contemporary environment is not obvious and anti-racism topics may not seem relevant. 特にトロント市警察と黒人男性の間の関係の領域において、その当時のカナダのレイシスト事件を詳解する逸話の開眼シリーズ。正にその当時の環境においてレイシズムが明らかではない状況のカナダのレイシズムと、関連が無いように思われるアンチレイシズム的なトピックについてディスカッションするためのすばらしい素材である。

Title Genre Author タイトル ジャンル 著者	A place called heaven: the meaning of being black in Canada Non-Fiction Cecil Foster 天国と呼ばれるところ:カナダで黒人であるという意味 ノンフィクション セシル・フォスター
Grades グレード	8&9, 10&11 中学2年～高校2年
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Studies: 9. 1, 10. 1, 10. 2, 20. 1, 20. 2 Health and Life Skills: R-8. 7, 9. 8 English Language Arts: 8&9, 10&11 C. A. L. M. : P3, P4, P8, P9, R2 社会学習: 9. 1, 10. 1, 10. 2, 20. 1, 20. 2 健康と生活のスキル: R-8. 7, 9. 8 英語能力: 8&9, 10&11 キャリアと人生設計: P3, P4, P8, P9, R2
Synopsis 梗概	Cecil Foster is a well-known Canadian journalist and writer. He has written for community media, worked in national mainstream newspapers, television, and radio, published novels and books of nonfiction, and taught journalism at the post-secondary level. He is a Black man and he moved from Barbados to Canada as a young adult. He is a skilled storyteller, and he weaves together his own experiences, material from interviews, and insights from other authors to delve into a number of crucial areas in the lives of Black people in Canada today, including religion, employment, education, the media, party politics, and the criminal justice system. In particular, the book contains a useful discussion of aspects of the history of the relationship between the Black community and the police in Toronto in the '80s and '90s, as well as a discussion of the troubled community politics involved in one of Canada's largest cultural festivals – Caribana, in Toronto. セシル・フォスターはよく知られたカナダ人ジャーナリストで著述家である。彼はコミュニティメディアの為に書き、国内の主要な新聞、テレビやラジオで働き、そして小説やノンフィクションを出版し、そして、高等教育の場でジャーナリズムを教えてきた。彼は黒人で、青年時代にバルバドスからカナダに移ってきた。彼は熟練のストーリーテラーで、今日のカナダでの黒人の生活の多くの重要な領域(宗教、雇用、教育、メディア、政党政治そして刑事司法制度を含む)を掘り下げるため、彼自身の経験、インタビュー素材、他の作家の洞察を織り込む。特に、この本は、カナダ最大の文化的なフェスティバルの一つ-カリバナに関わる問題あるコミュニティの政治についてのディスカッションと同様、80年代と90年代、トロントでの黒人コミュニティと警察の間の関係の歴史の側面の有益な議論を含む。
Where the Value Lies 価値	An insightful look at the internal politics of race relations and discrimination within Canada, especially regarding the difficulties African American's have in attaining social equality. カナダ国内の人種関係と差別の内政の洞察に満ちた視点、特にアフリカ系アメリカ人が社会的平等を得るときに持つ困難に関して。

Title Genre Author タイトル ジャンル 著者	The Gulf Within: Canadian Arabs, racism, and the Gulf Non-Fiction Zuhair Kashmeri 内なる湾岸:カナダのアラブ人、レイシズム、そして湾岸 ノンフィクション ズハール・カシュメリ
Grades グレード	10-12 高校1~3年
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Studies: 10. 1, 10. 2, 20. 1, 20. 2, 30. 1, 30. 2 Health and Life Skills: English Language Arts: 10-12 C. A. L. M. : P3, P4, P8, P9, R2 社会学習: 10. 1, 10. 2, 20. 1, 20. 2, 30. 1, 30. 2 健康と生活のスキル: 英語能力: 10-12 キャリアと人生設計: P3, P4, P8, P9, R2
Synopsis 梗概	The Gulf Within documents the experiences of Arab and Muslim Canadians during the Gulf War. It highlights the varying degrees of anger and distrust other Canadians and institutions demonstrated towards these groups through a series of stories about how stereotypes and prejudices shattered many Canadian's belief in their own country. 内なる湾岸はアラブ人とイスラム教徒のカナダ人が湾岸戦争時に経験したことのドキュメントである。それは、ステレオタイプと偏見がどのように多くのカナダ人の信念を彼ら自身の国で打ち碎いたかについての一連の物語を通してこれらのグループに対し示すことで、様々なレベルの怒り描き出し、他のカナダ人と政府機関などに疑念を持つ。
Where the Value Lies 価値	Kahmeri captures the profound disillusionment and betrayal Arab and Muslim Canadians felt during the Gulf war. He gives voice to their grievances, puts a human face on communities usually stereotyped, and shares their disappointment in a country that promised tolerance. カシュメリは湾岸戦争中にアラブ人とイスラム教徒のカナダ人が感じた全ての幻滅と背信を描き出す。彼は、彼らの不満に対する声を与え、通常、ステレオタイプ化されるコミュニティに人間の顔を与え、寛容を約束したはずの国での彼らの失望を共有させる。

Title Genre Author タイトル ジャンル 著者	Deemed Unsuitable Non-Fiction Bruce Shepard 不適切と思われる ノンフィクション ブルース・シェパード
Grades グレード	7, 9 中学 2,3 年
Curriculum Link 関連カリキュ ラム	Social Studies: 7. 1, 7. 2, 9. 1, 9. 2 Health and Life Skills: W-7. 7, R-9. 8 English Language Arts: 7, 9 C. A. L. M: n/a 社会学習: 7. 1, 7. 2, 9. 1, 9. 2 健康と生活のスキル: W-7. 7, R-9. 8 英語能力: 7, 9 キャリアと人生設計: n/a
Synopsis 梗概	Between 1905 and 1912 over one thousand blacks migrated from the United States to the plains region of Canada. They came mainly from Oklahoma in an attempt to escape the racial discrimination and prejudice they faced in the United States and settled in Saskatchewan and Alberta. Hoping to find a more inclusive society, they were similarly faced with similar discrimination. This is one story of those migrations. 1905 年から 1912 年にかけて、千人以上の黒人がアメリカからカナダの平原地帯に移住してきました。彼らは主にオクラホマから、アメリカで彼らが直面し、人種差別と偏見から逃げ出そうとして、サスカチューク州とアルバータ州に住みつきました。より包括的な社会を見つける希望を抱いて、彼らは同じような差別に同じように直面しました。これは、そうした移住の物語の一つです。
Where the Value Lies 価値	Expose the falsity of the prevailing belief of Canada as an accepted, all-inclusive society, examining a history of prevailing racist attitudes. 受容性に富む懐の広い社会としてのカナダと言う、広く信じられた物語の欺瞞を明らかにし、レイシスト的態度がはびこっていることの歴史を調査している。

Title Genre Author タイトル ジャンル 著者	Moon cakes in Gold Mountain: from China to the Canadian plains Non-Fiction J. Brian Dawson 金の山の月のケーキ:中国からカナダの平原へ ノンフィクション J・ブライアン・ドーソン
Grades グレード	7, 8&9, 11 中学 1 年～高校 1 年
Curriculum Link 関連カリキュ ラム	Social Studies: 7. 1, 7. 2, 9. 1, 9. 2, 20. 1, 20. 2 Health and Life Skills: 8. 5, 8. 6, 8. 7, 9. 6 English Language Arts: 7, 8&9, 11 C. A. L. M. : P3, P4, P8, P9, R2 社会学習: 7. 1, 7. 2, 9. 1, 9. 2, 20. 1, 20. 2 健康と生活のスキル: 8. 5, 8. 6, 8. 7, 9. 6 英語能力: 7, 8&9, 11 キャリアと人生設計: P3, P4, P8, P9, R2
Synopsis 梗概	Starting from an overview to the catastrophic economic conditions of the 18th and 19th century China resulting in the mass emigration of many poorer Chinese families, the book covers the resistance and daily problems encountered by the pioneer Chinese families settling in western Canada, specifically in Alberta in the late 19th Century. 多くのより貧しい中国人家族の大規模な移住の原因となった、18世紀から19世紀の壊滅的な経済状況を概観するところから始め、この本は、西部カナダ、特に19世紀後半のアルバータ州に移住した中国人たちの草分けが遭遇した抵抗と日々の困難を書いている。
Where the Value Lies 価値	With its focus on Alberta, the book highlights the racism that existed explicitly in our own backyard. Focus on treatment of immigrants to Canada in the early part of our history. アルバータ州に焦点を当てることで、この本は我々の裏庭にはっきりと存在したレイシズムを強調している。我々の歴史の初期において、カナダへの移民たちがどう扱われたかにも焦点を当てている。

Title Genre Author タイトル ジャンル 著者	Patterns of Racism: attitudes towards Chinese and Japanese in Alberta 1920–1950. Essay Howard D. Palmer レイシズムのパターン: 1920~1950 年のアルバータ州での東洋人に対する態度 エッセイ ハワード・D・パルマー
Grades グレード	10, 11, 12 高校1~3年
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Studies: 10. 1, . 2, 20. 1, 20. 2, 30. 1, 30. 2 Health and Life Skills: English Language Arts: 10, 11, 12 C. A. L. M. : P3, P4, P8, P9, R2 社会学習: 10. 1, . 2, 20. 1, 20. 2, 30. 1, 30. 2 健康と生活のスキル: 英語能力: 10, 11, 12 キャリアと人生設計: P3, P4, P8, P9, R2
Synopsis 梗概	What Anglo-Albertans made of their new social reality, the flash points of conflict and nationalist hostility offset by forces of tolerance and cooperation during sixty years, is the heart of Palmer's astute analysis. Palmer deftly casts light on the social, economic and political issues that inflamed tension during sixty years. 英國系アルバータ州民が彼らの新しい社会的現実とするもの、60 年間の寛容と協力の力によって相殺された紛争や国家主義的敵意の発火点が、パルマーの明敏な分析の根幹である。パルマーは、60 年間の緊張に火をつける社会的・経済的・政治的問題に巧みに光を投げかける。
Where the Value Lies 価値	This book highlights the concept of nationalism as it pertained to Alberta, explicating the hostile tension between "Albertans" and those who were seen as the foreign 'other'. この本は、アルバータ州に付属するものとして、「アルバータ州民」と「外人」と見なされる人々の間の敵意のある緊張を説明することで、国家主義の概念を強調する。

Title Genre Author タイトル ジャンル 著者	Pourin' Down Rain Non-Fiction Cheryl Foggo 土砂降りの雨 ノンフィクション シェリル・フォゴ
Grades グレード	9, 10, 11, 12 中学3年～高校3年
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Studies English Language Arts 社会学習: 英語能力:
Synopsis 梗概	<p>Cheryl Foggo has written a combined history of her family and memoir of what it was like to grow up as a black child in the predominantly white society of Calgary during the 1960s and 1970s. This book would make a valuable addition to junior and senior high school library collections. This book is a must read for all students, but may be of special interest to black Canadian youth who find little written about the experiences of people like themselves – Cheryl Foggo is not an immigrant but a forth-generation Canadian who just happens to be black.</p> <p>シェリル・フォゴは彼女の家族の歴史と、60 年代から 70 年代にカルガリーの圧倒的に白人が多い社会で黒人の子供として育ったことのような回想の結びついた歴史を書いてきた。この本は、高校や中学の図書館の価値を高めるだろう。この本は、学生必読の本であるが、黒人の経験について書かれたものあまり知らない黒人のカナダ人青年には特別に関心があるものかもしれない。シェリル・フォゴは移民ではないが、たまたま黒人であった第 4 世代のカナダ人です。</p>
Where the Value Lies 価値	<p>This book details a part of Western Canada and specifically Alberta's history that is often not included. Makes visible a history of Black Canadians and the racism they faced.</p> <p>この本は、カナダ西部と、特にあまり触れられることのないアルバータ州の歴史について詳解する。そして、黒人のカナダ人たちの歴史と彼らが直面したレイシズムを可視化する。</p>

Title Genre Author タイトル ジャンル 著者	A Coyote Columbus Story Fiction Thomas King & William Kent Monkman コヨーテ・コロンブスの物語 フィクション トマス・キング、ウィリアム・ケント・モンクマン
Grades グレード	1-5 小学校1~5年
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Studies: 1.1, 1.2, 3.1, 3.2, 4.1, 4.2, 4.3, 5.1, 5.2, 5.3 Health and Life Skills: R-1. 5, R-1. 9, R - 2. 1, R-4. 8, R- 4. 9,W-4. 7 English Language Arts: 1-5 社会学習: 1.1, 1.2, 3.1, 3.2, 4.1, 4.2, 4.3, 5.1, 5.2, 5.3 健康と生活のスキル: R-1. 5, R-1. 9, R - 2. 1, R-4. 8, R- 4. 9,W-4. 7 英語能力: 1-5
Synopsis 梗概	Thomas King takes his trademark Coyote character from his poems and transfers her into an animated 'children's' book. The story explains Coyote's (as a symbol for the native American's) first encounter with the Europeans (particularly Christopher Columbus and Jacques Cartier). トマス・キングは彼の詩から、彼のトレードマークであるコヨーテの特性を取り上げ、彼女を生き生きとした「児童」書に作り上げた。物語は(ネイティブアメリカンのシンボルとしての)コヨーテの最初のヨーロッパ人との遭遇を書いている。(特に、クリストファー・コロンブスとジャック・カルティエとの)
Where the Value Lies 価値	This is an extraordinarily useful book on so many levels. The vivid illustrations and vibrant colours will be welcoming to students in grades one to three, while the subtle message of the treatment of natives and desire to conquer of the Europeans will be invaluable to students learning about Canadian history. Explicates the relationships between the first encounters of the natives and the European colonialists. In using the Coyote figure, King also explains native religious beliefs about the origin of the universe, and the dissonance it finds when compared to the European beliefs regarding creation, and subtlety highlights the racism experienced by the natives. これは多くのレベルにおいて非常に役に立つ本である。生き生きとしたイラストと鮮やかな色使いは、小学校1年から3年の生徒たちに親しまれるだろう。原住民の扱いとヨーロッパ人の征服欲についての巧みなメッセージは、生徒たちにとってカナダの歴史を学ぶ際、非常に重要なものとなるだろう。ヨーロッパの植民地主義者と原住民との最初の遭遇の関係を解明する。 コヨーテの姿を使って、キングはまた、世界の起源についての原住民の宗教的信仰を説明し、天地創造に関するヨーロッパ人の信仰と比較したときに見られる不協和を説明する。そして、巧妙さは、原住民の経験したレイシズムを強調する。

Title Genre Author タイトル ジャンル 著者	Black Cowboy Wild Horses Non-Fiction (Children's)Julius Lester & Jerry Pinkney 荒馬と黒いカウボーイ ノンフィクション (子供達の)ジュリウス・レスター、ジェリー・ピンクニー
Grades グレード	1-3 小学1~3年
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Studies: 1. 1, 1. 2, 3. 1, 3. 2 Health and Life Skills: R-1. 5, R-1. 9, R – 2. 1 English Language Arts: 1-3 社会学習: 1. 1, 1. 2, 3. 1, 3. 2 健康と生活のスキル: R-1. 5, R-1. 9, R – 2. 1 英語能力: 1-3
Synopsis 梗概	Based on the true story of Bob Lemmons, a former slave whose tracking ability as a Texas cowboy was legendary. Bob Lemmons sees the wild mustangs galloping across the open plains. Bob has tracked the horses for days, reading their hoofprints in the ground. Now he and his horse, Warrior, will run with the mustangs day and night until they accept his presence. Then Bob and Warrior will challenge the stallion leader to a fight to take over the wild herd and bring it into the corral. テキサスのカウボーイとして伝説的追跡能力を持っていた、かつての奴隸であるボブ・レモンズについての実話をもとにしている。ボブ・レモンズは平原を野生馬の群れが駆けていくのを見た。ボブは、蹄の跡を読んで何日も馬の群れを追跡した。今、彼と彼の馬-「戦士」-は、群れが彼の存在を受け入れるまで野生馬たちと夜も昼もともに走っていくだろう。そうしてボブと「戦士」は、野生の群れを引き取って、それを囲いの中に入れるために、種馬主に挑戦をするだろう。
Where the Value Lies 価値	Challenges the normal assumption of cowboys as a homogenously white group, shedding light on a history that has, for the most part, been hidden. 殆どが隠されているカウボーイの歴史に光を注ぐことで、均質な白人のグループと言うカウボーイに関する普通の思い込みに挑戦する。

Title Genre Author タイトル ジャンル 著者	I Have Been In Danger Fiction Cheryl Foggo 私は危機に瀕していた フィクション シェリル・フォゴ
Grades グレード	4 – 6 小学4~6年
Curriculum Link 関連カリキュラム	Health and Life Skills: English Language Arts: 健康と生活のスキル: 英語能力:
Synopsis 梗概	<p>Sidney Bailey, Ten, has always got on well with her twelveyear-old sister, Jackie. Their bond has been strengthened by the fun they have outdoors in a kids' group called Junior Forest Wardens, and by the lessons they learn about how to look after themselves in the world of nature. But, their closeness is threatened as Jackie begins to change, dropping the group and spending her time trying to impress a new crowd and a special new boy. The rift between them leads both girls to think more about their mixed heritage, with a Black mother and a White father. Sidney looks Black: Jackie doesn't. Jackie even envies the clearer identity that it gives her younger sister.</p> <p>On a camping holiday in the mountains, Jackie gets lost and Sidney has to find her. She needs her Junior Forest Warden skills and all her courage to deal with Jackie's injured ankle and bring them safely through a dangerous storm as the two girls spend a night alone in a mountain valley. Will they make it home? And will they ever be friends again?</p> <p>10歳のシドニー・ベイリーは、彼女の12歳の姉ジャッキーと仲が良かった。彼女らの絆は、少年森林監視員と呼ばれる子供たちのグループでの屋外での楽しみによって、そして自然界で彼ら自身の面倒をどう見るかについて学ぶレッスンによって強められていた。しかし、彼女らの親密さは、ジャッキーが変わり始め、グループから抜け出し、新しい仲間と特別な新しい少年に印象付けようと彼女の時間を費やすようになることに脅かされていた。彼女らの断絶は、両方の少女に、彼女たちが両親から受け継いだものについてより考えさせるようにした。黒人の母親と白人の父親から受け継いだものについて。シドニーは色黒で、ジャッキーはそうじゃなかった。ジャッキーはいくらか、妹が受け継いだより明確なアイデンティティを羨んでいた。</p> <p>休日に山でキャンプをしたとき、ジャッキーは迷ってしまい、シドニーは彼女を探さなければならなかつた。彼女は、二人の少女が森の中で一夜を過ごすように、彼女の少年森林監視員の技量とジャッキーの足首のけがを処置し、危険な嵐を安全に通り抜ける勇気を必要とした。彼女たちは家に帰れるだろうか？そして再び仲良くなることができるだろうか？</p>
Where the Value Lies 価値	<p>Aside from being an entertaining story, this book addresses issues of colour, difference, and identity in a way that children of this age are able to understand. This book provides language to talk about the issues. As well, this book provides positive, real life images (not stereotypical) and real life situations.</p> <p>娯楽物語であることは別として、この本は肌の色や差異、アイデンティティの問題に、この年代の子供が理解できるやり方で取り組んでいる。この本は、そのような問題について語るための言葉を提供する。同様に、この本は、ポジティブな、現実の生活イメージ(ステレオタイプ的ではない)と、現実の生活状況を提供する。</p>

Title Genre Author タイトル ジャンル 著者	Night John Fiction Gary Paulsen 夜のジョン フィクション ゲイリー・ポールセン
Grades グレード	4-7 小学校4年～中学1年
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Studies: 4. 1, 4. 2, 4. 3, 5. 2, 5. 3, 7. 1, 7. 2 Health and Life Skills: R-4. 8, R- 4. 9, W-4. 7, W-7. 7, R-5. 6, R-5. 7, R-5. 8, R-5. 9 English Language Arts: 4-7 社会学習: 4. 1, 4. 2, 4. 3, 5. 2, 5. 3, 7. 1, 7. 2 健康と生活のスキル: R-4. 8, R- 4. 9, W-4. 7, W-7. 7, R-5. 6, R-5. 7, R-5. 8, R-5. 9 英語能力: 4-7
Synopsis 梗概	<p>Set in the 1850's, this groundbreaking novel for young adults is an artistically crafted portrayal of a grim time in America's past, brought to light through the personal history of two characters. Sarny, a female slave at the Waller plantation first sees Night John when he is brought there with a rope around his neck, his body covered in scars. He had escaped north to freedom, but he came back – came back to teach reading.</p> <p>Knowing that the penalty for reading is dismemberment, Night John still returned to slavery to teach others how to read. And 12-year-old Sarny is willing to take the risk to learn.</p> <p>1850 年代において、この青年層の為の草分け的な小説は、芸術的に作り出された、かつてのアメリカにおける厳しい時間の描写であり、二人の登場人物の歴史を通して光を当てられている。ウォラーブランテーションの奴隸であるサニーは、ナイト・ジョンを彼が傷だらけで首にロープを巻かれて連れてこられたときに初めて目にします。彼は自由を求めて北に向かって脱走しましたが、彼は帰ってきました。読むことを教えるために帰つてくるのです。</p> <p>読書に対する罰が手足の切断であることを知っても尚、ナイト・ジョンは他の奴隸たちに読み方を教えるために奴隸に戻ったのです。そして 12 歳のサニーは喜んで学ぶ危険を冒します。</p>
Where the Value Lies 価値	Offers a glimpse into the treatment of slaves during the 19th century, including the attempts of slaves to educate themselves against racist policy レイシスト的な方針に対して独学する奴隸の試みを含んで、19 世紀の奴隸の扱いを垣間見せます。

Title Genre Author タイトル ジャンル 著者	Naughts and Crosses Fiction Malorie Blackman 三目ならべ フィクション マロリー・ブラックマン
Grades グレード	6-9 小学6年～中学3年
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Studies: 9. 1, 9. 2 Health and Life Skills: W-7. 7, R-8. 5, R-8. 6, R-8. 7 R-9. 8, R-9. 6 English Language Arts: 6-9 社会学習: 9. 1, 9. 2 健康と生活のスキル: W-7. 7, R-8. 5, R-8. 6, R-8. 7 R-9. 8, R-9. 6 英語能力: 6-9
Synopsis 梗概	Blackman's book imagines an alternative history, one where slavery was not an institution controlled by whites, but rather, where the whites were slaves. Focusing on two characters, Callum and Sephy, one of whom is a Naught (or a white) and the other a Cross (a black). Examines Callum's existence without freedom or personal liberties, and the fledgling relationship that is formed between the two characters. ブラックマンの本は、奴隸制度が白人に支配された制度ではなく、寧ろ白人が奴隸だったという異なる歴史を想像します。カルムとセフィーという二人の登場人物に焦点を当て、一人はノート(もしくは白人)で、もう一人はクロス(もしくは黒人)です。自由や個人的な権利のないカルムの存在と、二人の登場神仏の間に形成される若くて未熟な関係を調査します。
Where the Value Lies 価値	Aims at exploring racism by attempting to twist our historical view of the history of racism. Particularly useful is the way in which it will allow the student to imagine themselves as part of that underprivileged group who exist without freedoms, liberties, and even schools. レイシズムの歴史の我々の歴史観を歪めようすることによってレイシズムを探ることを狙います。特に有効なのは、生徒たちが自分を自由や権利、そして学校さえもない恵まれないグループの一員だと想像させようすることです。

Title Genre Author タイトル ジャンル 著者	Gold Dust Fiction Chris Lynch 金の屑 フィクション クリス・リンチ
Grades グレード	6-9 小学校6年～中学3年
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Studies: Health and Life Skills: W-7. 7, R-8. 5, R-8. 6, R-8. 7 R-9. 8, R-9. 6 English Language Arts: 6-9 社会学習: 健康と生活のスキル: W-7. 7, R-8. 5, R-8. 6, R-8. 7 R-9. 8, R-9. 6 英語能力: 6-9
Synopsis 梗概	<p>It's 1975, and seventh-grader Richard Moncreif, a die-hard Boston Red Sox fan, anxiously awaits a break in the winter weather to begin training for baseball season. When he meets Napoleon Charlie Ellis, a new student from Dominica, he envisions their becoming the new Gold Dust Twins, following in the footsteps of the star Sox rookies Fred Lynn and Jim Rice. As Richard executes his plan with Napoleon, he realizes that there are obstacles to realizing his dream. First, although his baseball talent blossoms, Napoleon's main interests lie in music and cultural events foreign to Richard. More subtle is the daily undercurrent of racial tension that Napoleon faces, but which Richard is slow to acknowledge. Richard finally comes to understand that forces beyond their control affect their relationship. Lynch's story unfolds through Richard's eyes and readers become aware of racism much as Richard does, through the words and actions of those around him.</p> <p>1975年、頑固なボストンレッドソックスファンだった中学一年生のリチャード・モンクライフは、野球シーズンの為のトレーニングを開始するため、冬の天気の中、晴れ間を待っていました。ナポレオン・チャーリー・エリスに会った時、彼は、レッドソックスのスター選手、フレッド・リンとジム・ライスの跡を継いで、ナポレオンと新しいゴールドダスト兄弟になることを思い描きました。リチャードはナポレオンと計画を実行するに従い、彼は、彼の夢を実現することに対する障害の存在を認識しました。第一に、たとえ彼の野球の才能が開花したとしても、ナポレオンの一番の関心リチャードと無縁の音楽と文化行事についてでした。さらに微妙なことには、ナポレオンが直面する日常の根底にある人種的緊張の存在でしたが、リチャードはそれを認識することがなかなかできませんでした。最終的にリチャードは、彼らのコントロールを超えた力が彼らの関係に影響を及ぼすことを理解するようになります。リンチの物語は、リチャードの目を通して展開し、読者たちはリチャードがそうであったように、彼の周りの人々の振る舞いや言葉を通じて、レイシズムに気が付くようになります。</p>
Where the Value Lies 価値	Portrays the power society has to subtlety determine our actions, with special focus on the relationships we form between those of other races. 他の人種の人々との間に我々が形成する関係に特別の焦点を当て、我々の行動を決定する巧妙さに対する社会の持つ力を描き出す。

Title Genre Author タイトル ジャンル 著者	Devil on my Heels Fiction Joyce McDonald 私の踵の上の悪魔 フィクション ジョイス・マクドナルド
Grades グレード	7-9 中学1~3年
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Studies: Health and Life Skills: W-7. 7, R-8. 5, R-8. 6, R-8. 7 R-9. 8, R-9. 6 English Language Arts: 7-9 社会学習: 健康と生活のスキル: W-7. 7, R-8. 5, R-8. 6, R-8. 7 R-9. 8, R-9. 6 英語能力: 7-9
Synopsis 梗概	<p>At 15, Dove's got a lonely side – her mother died when she was 2 and her father works a sort of benign neglect on her. But the coolest boy in Benevolence, Fla. seems to want to be with her on hot, steamy nights. She grew up with this boy, Chase, playing with him and Gator, a young black migrant worker, among the trees in her father's citrus groves. But all that innocence is in some murky past. Now, there's highvoltage tension between the migrants and the owners, and in that power struggle, the whites have turned to an old comfort, the Ku Klux Klan. Dove lands right in the middle of it, learning terrible truths as she tries desperately to right bloody wrongs.</p> <p>15の時、ドーブは独りぼっちになりました。2歳の時に母親を亡くし、父親は、彼女に対し一種の懲罰的な無視をしていました。しかし思いやりのあるもつともクールな少年、フラは蒸し暑い夜を彼女と一緒にいたいようでした。しかし、そうしたすべての無邪気さは、暗い過去なのです。今、移民と土地所有者たちの間に張り詰めるような緊張があり、その力の中で争い、白人たちは心地よかつた古い時代を取り戻そうとしています。クー・クラックス・クランです。ドーブはその間に立ち、恐ろしい真実を学んで、流血の過ちを必死に正そうとします。</p>
Where the Value Lies 価値	A portrayal of the role radical racist groups have on the destruction of minority cultures, as well as an historical look at tensions between landowners and the migrants who worked the land. その土地で働く移民と土地所有者の間の緊張の歴史観と同様、急進的なレイシストグループが少数派文化の破壊に対して持つ役割の描写

Title Genre Author タイトル ジャンル 著者	Group of One Fiction Rachna Gilmore 一人のグループ フィクション ラクナ・ギルモア
Grades グレード	7-9 中学1~3年
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Studies: Health and Life Skills: W-7. 7, R-8. 5, R-8. 6, R-8. 7 R-9. 8, R-9. 6 English Language Arts: 7-9 社会学習: 健康と生活のスキル: W-7. 7, R-8. 5, R-8. 6, R-8. 7 R-9. 8, R-9. 6 英語能力: 7-9
Synopsis 梗概	<p>Sure, her parents were born in India, but Tara has lived in Ottawa all her life – she's as Canadian as everybody else. There are more important things than where her family came from. Jeff, for instance. The new boy with the blue eyes and the brain that actually works. But then the grandmother she's never met, her father's mother, decides to come for a visit.</p> <p>Tara and her sisters Nina and Maya know little about their grandmother, apart from the fact that she was heavily involved with the Indian Independence movement with Mahatma Gandhi – and that she was not happy with her son's marriage.</p> <p>When Tara sees how this upcoming visit transforms her lively, upbeat mother into a mass of tensions, and threatens the happy-go-lucky atmosphere of her home, she undertakes to find out more about the dreaded grandmother. Tara is ready for battle, and when her grandmother arrives, Tara keeps her firmly at arm's length. Then Tara finds out how her grandmother came to join the Independence movement. . . How will this unsettling new information impact on Tara's life and affect her relationship with Jeff and her other friends? Most importantly, how will it impact on her own understanding of herself and her place in the world in which she lives?</p> <p>確かに、両親はインドで生まれましたが、タラは生まれてからずっとオタワに住んでいます。彼女は他のみんなと同じようにカナダ人です。彼女の家族がどこから来たかよりも重要なことがあります。例えばジェフ。青い目で頭の切れる新しい友達です。しかし、会ったことのない祖母が、やってくることになりました。タラと彼女の姉妹のニナとマヤは祖母のことをほとんど知りません。彼女がマハトマ・ガンディーとインド独立運動に深くかかわっていたこと、そして、彼女が息子の結婚を喜んでいなかったこと以外は。タラがこの訪問が彼女をどう活発に変えていくか、陽気な母親がどう緊張の塊になるか、家の中の楽天的な雰囲気がどう脅かされるかを見るとき、彼女はこの恐ろしい祖母についてもっと知ろうとし始めます。戦いの準備が整い、そして彼女の祖母が到着したとき、タラはかたくなに彼女を遠ざけます。その後、タラはどのように祖母が独立運動に参加するようになったかを知るようになります…</p> <p>この穏やかならぬ新しい情報は、タラの生活やジェフやその他の友達との関係にどのように影響するでしょうか？最も重要なことには、彼女の自己認識と彼女が住む世界での彼女の場所にどのように影響するでしょうか。</p>
Where the Value Lies 価値	Effectively elucidates the dichotomous nature of being 'Canadian' – society expects Tara to be "Indian," and she is forced to grapple with societal expectations. 「カナダ人」であること—社会がタラに「インド人」であることを期待することの二分された本質を効果的に明らかにし、そして彼女は社会の期待と取り組むことを強いられる。

Title Genre Author タイトル ジャンル 著者	The Joy Luck Club Fiction Amy Tan ジョイラッククラブ フィクション エイミー・タン
Grades グレード	10-12 高校1~3年
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Studies: Health and Life Skills: English Language Arts: 10-12 C. A. L. M. : P3, P4, P8, P9, R2 社会学習: 健康と生活のスキル: 英語能力: 10-12 キャリアと人生設計: P3, P4, P8, P9, R2
Synopsis 梗概	Four mothers, four daughters, four families whose histories shift with the four winds depending on who's "saying" the stories. In 1949, four Chinese women, recent immigrants to San Francisco, begin meeting to eat dim sum, play mahjong, and talk. United in shared unspeakable loss and hope, they call themselves the Joy Luck Club. Rather than sink into tragedy, they choose to gather to raise their spirits and money. "To despair was to wish back for something already lost. Or to prolong what was already unbearable." <i>Forty years later the stories and history continue.</i> 誰が物語を語るかによって4つの風に翻弄される歴史を持つ4人の母親、4人の娘、4つの家族。1949年、サンフランシスコに移民してきた4人の中国人女性は転身を食べるため、マージャンをするため、そしておしゃべりをするために会い始めた。言葉に絶する損失と希望を分かち合って集まり、彼女たちは自らをジョイラッククラブと呼んだ。悲しみに沈むよりも、彼女たちは集まって気持ちと豊かさ高揚させることを選んだ。 「絶望することは既に失ったことを元に戻そうと望むこと。又は既に耐えられなくなったことを長引かせること」40年後、物語と歴史は続いていく。
Where the Value Lies 価値	Highlights challenges confronted by new immigrants to a predominantly white society, examining the way they are forced to construct their own identities and stories in the face of overwhelming homogeneity. 新しい移民たちが圧倒的に白人が優位な社会で直面した変化を強調する。圧倒的均質さに直面して、彼らが、どのように彼ら自身のアイデンティティと物語を構築するよう強いられたかを調査する。

Title Genre Author タイトル ジャンル 著者	Black Like Me Autobiography John Howard Griffin 私のような黒人 自伝 ジョン・ハワード・グリフィン
Grades グレード	10-12 高校1~3年
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Studies: 20. 1, 20. 2, 30. 1, 30. 2 Health and Life Skills: English Language Arts: 10-12 C. A. L. M. : P3, P4, P8, P9, R2 社会学習: 20. 1, 20. 2, 30. 1, 30. 2 健康と生活のスキル: 英語能力: 10-12 キャリアと人生設計: P3, P4, P8, P9, R2
Synopsis 梗概	Black Like Me is a chronicle of the journalist John Howard Griffin's experience going 'undercover,' literally, to become a black man in the southern united states in the 1950s. What follows is a chilling account of the resistance and racism he experienced. 『私のような黒人』は、ジャーナリスト、ジョン・ハワード・グリフィンの、文字通り、1950年代にアメリカ南部で「秘密裡」に黒人になろうとした経験の年代記である。後に続くことは、彼が経験したレイシズムと抵抗についての恐ろしい告白である。
Where the Value Lies 価値	Immensely entertaining yet frightening account of the blatant racism experienced by a white man who pretends to be black. Startling shift in attitudes and prejudices bestowed upon him. 非常に娯楽的だが、黒人に変装した白人が経験する露骨なレイシズムについての恐ろしい報告である。彼に向けられる偏見と驚くべき態度の変化。

Title Genre Author タイトル ジャンル 著者	Othello, The Tempest Drama William Shakespeare オセロ、テンペスト 戯曲 ウィリアム・シェークスピア
Grades グレード	10-12 高校1~3年
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Studies: Health and Life Skills: English Language Arts: 10-12 C. A. L. M. : P3, P4, P8, P9, R2 社会学習: 健康と生活のスキル: 英語能力: 10-12 キャリアと人生設計: P3, P4, P8, P9, R2
Synopsis 梗概	Both Othello and The Tempest contain characters (Othello and Caliban) identified by their markedly physical (racial)difference in the eyes of the European society. 『オセロ』と『テンペスト』は、西洋社会の視点で、明らかな身体的(人種的)差異によって区別される登場人物(オセロとキャリバン)を含む。
Where the Value Lies 価値	Valuable in examining the methods in which the racially marginalized characters are forced to construct their identity through the beliefs, ideas, and prevailing notions about the inferior and dangerous ‘other’. Particularly useful in that the 16th century is the first occurrence of when “race” (as we know it) becomes a defining characteristic of humanness. Also useful in examining the effects of colonialism on the subaltern group. 人種によって社会的に軽視された登場人物たちが、その信仰、考え方、劣っており危険な「他者」という一般に広まった概念を通じてアイデンティティを確立することを強いられたやり方を調査することに価値がある。特に、16世紀に初めて(我々の知るような)「人種」が人間性の特徴を定義するようになったことは有益な情報である。また、次位のグループに対する植民地主義の効果を調査することも有益である。

Title Genre Author タイトル ジャンル 著者	Obasan Fiction Joy Kogawa おばさん フィクション ジョイ・コガワ
Grades グレード	10-12 高校1~3年
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Studies: 20. 1, 20. 2, 30. 1, 30. 2 Health and Life Skills: English Language Arts: 10-12 C. A. L. M. : P3, P4, P8, P9, R2 社会学習: 20. 1, 20. 2, 30. 1, 30. 2 健康と生活のスキル: 英語能力: 10-12 キャリアと人生設計: P3, P4, P8, P9, R2
Synopsis 梗概	With events based on the life of Joy Kogawa, Obasan focuses on a young girl who, during WWII is forced to move with her family from her home in Vancouver to internment camps in Alberta. In her reflection, she attempts to gain understanding of where her mother was during this tumultuous time in her upbringing. ジョイ・コガワの人生に基づく物語で、『おばさん』は、第2次世界大戦中にバンクーバーの自宅からアルバータ州の収容所に家族もろとも移動させられた若い少女に焦点を当てる。彼女の反応によって、彼女は彼女の母親がこの動乱の時代にどこで彼女を育てたかの理解を集めようとする。
Where the Value Lies 価値	Brilliant look at the treatment of the Japanese and racist policy of the Canadian government during World War II, especially in the construction of the Asian community as dangerous and evil. 第二次大戦中の日本人の扱いとカナダ政府の、特に、アジア人コミュニティの構築について、危険で邪悪だとするレイシストの方針、を見事にとらえている。

Title Genre Author タイトル ジャンル 著者	Green Grass, Running Water Fiction Thomas King 緑の草、走る水 フィクション トマス・キング
Grades グレード	10-12 高校1~3年
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Studies: Health and Life Skills: English Language Arts: 10-12 C. A. L. M. : n/a 社会学習: 健康と生活のスキル: 英語能力: 10-12 キャリアと人生設計: n/a
Synopsis 梗概	The plot revolves around the escape from a mental hospital of four very old Aboriginal men called Ishmael, Hawkeye, Robinson Crusoe and the Lone Ranger. These, however, are no ordinary natives. They may be the last survivors of the Indians interned at Fort Marion in Florida in the 19th century. Or perhaps they are the first human beings, as described in tribal creation myths. Their repeated breakouts—37 to date—have coincided with disasters: the 1929 stock market crash, the eruption of Mt. St. Helens, etc. Their mission this time brings them into the lives of an eccentric Canadian Blackfoot family: Lionel Red Dog, who sells TV sets and has no ambition; his sister Latisha, who owns a restaurant that bilks thrill-seeking tourists by purporting to serve them dog meat; Uncle Eli Stands Alone, a former university professor who is determined to prevent the operation of a dam on Indian land; and Charlie Looking Bear, a smarmy lawyer who works for the company opposing Eli's cause. Wavering emotionally between Lionel and Charlie is Alberta Frank, who dates both of them and wants a baby but knows that neither man is husband material. プロットは、イシュマエル、ホーカイ、ロビンソン・クルーソー、ローンレンジャーと呼ばれる4人の原住民の老人男性の精神病院からの脱走について描いている。しかしながら彼らは普通の原住民ではない。彼らは19世紀の風呂理でのマリオン砦に抑留されたインディアンの最後の生存者かもしれない。もしくは、彼らはおそらく部族の神話に描かれたような最初の人類だった。彼らは脱走を繰り返し(今までに37回)、それらは次のような災害と一致していた。1929年の株式相場の暴落、セントヘレンズ火山の噴火など。今回の彼らの作戦は、彼らに、風変りなブラックフット族の家族の生活に入り込むことだった。平凡なTVのセールスマン、ライオネル・レッドドッグ、その妹の彼らに犬の肉を振舞うと主張することで危険を求める旅行者を避けるレストラン経営者のラティシャ、イーライおじさんは他に類を見ない人で、インディアンの土地のダムの操業を防ぐ決心をした元大学教授。そして、チャーリー・ルッキングベア。お世辞屋の弁護士で、イーライの運動と対立する企業の為に働いている。ライオネルとチャーリーの間の感情的な揺らぎは、アルバータ・フランクによるもので、彼女は彼ら両方とデートし子供を欲しがっているが、二人が夫向きでないことも知っている。
Where the Value Lies 価値	Examines the impact of the clash between Native cultures and European society, and how they are played out in present day society. Reflects on the history of colonialism, as well as prevailing stereotypes about native culture. 原住民の文化とヨーロッパ人社会の間の衝突の影響、そして今日の社会でそれらがどのような役割を持つかを掘り下げている。原住民文化に関する広く信じられたステレオタイプと同様、植民地主義の歴史に途方もなく影響している。

Title Genre Author タイトル ジャンル 著者	The Truth About Stories Fiction Thomas King 物語についての真実 フィクション トーマス・キング
Grades グレード	10–12 高校1~3年
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Studies: Health and Life Skills: English Language Arts: 10–12 C. A. L. M. : P3, P4, P8, P9, R2 社会学習: 健康と生活のスキル: 英語能力: 10–12 キャリアと人生設計: P3, P4, P8, P9, R2
Synopsis 梗概	Part of the CBC Massey Lecture Series, The Truth About Stories tells, in part, Thomas King's own life story, as well as numerous takes of the traditional Native creation myth, all the while elucidating why it is important for each person to have his or her own unique story. CBC マッシー講義シリーズで、それぞれの人にとって、彼ら自身のユニークな物語を持つことがなぜ重要であるかを説明しながら、『物語についての真実』は、伝統的なネイティブの創世神話の多数の変形と同様に、一部、トーマス・キング自身の生涯を語っている。
Where the Value Lies 価値	Brilliantly suggests that each person must necessarily have the ability to tell his/her own story. Implicit in this is that the natives have been unable to tell their own stories due to the imposed values of dominant European culture on their society. 各人其々が自身の物語を語る能力を必ず持たねばならないと明解に提案する。ここで暗黙的に示されるのは、ネイティブたちは、彼らの社会において支配的な西欧文化の価値を押し付けられたことにより、彼ら自身の物語を語ることができなかつたということだ。

Title Genre Author タイトル ジャンル 著者	Charlie Short Story Lee Maracle チャーリー ¹ 短編 リー・マラクル
Grades グレード	10-12 高校1~3年
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Studies: Health and Life Skills: English Language Arts: 10-12 C. A. L. M. : P3, P4, P8, P9, R2 社会学習: 健康と生活のスキル: 英語能力: 10-12 キャリアと人生設計: P3, P4, P8, P9, R2
Synopsis 梗概	This short story focuses on an Aboriginal student who escapes from a government sanctioned colonial school in order to find his family. この短編は家族を探すために政府認可の植民地学校から脱走する原住民の生徒に焦点を当てている。
Where the Value Lies 価値	Contains elements of the European method of 'construction' of marginalized groups. Also highlights the Canadian history of missionary schools where aborigines were recommended to attend in order to better fit into society. 社会的に軽視されたグループの「構築」の西洋的方法の要素を含んでいる。また、原住民が社会によりよく適合するように出席するように勧められた宣教学校についてのカナダの歴史を強調している。

ウェブサイト

このセクションでは教師と生徒に向けたリソースを含むウェブサイト情報を提供する。それぞれのウェブサイトは、教師がサイトに提供された情報群について、そしてサイトが教師向けか生徒向けかについて、考えることができるよう、詳細に説明されている。

それぞれのウェブサイトは、社会学習、言語能力、健康とウェルネスまたはキャリアと人生設計の中の特定のユニットにリンクしている([アルバータ州学習カリキュラムリンク](#)※)。これらはどのようにしてこれらのリソースをレッスンプランに組み込めるかの単なる提案である。教師は、他の多くの可能性を見つけるかもしれない。

それぞれのウェブサイトについて概要説明文を用意した。加えて、サイトを閲覧すれば具体的な教師と生徒の為のリソースを見つけることができるだろう。これらのリソースは次のようなものを含む。レッスンプラン、書籍リスト、学生の活動、グループプロジェクト提案、読書、ビデオと他のリソースへのリンク集。

※<http://education.alberta.ca/teachers/program.aspx>

アンチレイシズムリソースキット

01.

Alberta Association for Multicultural Education

アルバータ州多文化教育協会

Source ソース	Canada カナダ www.aamed.ca/
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Studies, C.A.L.M. and Language Arts 社会学習、キャリアと人生設計、言語能力
Grades グレード	K-12 幼稚園～高校3年
Subject 主題	This website provides an annotated bibliography of video resources addressing issues of representation, racism, difference, Canadian cultural history and identity, Aboriginal history in Canada, religion and culture, terrorism and war. 表現、レイシズム、差異、カナダ文化とアイデンティティの歴史、カナダ原住民の歴史、宗教と文化、テロリズムと戦争の問題に取り組むビデオ素材の注釈つき目録を提供するウェブサイトである。
Resources リソース	This website provides teachers with a list of video resources. Teachers are provided valuable information on each video – short description, running time, grade level, cost, and supplier. The website also provides links to other related websites. このウェブサイトは教師にビデオ素材のリストを提供する。 教師たちはそれぞれのビデオについて短い説明、長さ、対象年齢、価格と取扱い先についての価値ある情報を提供される。このウェブサイトはまた、関連する別のウェブサイトへのリンクを供給する。

アンチレイシズムリソースキット

02.

Committee on Race Relations and Cross Cultural Understanding (CCRCCU)
人種関係と異文化理解委員会

Source ソース	Canada カナダ www.crrccu.org/
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Studies C.A.L.M. Language Arts 社会学習 キャリアと人生設計 言語能力
Grades グレード	K-12 幼稚園～高校3年
Subject 主題	This website provides information about the Committee and their services. They provide anti-racism programs and resources for teachers, students and community members. このウェブサイトは「人種関係と異文化理解委員会」とそのサービスについて情報提供を行っている。それらは教師、生徒、共同体メンバーの為のアンチレイシズムプログラムと素材のを提供する。
Resources リソース	The website provides teachers with anti-racism program resources and contact information. ウェブサイトは教師たちにアンチレイシズムプログラム素材と連絡先を提供している。

Human Rights and Equal Opportunity Commission

人権及び機会均等委員会

Source ソース	Australia オーストラリア www.hreoc.gov.au/racial_discrimination/index.html
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Curriculum: 10. 1, 10. 2, 20. 1, 20. 2, 30. 1, 30. 2 (Appendix A) English: 10–12 (Appendix D) Health and Life Skills: n/a (Appendix B) C. A. L. M: P3, P4, P8, P9, R2 (Appendix C) 社会カリキュラム: 10. 1, 10. 2, 20. 1, 20. 2, 30. 1, 30. 2 (付録 A) 英語: 10–12 (付録 D) 健康と生活のスキル: n/a (付録 B) キャリアと人生設計: P3, P4, P8, P9, R2 (付録 C)
Grades グレード	10–12 高校1~3年
Subject 主題	<p>The focus of this website is to address the prevailing myths surrounding refugees, migrants, and Aboriginal peoples in Australia. In doing so, it is hoped that the student will develop:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. a) stronger understanding of issues concerning asylum seekers and refugees, migrants and multiculturalism and Aboriginal and Torres Strait Islander peoples; 2. b) analytical and research skills including internet research skills; 3. c) an understanding of the importance of numeracy skills during research and when studying society and culture; and 4. d) critical literacy skills, particularly in relation to representations of issues central to social, economic and political debate. <p>オーストラリアの難民、移民、そして原住民に広まった作り話と立ち向かうことがこのウェブサイトの焦点である。 そうすることで、その学生の発達が望まれるだろう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. a) 亡命希望者と難民、移民と多文化主義と原住民と、トレス海峡諸島の人々に関する問題のより深い理解。 2. b) インターネット調査スキルを含む、分析的スキルと調査スキル。 3. c) 調査中及び社会と文化を学ぶ際の数学的スキルの重要性の理解。 4. d) リテラシー。特に社会、経済、政治の議論に対して中心的な問題の表現に関するもの。
Resources リソース	<p>The site provides teachers with a list of recent publications and reports that can be downloaded or ordered online. In addition, there is a short list of websites and links for further exploration for teachers and students to explore. In the “Face the Facts” section, there is provided a glossary of discriminatory terms, as well as a very useful Activity/Resource section, divided into 3 main sections: Refugee, Migration and Multiculturalism, and Aboriginal and Torres Strait Islander People. In addition, each of these sections addresses questions such as “What are Refugees?” and “What are the impacts of migration?”</p> <p>The website also provides links to “Voices of Australia” which encourages understanding of different racial issues. There is, for instance, a Muslim website entitled “Listen” that reports the experience of racism experienced by Muslims in Australia post September 11.</p> <p>Multi-cultural lifestyles and perspectives are shared through personal accounts and experiences with racism and discrimination. Communities are working in collaboration with federal and municipal governments to deconstruct stereotypes. Although the information presented is specific to Australian policies, government, area-specific issues and racial tensions, universal themes of anti-racism are explored.</p> <p>このサイトはオンラインで注文したりダウンロードできる最近の出版物と報告書のリストを教師に提供している。加えて、教師や生徒がさらなる調査をするためのウェブサイトとリンクの選択リストがある。「事実を認める」セクションにおいては、難民、移民と多文化主義、原住民とトレス海峡諸島の人々といった3つの主要なセクションに分けられており、非常に便利な活動と素材のセクションと同様、差別用語の用語集が提供されている。加えて、これらのセクションはそれぞれ、「難民とは何か?」や「移民の影響とは?」のような質問に答えている。</p> <p>このウェブサイトはまた、異人種間の問題の理解を促す「オーストラリアの声」へのリンクを提供している。</p>

アンチレイシズムリソースキット

例えば、9.11 後にイスラム教徒が経験したレイシズムについて報告している「Listen」と題されたイスラム教徒のウェブサイトがある。多文化主義的ライフスタイルと視点はレイシズムと差別についての個人的な物語と経験を通じて共有される。幾多の共同体が、連邦政府や地方自治体と協力して、ステレオタイプを解体するために働いている。与えられた情報がオーストラリアの方針、政府地域特有の問題や人種的緊張に特化したものであっても、アンチレイシズムの世界的なテーマを知ることができる。

Northern Alberta Alliance On Race Relations

北アルバータ人種関係同盟

Source ソース	Canada カナダ www.naarr.org/index.php?option=com_content&task=view&id=35&Itemid=51
Curriculum Link 関連カリキュラム	CALM (7-12) Social Studies (6-12) EG. 7. 2. 1, 7. 2. 2, 7. 2. 3, 7. 5. 47. 5. 6 Language Arts (K-3) キャリアと人生設計 (7-12) 社会学習 (6-12) EG. 7. 2. 1, 7. 2. 2, 7. 2. 3, 7. 5. 47. 5. 6 言語能力 (K-3)
Grades グレード	K-12 幼稚園～高校 3 年生
Subject 主題	<p>This website provides teachers with classroom resources.</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Race and Respect (grades 7-12) – is a resource for secondary teachers and provides interactive activities that address issues related to human rights, multiculturalism and anti-racism. The classroom activities are clear with detailed instructions (including the time required and materials necessary) and learning outcomes. 2) All Colours Are Beautiful (grades 6 – 9) – uses literature to illustrate issues of racism. This resource provides teachers with tools to facilitate open discussion of the causes and implication of racism. 3) Cultural Crossroads (K-3) – provides a list of Resources to support the new Social Studies Curriculum. <p>このウェブサイトは教師たちに教室で使う教材を提供する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 人種と尊敬（中学 1 年から高校 3 年） – これは中等教育の教師の為の教材であり、人権と多文化主義そしてアンチレイシズムに関する問題に取り組むインタラクティブな活動を提供する。教室での活動は詳細な指導方法（必要な時間と素材の指定を含み）と学習結果によって明解なものになっている。 2) 全ての色は美しい（小学校 6 年から中学 3 年） – これは、レイシズムの問題を説明した文献を使用する。このリソースは教師に、レイシズムの結果と意味についてのオープンな議論を容易にするための道具を提供する。 3) 文化的交差点（幼稚園～小学校 3 年生） – これは、新しい社会学習カリキュラムを支援するリソースのリストを提供する。
Resources リソース	<p>This site provides teachers with classroom resources, students with youth initiatives, and links to other valuable sites.</p> <p>このサイトは教師たちに教室で使う教材を提供し、生徒たちには活動プログラムと他の価値のあるサイトへのリンクを与える。</p>

アンチレイシズムリソースキット

05.

UNAC Youth Forum against Racism

カナダ国際連合協会反レイシズム青年フォーラム

Source ソース	Canada カナダ www.unac.org/yfar/index_e.htm
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Curriculum: K. 1, K. 2, 1. 1, 1. 2, 3. 1, 3. 2, 7. 1, 7. 2, 9. 1, 9. 2, 10. 1, 10. 2, 20. 1, 20. 1, 30. 1, 30. 2 English: 5. 1. 1, 5. 1. 2, 5. 1. 3, 5. 1. 4, 5. 2. 1, 5. 2. 2, 5. 2. 2, 1. 1. 1, 1. 2. 1, 1. 2. 2, 2. 1. 1, 2. 1. 2, 2. 1. 4, 2. 2. 1, 2. 2. 2, 2. 3. 1, 2. 3. 2, 3. 1. 1, 3. 1. 2, 3. 2. 2, 3. 2. 4 Health and Life Skills: W-5. 7, R-3. 1, R-3. 5, R-4. 1, R - 5. 9, R-8. 8, R-9. 1 C. A. L. M: P3, P4, P8, P9, R2 社会カリキュラム: K. 1, K. 2, 1. 1, 1. 2, 3. 1, 3. 2, 7. 1, 7. 2, 9. 1, 9. 2, 10. 1, 10. 2, 20. 1, 20. 1, 30. 1, 30. 2 英語: 5. 1. 1, 5. 1. 2, 5. 1. 3, 5. 1. 4, 5. 2. 1, 5. 2. 2, 5. 2. 2, 1. 1. 1, 1. 2. 1, 1. 2. 2, 2. 1. 1, 2. 1. 2, 2. 1. 4, 2. 2. 1, 2. 2. 2, 2. 3. 1, 2. 3. 2, 3. 1. 1, 3. 1. 2, 3. 2. 2, 3. 2. 4 健康と生活のスキル: W-5. 7, R-3. 1, R-3. 5, R-4. 1, R - 5. 9, R-8. 8, R-9. 1 キャリアと人生設計: P3, P4, P8, P9, R2
Grades グレード	K-12 幼稚園～高校 3 年生
Subject 主題	The website delivers a plethora of resources available for the instruction and learning of racism in the curriculum. It supplies a list of resources (essays, videos, curriculum guides et al) analyzed by YFAR participants. Most importantly, the website provides “The Kit – a manual by youth to combat racism through education,” a teaching tool that details current issues in racism, key concepts in antiracism, myths and misconceptions, and a list of references. このウェブサイトにはカリキュラムでレイシズムについて指導し学習するための利用可能な大量の教材がある。YFAR(反レイシズム青年フォーラム)参加者によって分析された教材のリスト(エッセイ、ビデオ、カリキュラムガイドなど)を提供している。最も重要なことには、このウェブサイトは「ザ・キット—教育を通じてレイシズムと戦うための若者によるマニュアル」を提供していることであり、それは、レイシズムに関する現在の問題やアンチレイシズムのキーコンセプト、作り話と誤解、そして参考資料のリストを詳解する教育ツールである。
Resources リソース	The Kit offers lesson plans and exercises that can be implemented in the curriculum (a cultures game, for example), and provides a list of links for further resources. In terms of suggesting resources for further study and analysis by teachers, The Kit compiles an extraordinarily useful and comprehensive list of books, videos and essays that deal with the issue of racism. The information contained within the website can certainly be used at all ages and for all grades in a school curriculum. The site also represents multi-ethnic people engaging in discussion forums on racism, sharing diverse life experiences and perspectives このキットはカリキュラム(例えばカルチャーゲームとか)の中で実行されるかもしれないレッスンプランと演習を提供し、さらなるリソースの為のリンクのリストを提供する。教師による追加学習と分析の為のリソース提案の観点で、このキットは非常に使いやすく包括的な、レイシズム問題を扱った書籍やビデオ、そしてエッセイのリストを備えている。ウェブサイトの含まれる情報は、確実に全ての年代と全ての学年の学校カリキュラムに対して使うことができるだろう。 このサイトはまた、多様な生活体験や視野の共有により、レイシズムについてのディスカッションフォーラムに参加する多民族の人々を代表している。

アンチレイシズムリソースキット

06.

UBC Press Anti-Racism Books – Anti Racist and Multicultural Education

UBC 出版アンチレイシズムブックス-アンチレイシストと多文化教育

Source ソース	Canada カナダ http://pep.educ.ubc.ca/anti.html
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Curriculum: K. 1, K. 2, 1. 1, 1. 2, 2. 1, 2. 2, 3. 1, 3. 2, 4. 1, 4. 2, 4. 3, 5. 2, 5. 3, 7. 1, 7. 2, 9. 1, 9. 2, 10. 1, 10. 2, 20. 1, 20. 2, 30. 1, 30. 2 English: 5. 1. 1, 5. 1. 2, 5. 1. 3, 5. 1. 4, 5. 2. 1, 5. 2. 2, Health and Life Skills: W-5. 7, R-3. 1, R-3. 5, R-4. 1, R – 5. 9, R-8. 8, R-9. 1 C. A. L. M: P3, P4, P8, P9, R2 社会カリキュラム: K. 1, K. 2, 1. 1, 1. 2, 2. 1, 2. 2, 3. 1, 3. 2, 4. 1, 4. 2, 4. 3, 5. 2, 5. 3, 7. 1, 7. 2, 9. 1, 9. 2, 10. 1, 10. 2, 20. 1, 20. 2, 30. 1, 30. 2 英語: 5. 1. 1, 5. 1. 2, 5. 1. 3, 5. 1. 4, 5. 2. 1, 5. 2. 2, 健康と生活のスキル: W-5. 7, R-3. 1, R-3. 5, R-4. 1, R – 5. 9, R-8. 8, R-9. 1 キャリアと人生設計: P3, P4, P8, P9, R2
Grades グレード	K-12 幼稚園～高校 3 年生
Subject 主題	An extraordinarily useful resource that compiles books published by UBC Press and provides annotations, quotations, and reviews 非常に使いやすい、UBC 出版によって出版された本のリスト、そして注釈と引用、書評を提供するリソース。
Resources リソース	Important for the teachers, this site also categorizes the books by subject appropriateness, age suggested, and grades, as well as whether these books would serve as a teacher's resource or be more pertinent in certain provinces. The only drawback to this website is that only the books published by UBC Press are represented. The majority of authors, characters and heroes are members of the culture that is written about. Visual represent of multiculturalism is expressed through photos and artwork. The language used is primarily English with multi-language words used for culturally specific artifacts, materials, ceremonies and character names. 教師にとって重要なことには、このサイトはまた、これらの本が教師の教材として役に立つか、または特定の分野でより適切なものであるかと同様に、主題の適切さ、対象年齢、グレードによって本を分類していることである。このサイトの唯一の欠点は、UBC 出版によって刊行された本しか示されていないことである。 著者たち、登場人物や主人公たちの大半は、書かれている文化の一員である。多文化主義の視覚的表現は、写真とアートワークによって示される。使われる言語は主として、文化的な特定の人工物、素材、セレモニー、登場人物の名前の為に使われる多くの他の言語の単語を含む英語である。

Minnesota Advocates for Human Rights
ミネソタ州人権宣言

Source ソース	<p>U. S. A. アメリカ合衆国 http://www.mnadvocates.org</p>
Curriculum Link 関連カリキュラム	<p>Social Curriculum: 3. 1, 3. 2, 4. 1, 4. 2, 4. 3, 5. 2, 5. 3, 7. 1, 7. 2, 9. 1, 9. 2, 10. 1, 10. 2, 20. 1, 20. 2, 30. 1, 30. 2 English: 5. 1. 1, 5. 1. 2, 5. 1. 3, 5. 1. 4, 5. 2. 1, 5. 2. 2, Health and Life Skills: W-5. 7, R-3. 1, R-3. 5, R-4. 1, R - 5. 9, R-8. 8, R-9. 1 C. A. L. M: P3, P4, P8, P9, R2 社会カリキュラム: 3. 1, 3. 2, 4. 1, 4. 2, 4. 3, 5. 2, 5. 3, 7. 1, 7. 2, 9. 1, 9. 2, 10. 1, 10. 2, 20. 1, 20. 2, 30. 1, 30. 2 英語: 5. 1. 1, 5. 1. 2, 5. 1. 3, 5. 1. 4, 5. 2. 1, 5. 2. 2, 健康と生活のスキル: W-5. 7, R-3. 1, R-3. 5, R-4. 1, R - 5. 9, R-8. 8, R-9. 1 キャリアと人生設計: P3, P4, P8, P9, R2</p>
Grades グレード	3-12 小学校 3 年から高校 3 年
Subject 主題	<p>Dedicated to introducing international human rights and responsibilities to students grades 3 –12. The website offers a comprehensive Human Rights Education Curriculum and Resources which focus on materials gathered as a result from expertise gained by specific components of their work, such as refugee and immigrant issues in Minnesota, fact-finding missions pertaining to children's and women's rights, human rights issues since September 11, and other areas of human rights 小学校 3 年から高校 3 年生に対する国際的な人権と責任の紹介に専心している。このウェブサイトは、ミネソタ州の難民や移民の問題、女性と子供の権利に関する現地調査、9.11 以降の人権問題、そしてその他の人権に関する領域の様な、その業績の特定の構成要素によって獲得された専門技術の結果として集められた素材に注目した包括的な人権教育カリキュラムと教材を提供している。</p>
Resources リソース	<p>The website offers downloadable teaching guides or individual lesson plans. The plans utilize charts, tables, graphs, and maps to convey important information about immigration such as: who comes from other countries to settle in the U. S. , why they come, the process by which they are allowed in, where they settle, their impact on the economy, and the “nuts and bolts” of U. S. immigration policy. Immigration is presented within an historical context and through firsthand accounts and role-playing activities. The site also provides an interesting curriculum that focuses on U. S. policy post- September 11, including case studies on post-September 11 biases and discrimination. The site also provides an immigrant quotient quiz designed for grades 6–12, which provides an eye-opening look at the reality of immigrants and refugees historically and currently composing our communities. このウェブサイトはダウンロードできる教育ガイドやレッスンプランを提供している。レッスンプランは、移民に関する次のような重要な情報を伝えるために表やテーブル、グラフそして地図を利用する。アメリカに定住するために他の国から来たのはどんな人たちか、彼らはなぜ来たのか、彼らが入国を認められたプロセスは、どこに定住したか、経済に対する彼らの影響、そしてアメリカの移民政策の基本。移民は、歴史的文脈の中と目撃談とロールプレイ活動を通じて示される。このサイトはまた、ポスト 9.11 のバイアスや差別に関するケーススタディを含む、9.11 以降のアメリカの政策に注目した興味深いカリキュラムを提供している。そしてさらに、このサイトでは小学校 6 年から高校 3 年生に向けに考えられた移民指数クイズを用意しており、これは、歴史的かつ今日的に我々のコミュニティを構成する移民や難民の現実に対する目を開かせる視点を提供する。</p>

Teaching Tolerance 寛容を教えること	
Source ソース	U. S. A. アメリカ合衆国 http://www.tolerance.org/teach
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Curriculum: K. 1, K. 2, 1. 2, 1. 2, 2. 1, 2. 2, 3. 1, 3. 2, 4. 2, 4. 3, 5. 2, 5. 3, 6. 1, 7. 1, 7. 2, 8. 2, 9. 1, 9. 2, 10. 1, 10. 2, 20. 1, 20. 2, 30. 1, 30. 2 English: 5. 1. 1, 5. 1. 2, 5. 1. 3, 5. 1. 4, 5. 2. 1, 5. 2. 2, 5. 2. 2, 1. 1. 1, 1. 2. 1, 1. 2. 2, 2. 1. 1, 2. 1. 2, 2. 1. 4, 2. 2. 1, 2. 2. 2, 2. 3. 1, 2. 3. 2, 3. 1. 1, 3. 1. 2, 3. 2. 2, 3. 2. 4 Health and Life Skills: K. 6, K. 9, R-1. 5, R-1. 9, R-2. 1R-3. 6, R-3. 7, R-3. 9, R-4. 1 R-4. 9, W-4. 7 R-5. 6, R-5. 7, R-5. 8, R-5. 9, R-6. 1, R-6. 2, R-6. 4 R-6. 7, R-6. 8, L-6. 3, C. A. L. M: P3, P4, P8, P9, R2 社会カリキュラム: K. 1, K. 2, 1. 2, 1. 2, 2. 1, 2. 2, 3. 1, 3. 2, 4. 2, 4. 3, 5. 2, 5. 3, 6. 1, 7. 1, 7. 2, 8. 2, 9. 1, 9. 2, 10. 1, 10. 2, 20. 1, 20. 2, 30. 1, 30. 2 英語: 5. 1. 1, 5. 1. 2, 5. 1. 3, 5. 1. 4, 5. 2. 1, 5. 2. 2, 5. 2. 2, 1. 1. 1, 1. 2. 1, 1. 2. 2, 2. 1. 1, 2. 1. 2, 2. 1. 4, 2. 2. 1, 2. 2. 2, 2. 3. 1, 2. 3. 2, 3. 1. 1, 3. 1. 2, 3. 2. 2, 3. 2. 4 健康と生活のスキル: K. 6, K. 9, R-1. 5, R-1. 9, R-2. 1R-3. 6, R-3. 7, R-3. 9, R-4. 1 R-4. 9, W-4. 7 R-5. 6, R-5. 7, R-5. 8, R-5. 9, R-6. 1, R-6. 2, R-6. 4 R-6. 7, R-6. 8, L-6. 3, キャリアと人生設計: P3, P4, P8, P9, R2
Grades グレード	K-12 幼稚園～高校 3 年生
Subject 主題	Probably the most comprehensive and useful website in learning about racism and discrimination. The site presents sections for teachers, teens, kids, and parents, each of which link websites, books, and media resources for further exploration. おそらく、レイシズムと差別に関して学ぶ上で最も包括的で使いやすいウェブサイトである。教師、十代、子供そして保護者の為の多数のセクションがあり、それぞれがさらなる調査の為のウェブサイトや書籍そしてメディアリソースへリンクしている。
Resources リソース	There are numerous teaching guides, kits and handbooks, as well as a list of classroom activities. Perhaps the most useful function of the website is the ability to find activities based on grade, subject, and tolerance topic. For teens there are interactive resources to explore racism, such as posters, bias tests, the ability to explore words, essays (which can be accessed and submitted) and an information pack. The site is intuitive and accessible, breaking the components of the site into age group, where there can be explored books, topics and activities. Excellent site all around. From K-12 and everyone The site visually represents the participation of various cultural groups involved in anti-racism initiatives within school communities. Students share authority and participants determine the success of the programs. Problems are being addressed and solved by members of the minority and dominant cultures. Life within multicultural school communities is expressed through students narratives 教室での活動のリストと同様、多くの教育ガイド、キットやハンドブックがある。おそらく、このウェブサイトの最も便利な機能は、学年や主題そして寛容のトピックに基づいて活動を見つける機能である。青少年の為には、ポスター やバイアス テスト、言葉の調査の能力やエッセイ(アクセスや提出可能)そして、情報パックのような、レイシズム調査の為のインタラクティブリソースがある。このサイトは、サイトコンポーネントを対象年齢でグループ分けしており、直感的かつ利用しやすい。そしてそこでは、書籍やトピックや活動の調査がされうる。全体的にはすばらしいサイトである。幼稚園から高校三年生までと全ての人が利用するだろう。 このサイトは視覚的に、学校のコミュニティ内でアンチレイシズム運動の先導に関わる様々な文化集団の参加を描き出す。 生徒たちは権威を分かち合い、参加者はプログラムの成功を決定する。問題はマイノリティのメンバーと支配的な文化によって取り組まれ解決される。多文化学校コミュニティ内の生活は、生徒たちの物語を通じて表現される。

QCA Respect for All
QCA 全ての人に敬意を

Source ソース	United Kingdom 英国 www.qca.org.uk
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Curriculum: K. 1, K. 2, 1. 2, 1. 2, 2. 1, 2. 2, 3. 1, 3. 2, 4. 2, 4. 3, 5. 2, 5. 3, 6. 1, 7. 1, 7. 2, 8. 2, 9. 1, 9. 2, 10. 1, 10. 2, 20. 1, 20. 2, 30. 1, 30. 2 English: 5. 2. 2, 1. 1. 1, 1. 2. 1, 1. 2. 2, 2. 1. 1, 2. 1. 2, 2. 1. 4, 2. 2. 1, 2. 2. 2, 2. 3. 1, 2. 3. 2, 3. 1. 1, 3. 1. 2, 3. 2. 2, 3. 2. 4 Health and Life Skills: K. 6, K. 9, R-1. 5, R-1. 9, R - 2. 1, R-3. 6, R-3. 7, R-3. 9, R- 4. 1 R-4. 9, W-4. 7 R-5. 6, R-5. 7, R-5. 8, R-5. 9, R-6. 1, R-6. 2, R-6. 4 R-6. 7, R-6. 8, L-6. 3, C. A. L. M: P3, P4, P8, P9, R2 社会カリキュラム: K. 1, K. 2, 1. 2, 1. 2, 2. 1, 2. 2, 3. 1, 3. 2, 4. 2, 4. 3, 5. 2, 5. 3, 6. 1, 7. 1, 7. 2, 8. 2, 9. 1, 9. 2, 10. 1, 10. 2, 20. 1, 20. 2, 30. 1, 30. 2 英語: 5. 2. 2, 1. 1. 1, 1. 2. 1, 1. 2. 2, 2. 1. 1, 2. 1. 2, 2. 1. 4, 2. 2. 1, 2. 2. 2, 2. 3. 1, 2. 3. 2, 3. 1. 1, 3. 1. 2, 3. 2. 2, 3. 2. 4 健康と生活のスキル: K. 6, K. 9, R-1. 5, R-1. 9, R - 2. 1, R-3. 6, R-3. 7, R-3. 9, R- 4. 1 R-4. 9, W-4. 7 R-5. 6, R-5. 7, R-5. 8, R-5. 9, R-6. 1, R-6. 2, R-6. 4 R-6. 7, R-6. 8, L-6. 3, キャリアと人生設計: P3, P4, P8, P9, R2
Grades グレード	K-12 幼稚園～高校 3 年生
Subject 主題	Respect for all: valuing diversity and challenging racism through the curriculum This website is useful in the way it contains activities that have been utilized by teachers who have posted them on the site. What is ingenious about the set-up of this site is the way in which the activities are listed by subject, divided into aim, activity, description, and commentary 全ての人に敬意を: カリキュラムを通じ、多様性を評価し、レイシズムに挑む。 このウェブサイトは、サイト投稿を通じて教師たち自身によって共有されてきた活動を含んでおり便利である。このサイトの立ち上げに関して何が独創的かと言えば、狙い、活動、説明、コメントに分けられた主題によって活動を列挙したことである。
Resources リソース	Very valuable in that each of the activities has been attempted by teachers, who have listed their own reactions to the projects, as well as what occurred when the activity occurred in the classroom. This allows the teacher to see what the successes, failures, and challenges were about the activity. This site also provides potential areas that racism and awareness can be implemented into particular Sources. Activities and guides. Teachers/educators determine the standards for success based upon student responses and academic assessment. Learners hold the power in reference to the application of activities. 教師たちによって試みられてきたそれぞれの活動は非常に価値のあるものだ。そして彼らは、教室で活動が行われたときにおこったことと同様に、プロジェクトに対する彼ら自身の反応をリストアップしてきた。これは教師たちが、活動に関して、成功や失敗そして挑戦はどのようなものかを知ることができるようしている。サイトはまた、レイシズムと自覚が特定のソースに対して埋め込まれていそうな領域を提供している。活動とガイドである。 教師/教育者は生徒の反応と学問的な評価に基づき成功の基準を決定する。学習する者は活動の応用に関して力を持つ。

United Against Racism

反レイシズム連合

Source ソース	Canada カナダ www.unitedagainstracism.ca
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Curriculum: 2. 1, 2. 2, 4. 1, 4. 2, 4. 3, 5. 2, 5. 3 English: 5. 1. 1, 5. 1. 2, 5. 1. 3, 5. 1. 4, 5. 2. 1, 5. 2. 2, 5. 2. 2 Health and Life Skills: R-3. 6, R-3. 7, R-3. 9, R- 4. 1 R-4. 9, W-4. 7 R-5. 6, R-5. 7, R-5. 8, R-5. 9, R-6. 1, R-6. 2, R-6. 4 R-6. 7, R-6. 8, L-6. 3 C. A. L. M: n/a 社会学習: 2. 1, 2. 2, 4. 1, 4. 2, 4. 3, 5. 2, 5. 3 健康と生活のスキル: R-3. 6, R-3. 7, R-3. 9, R- 4. 1 R-4. 9, W-4. 7 R-5. 6, R-5. 7, R-5. 8, R-5. 9, R-6. 1, R-6. 2, R-6. 4 R-6. 7, R-6. 8, L-6. 3 英語能力: 5. 1. 1, 5. 1. 2, 5. 1. 3, 5. 1. 4, 5. 2. 1, 5. 2. 2, 5. 2. 2 キャリアと人生設計: n/a
Grades グレード	2-6 小学校 2 年～6 年
Subject 主題	United Against Racism (UAR) works towards the elimination of racism and discrimination in society. This unique initiative is community based and Aboriginal led. Aboriginal youth also play a vital role in the development of anti-racism tools and resources, and in the transmission of anti-racist values and methodologies through education 反レイシズム連合(UAR)は社会におけるレイシズムと差別の根絶に向けて運動してきた。このユニークな先導性はコミュニティに基づき、原住民に率いられていることである。原住民の若者たちはまた、アンチレイシズムツールとリソースの開発、そして教育を通したアンチレイシスト的価値と方法論の伝達において、重要な役割を演じている。
Resources リソース	The focus of this website is on Aboriginal integration in Canadian society, and raising awareness of Aboriginal culture. The site provides a list of fictional books for youth dealing with racism and multicultural issues. It contains a list of basic definitions (prejudice, discrimination et al). No activities or teaching guides are listed. The Aboriginal youth voice/perspective is empowered through opportunities to take leadership roles in issues that affect their lives and create positive change in their communities and the world at large. There is visual and knowledge representation of Aboriginal cultures. このサイトの焦点は、カナダ社会における原住民たちの統合と、原住民文化に対する自覚の奨励である。レイシズムと多文化問題を扱う若者の為の小説などの本のリストを提供している。それは、基本的な定義(偏見、差別等)のリストを含む。活動や教育についての物はない。 原住民の若者の声/視点は、彼らの生活に影響し彼らのコミュニティと世界全般の前向きな変化を作り出す問題においてリーダーシップをとる機会を通じ、力を与えられる。原住民文化についての視覚的及び知識上の表現もある。

National Coalition for Dialogue and Deliberation

対話と審議の為の国民連合

Source ソース	U. S. A. アメリカ合衆国 http://www.thataway.org
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Curriculum: Teacher Resource English: Teacher Resource Health and Life Skills: Teacher Resource C. A. L. M: Teacher Resource 社会カリキュラム: 教師向けリソース 英語: 教師向けリソース 健康と生活のスキル: 教師向けリソース キャリアと人生設計: 教師向けリソース
Grades グレード	Teacher Resource 教師向けリソース
Subject 主題	National Coalition for Dialogue and Deliberation (NCDD) provides resources, programs, and networking opportunities for a rapidly growing community of practice dedicated to solving group and societal problems through honest talk, quality thinking and collaborative action. 対話と審議の為の国民連合(NCDD)は、率直な会話、質の高い思考そして協調的な行動を通して、社会問題とグループの問題を解決することに対してささげられた実践の急速に成長するコミュニティの為に教材、プログラム、そしてネットワークアクセスの機会を提供する。
Resources リソース	The resources found on this website are primarily for teachers and educators, who are focused on problem solving through dialogue and critical thinking within a group/community setting. The Learning Exchange gives access to the NCDD's collection of articles, books, trainings, manuals, and links. This site provides links to web pages pertaining to K-12 education, conflict resolution, and anti-racism. Visual representation of multicultural groups, sharing of cultural knowledge, success is determined by participatory groups, problems are solved through communication of multi-ethnic experiences and knowledge. このウェブサイトで見つけることができるリソース群は、主として、グループやコミュニティの中での批判的指向や対話を通じて解決する問題に注目している教師や教育者の為のものである。「学習交換」はNCDDの記事や書籍、トレーニング、マニュアル、そしてリンクのコレクションに対するアクセスを与える。このサイトは、幼稚園から高校三年生の教育、衝突回避、そしてアンチレイシズムに関するウェブページへのリンクを提供する。多文化グループの視覚表現は、文化的知識を共有することで、成功は参加型グループによって決定され、問題は、多民族的経験と知識のコミュニケーションを通じて解決される。

[Artists Against Racism](#)
反レイシズムアーティスト団

Source ソース	International 国際的組織 http://www.artistsagainstracism.org
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Curriculum: K. 1, K. 2, 3. 1, 3. 2, 6. 1, 9. 1, 10. 1, 10. 2, 20. 1, 20. 2, 30. 1, 30. 2 Health and Life Skills: R-3. 4, R-4. 4, R-3. 6, 社会カリキュラム: K. 1, K. 2, 3. 1, 3. 2, 6. 1, 9. 1, 10. 1, 10. 2, 20. 1, 20. 2, 30. 1, 30. 2 健康と生活のスキル: R-3. 4, R-4. 4, R-3. 6,
Grades グレード	6-12 小学校 6 年から高校 3 年生
Subject 主題	ARR is an International, non-profit, organization where artists reach out as role models for youths. Their mission is to build an understanding of all peoples. To speak to the youth, the future of our global community, about the basic human right of equality, so that a civilized society will, in the next millennium, finally result. ARR は若者の為にロールモデルとして芸術家たちが手を差し伸べる国際的非営利組織である。彼らの目的は、全ての人々の理解を構築することである。若者に話すこと、我々のグローバルコミュニティの未来、平等についての基本的人権について、文明社会が、次の千年紀に、最終的に結果となるように。
Resources リソース	The site provides links to various resources for both teachers and students. This site supports grassroots development of school clubs to address equality, racism, discrimination and provides tools and activities for the classroom. Artist role models use their stature positively to help the world become a world of equality by opening dialogue through quotes and social justice efforts. The site provides visual representation of multicultural artists in antiracism initiatives. Personal perspectives and life experiences with racism are shared, empowering students to make changes in their lives and to confront social inequality. Role models are from various ethnic backgrounds. このサイトは教師と生徒の両方の為に様々な教材へのリンクを提供している。このサイトは、平等やレイシズムや差別に取り組む学校のクラブ活動の草の根開発を支援し、教室の為のツールと活動を提供している。ロールモデルとなるアーティストたちは、彼らの才能をポジティブに使って、引用を通じた対話を始める事や社会的正義のために努力することによって世界が平等になるように手伝う。このサイトはアンチレイシズムに取り組む多文化アーティストたちの視覚的表現を提供する。個人的な視点とレイシズムに関する人生経験が共有され、学生たちに彼らの生き方を変え、社会的不平等に立ち向かう力を与えている。ロールモデル達は様々な民族的バックグラウンドから集められている。

アンチレイシズムリソースキット

13.

The Ontario Institute for Studies in Education of the University of Toronto (OISE/UT)
トロント大学オンタリオ教育研究所(OISE/UT)

Source ソース	Canada カナダ http://www.oise.utoronto.ca/research/studentequity/index.php
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Curriculum: Teacher Resource English: Teacher Resource Health and Life Skills: Teacher Resource C. A. L. M: Teacher Resource 社会カリキュラム: 教師向けリソース English: 教師向けリソース 健康と生活のスキル: 教師向けリソース キャリアと人生設計: 教師向けリソース
Grades グレード	Teacher Resource 教師向けリソース
Subject 主題	Raise educator awareness about racism, sexism, classism, heterosexism, ableism, linguistics, and other oppressions. To provide educators with practical resources, information and activities that both develop their own knowledge and the awareness of their students about equity issues. レイシズム、セクシズム、クラシズム、ヘテロセクシズム、障害者差別、言語学、その他の抑圧に関する教育者の自覚を促す。教育者に、彼ら自身の知識と彼らの生徒の公平さの問題に関する自覚を発展させる実習教材と情報と活動を提供すること。
Resources リソース	Annotated bibliography, tools and community connections(websites) can be searched by: Human Rights Related Topics – lists six areas of interest for social justice: Anti-racism; (Dis)ability; First Nations, Aboriginal Learning and Knowledge; LGBTQ; Women's and Gender Studies; and, Work, Labour and Class. Subject Related Topics – lists nine broad subject categories for elementary and secondary school teachers: Arts; Career Studies; ESL; Humanities; Physical Education & Health Studies; Sciences & Mathematics; Social Sciences; Special Education; and, Technological Studies. 注釈つきの書籍目録、ツール、コミュニティコネクション(ウェブサイト)が次の項目によって検索される。 人権関連のトピック – 社会正義に関する 6 つの関心領域。アンチレイシズム、障害、先住民教育と知識、LGBTQ、性差別問題、労働問題と階級 関連トピック – 小中学校教師の為の 9 つの広い分類カテゴリーのリスト: 芸術、キャリア、第 2 外国語としての英語、人間性、体育教育と健康、科学と数学、社会科学、特殊教育、テクノロジー学習

アンチレイシズムリソースキット

14.

City College of San Francisco (CCSF): The Tolerance Project
サンフランシスコ市カレッジ(CCSF): 寛容プロジェクト

Source ソース	U. S. A. アメリカ合衆国 http://www.ccsf.edu/Resources/Tolerance/
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Curriculum: 10. 1, 10. 2, 20. 1, 20. 2 English: 5. 1. 1, 5. 1. 2, 5. 1. 3, 5. 1. 4, 5. 2. 1, 5. 2. 2 Health and Life Skills: R-6. 7, R-6. 9, R7. 6, R-7. 7, R-8. 7, R-8. 8, R-9. 7, R-9. 8, R-9. 9, C. A. L. M: P. 4, P. 7, P. 8, P. 9, P. 10 社会カリキュラム: 10. 1, 10. 2, 20. 1, 20. 2 英語: 5. 1. 1, 5. 1. 2, 5. 1. 3, 5. 1. 4, 5. 2. 1, 5. 2. 2 健康と生活のスキル: R-6. 7, R-6. 9, R7. 6, R-7. 7, R-8. 7, R-8. 8, R-9. 7, R-9. 8, R-9. 9, キャリアと人生設計: P. 4, P. 7, P. 8, P. 9, P. 10
Grades グレード	6-12, Teacher Resource 小学校 6 年～高校 3 年、教師向け
Source ソース	The Tolerance Project is a collaborative web resource for learning and teaching how to understand, create, nurture, and find tolerance to promote peace. 寛容プロジェクトは平和を促進するために寛容を理解し、創造し、育て、見つける方法を学習し教育する為の協同的なウェブ教材である。
Resources リソース	The web pages are a collection of teaching resources, materials and lessons that have been tested in the classroom. Resources recognize that lessons are learned through poignant, peaceful awareness differences as well as from hostile histories or present day animosities amongst class members or the larger community. Student and teacher forums allow for the sharing of ideas and discussions to take place. Student resources include, articles, projects and links to equality based organizations Student forums express individual narratives and a working knowledge of racism on a global level. Student perspectives of what they observe socially amongst cultures are used to examine problems and create discussions. このウェブページは、教室内でテストしてきた教育のリソース、素材、レッスンのコレクションである。リソースはクラスのメンバーやコミュニティの間の敵対的な歴史や今日の敵意からと同様に、レッスンが強く心に訴える平和的自覚の差異を通じて学ばれることを認識する。 生徒と教師のフォーラムは、アイディアと議論を共有するために実施される。生徒のリソースは、記事、プロジェクト、平等団体へのリンクを含む。生徒フォーラムは個々人の物語と世界レベルのレイシズムに関する実用的な知識を表現する。生徒たちが社会的に文化の中で観察したことの視点は問題を調査し、議論を作り上げるのにつかわれる。

Human Rights and Equal Opportunity Commission

人権及び機会均等委員会

Source ソース	Australia オーストラリア www.humanrights.gov.au/education/index.html
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Curriculum: Teacher Resource English: Teacher Resource Health and Life Skills: Teacher Resource C. A. L. M: Teacher Resource 社会カリキュラム: 教師向けリソース 英語: 教師向けリソース 健康と生活のスキル: 教師向けリソース キャリアと人生設計: 教師向けリソース
Grades グレード	Teacher Resource 教師向けリソース
Subject 主題	The Human Rights and Equal Opportunity Commission (HREOC) has developed a structured online human rights education program for teachers of upper primary and secondary school students. The program has been developed as a direct response to increased demands for human rights education resources in schools and the relative absence of relevant published material that can be incorporated into current Australian education curricula. 人権及び機会均等委員会(HREOC)は小学校高学年から中学生を教える教師の為の構造化オンライン人権教育プログラムを開発した。そのプログラムは、学校で使う人権教育教材に対する需要の高まりと、現在のオーストラリアの教育カリキュラムに導入されうる適切な出版物の相対的な欠如に対する直接的な反応として開発された。
Resources リソース	Program is delivered using the World Wide Web and includes a range of interactive, resource-rich, web-based learning modules for use in the classroom with students ranging in age from 12 – 17. Although the website is developed for the Australian curriculum the modules express universal equality and activities encourage students to explore the relevance of human rights to their own experiences, communities and countries. The Face the Facts module was developed to address the need for clear information that addresses prevailing myths about refugees, migrants and Indigenous people. There is also a collection of human rights education web links and flexible worksheets for use by teachers and students for research and exploration of human rights issues. Site provides links to international human rights material found within the United Nations and other Non-Government Organizations プログラムはネットを通じて配布され、教室で12歳から17歳の生徒が使用するための、幅広い、インタラクティブで豊富なリソースを持つウェブベース学習モジュールである。 オーストラリアのカリキュラムのために開発されたウェブサイトであるが、そのモジュールは一般的な平等を表現しており、そして活動は生徒たちに彼ら自身の経験、コミュニティ、国々に対する人権の妥当性を調査するように促す。 「事実と向き合う」モジュールは、難民や移民、土着の人々に関して広められた作り話に取り組むはつきりした情報の必要に取り組むために開発された。そしてまた、人権教育のウェブリンクと教師と生徒が人権問題調査に使うための柔軟なワークシートのコレクションがある。 サイトは国連やその他の非政府機関のサイト内で見つかる国際的な人権資料へのリンクを提供する。

United Nations Cyber School Bus

国連サイバースクールバス

Source ソース	International 国際的組織 http://www.un.org/Pubs/CyberSchoolBus/
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Curriculum: Teacher Resource English: Teacher Resource Health and Life Skills: Teacher Resource C. A. L. M: Teacher Resource 社会カリキュラム: 教師向けリソース 英語: 教師向けリソース 健康と生活のスキル: 教師向けリソース キャリアと人生設計: 教師向けリソース
Grades グレード	Teacher Resource, 4– 12 教師向けリソース、小学校 4 年～高校 3 年
Subject 主題	The United Nations Cyberschoolbus is the online education component of the Global Teaching and Learning Project, whose mission is to promote education about international issues and the United Nations. The project produces high quality teaching materials and activities designed for educational use (at primary, intermediate and secondary school levels) and for training teachers. The vision of this Project is to provide exceptional educational resources (both online and in print) to students growing up in a world undergoing increased globalization. 国連サイバースクールバスは世界的な教育学習プロジェクトのオンライン教育コンポーネントである。その目的は国際問題と国連に関する教育を促進することである。このプロジェクトは(小中学校レベルの)高品質な教育素材と教育用途と教師訓練に設計された活動を作り出している。 このプロジェクトのビジョンは、グローバリゼーションに向かって突き進む世界で(オンラインと印刷物の両方で)生徒の成長に対して例外的な教育リソースを提供することである。
Resources リソース	The Internet is used as an educational tool and provides an effective medium with which to disseminate information and resources about international affairs and diverse communities of students and educators from around the world. Within the site there are a number of activities and projects that teach students about global issues in an interactive, engaging and fun way. The site provides specific lessons on race discrimination with facilitation guidelines, goals and assessment rubrics. The site also provides information on UN projects focused on student learning, community involvement and international human rights conferences for youth. インターネットは教育ツールとして使われており、国際的事件と世界中から来た生徒と教育者の多様なコミュニティに関する情報とリソースを広める効果的なメディアを提供する。このサイトの中には生徒達に世界の問題をインタラクティブで魅力的な楽しい方法で教える多くの活動とプロジェクトがある。このサイトは人種差別に対する使いやすいガイドライン、達成目標、評価注意書きなどを含む特定のレッスンを提供する。このサイトはまた、生徒の学習、コミュニティへの参加、若者の為の国際人権会議に焦点を当てた国連のプロジェクトの情報を提供している。

[University of Calgary Diversity Toolkit](#)
カルガリー大学多様性ツールキット

Source ソース	Canada カナダ www.ucalgary.ca/~dtoolkit
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Curriculum: Teacher Resource English Curriculum: Teacher Resource C. A. L. M: Teacher Resource Health and Wellness: Teacher Resource 社会カリキュラム: 教師向けリソース 英語カリキュラム: 教師向けリソース キャリアと人生設計: 教師向けリソース 健康と生活のスキル: 教師向けリソース
Grades グレード	Teacher Resource 教師向けリソース
Subject 主題	This website provides possible courses of action for those who are trying to introduce the anti-racism curriculum into their existing programs at school. This webpage is primarily a resource bank for other websites. このウェブサイトは、既存の学校プログラムにアンチレイシズムカリキュラムを導入しようとしている人達の為に可能な活動コースを提供している。 このウェブページは他のウェブサイトの為の主要なリソースバンクとなっている。
Resources リソース	This toolkit is particularly useful for teachers who are looking to gain further knowledge on racism and anti-racism. It also provides information on how to begin integrating anti-racism programs into schools that have no similar programs. This site offers a variety of on-line resources, funding sources, glossaries, examples of projects, and selected readings to help you get started. このツールキットは、レイシズムとアンチレイシズムについてさらに多くの知識を得ようとしている教師にとって特に使いやすいものである。似たようなプログラムを持たない学校にアンチレイシズムプログラムを溶け込ませはじめる方法についての情報もまた提供している。このサイトは、あなたが活動し始める為の多様なオンライン教材、基金、用語集、プロジェクト例、選書を用意している。

Racism no Way

レイシズム、駄目

Source ソース	Australia オーストラリア www.racismnoway.com.au/classroom
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Studies: K. 1, K. 2, 1. 1, 1. 2, 2. 1, 2. 2, 3. 1, 3. 2 (Appendix A) Health and Life Skills: R-1. 9, R-3. 6 (Appendix B) 社会学習: K. 1, K. 2, 1. 1, 1. 2, 2. 1, 2. 2, 3. 1, 3. 2 (付録 A) 健康と生活のスキル: R-1. 9, R-3. 6 (付録 B)
Grades グレード	K – 3 幼稚園～小学校 3 年
Subject 主題	<p>This website analyzes the media's portrayal of issues linking it to racism. The website is broken into sections which detail the various anti-racism education programs and strategies in place in education systems across Australia. Programs and strategies are grouped by action area.</p> <p>There is a library on the site to look up what racism is and about racism in schools, what the law says and facts on Australia's cultural diversity. Try the timeline locator to find key dates in Australia's history or the annotated bibliography to find useful resources on racism and anti-racism.</p> <p>Information on issues relating to anti-racism, multicultural and Aboriginal education including biographies of prominent Australians.</p> <p>このウェブサイトはレイシズムと関連する問題のメディアでの描写を分析している。そして、様々なアンチレイシズム教育プログラムと戦略をオーストラリアの教育システムの中で適切に詳解する複数のセクションからなる。プログラムと戦略は活動領域でグループ化されている。</p> <p>サイトには、レイシズムとは何かを調べるための、そして学校におけるレイシズムと、法律はどう言っているかそしてオーストラリアの文化的多様性の実際についてのライブラリがある。オーストラリアの歴史の中で重要な日付を調べようと年表検索や、レイシズムやアンチレイシズムの良い教材を探すために注釈付き書籍目録を試して見なさい。</p> <p>卓越したオーストラリア人の伝記を含むアンチレイシズム、多文化、原住民教育に関する問題の情報がある。</p>
Resources リソース	<p>The materials contained in this section have been developed by teachers for teachers to use in the classroom. Various teaching and learning activities targeting students in the upper primary and secondary years are provided. Interviews with well-known Australians concerning their thoughts and experiences of racism are also provided. This section is updated regularly.</p> <p>There is a bank of online puzzles, crosswords, games that come in printable versions. This website also hosts online discussions dealing with the subject matter.</p> <p>このセクションに含まれる教材は教師によって教師が教室で使うように開発されてきた。小学校高学年から中学生をターゲットにした様々な教育及び学習活動が提供されている。有名なオーストラリア人の、レイシズムに関する考え方や体験についてのインタビューも提供されている。このセクションは定期的に更新されている。</p> <p>印刷可能なオンラインパズルやクロスワード、ゲームも豊富である。このウェブサイトはまた、そのような主題を扱うオンラインディスカッションの司会も勤めている。</p>

Diverse Australia
多様なオーストラリア

Source ソース	Australia オーストラリア www.harmony.gov.au/
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Studies: K. 1, K. 2, 1. 1, 1. 2, 2. 1, 2. 2, 3. 1, 3. 2 (Appendix A) Health and Life Skills: R-1. 9, R-3. 6, W-4. 1, W-4. 4 (Appendix B) 社会学習: K. 1, K. 2, 1. 1, 1. 2, 2. 1, 2. 2, 3. 1, 3. 2 (付録 A) 健康と生活のスキル: R-1. 9, R-3. 6, W-4. 1, W-4. 4 (付録 B)
Grades グレード	K – 4 幼稚園～小学校 4 年生
Subject 主題	This website outlines in detail the objectives and activities of Harmony Day, which began in 1999, occurs on 21 March each year and celebrates Australia's success as a diverse society united as one family by a common set of values. このウェブサイトは 1999 年に始まった毎年 3 月 21 日におこなわれるハーモニーデーの目的と活動を詳しく説明している。その日は一つの共通の価値観によって家族として結びついた多様な社会としてのオーストラリアの成功を祝福するものである。
Resources リソース	There are many activities that they have already tried out on Harmony days. Includes lesson plans for teachers. Although, these activities were intended for the use of Harmony Day celebration, they can also be integrated into classroom activities on racism and anti-racism. 既にハーモニーデーに行われた多くの活動があり、教師たちの為のレッスンプランを含んでいる。これらの活動はハーモニーデーを祝うのに使われることを意図されているが、また教室でのレイシズムとアンチレイシズムの活動に統合されうるものである。

Yes, I can make a Difference

はい、私は違いを作ることができます。

Source ソース	U. S. A アメリカ合衆国 Hastings.ci.lexington.ma.us/Library/Yes/yesican.htm
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Studies: K. 1, K. 2, 1. 1, 1. 2, 2. 1, 2. 2, 3. 1, 3. 2, 5. 2, 4. 3, 5. 2, 5. 3 (Appendix A) Health and Life Skills: R-1. 9, R-3. 6, W-4. 1, W-4. 4 (Appendix B) 社会学習: K. 1, K. 2, 1. 1, 1. 2, 2. 1, 2. 2, 3. 1, 3. 2, 5. 2, 4. 3, 5. 2, 5. 3 (付録 A) 健康と生活のスキル: R-1. 9, R-3. 6, W-4. 1, W-4. 4 (付録 B)
Grades グレード	K – 5 幼稚園～小学校 5 年生
Subject 主題	<p>The goal of this website is to develop and use a set of resources to integrate active anti-racism into the Franklin School curriculum and community through a multi-pronged approach that includes resource development, staff training and student activities.</p> <p>This website revolves around the development of resources to help children learn ways of opposing racist and biased actions and attitudes.</p> <p>このウェブサイトの目指すゴールは、フランクリンスクールのカリキュラムとコミュニティにリソース開発、スタッフトレーニング、学生活動を含む多方面からのアプローチを通じて、動的なアンチレイシズムを統合させる為の一連のリソースを開発し使うことである。</p> <p>このウェブサイトは子供達がレイシスト的で偏見の有る行動と態度に抵抗する方法を学ぶ手助けをするリソースの開発を中心に動いている。</p>
Resources リソース	<p>The resources on these pages include lessons with readings and activities planned out for each lesson. There are many suggested resources for teacher to use in the classroom as well as resources to educate the teacher on the subject matter. This site also contains information pertaining to programs that teachers can create for the parents of the students at the school.</p> <p>Each grade revolves around a dominant theme. For kindergarten it's positive images, grade 1 is bringing people together, grade 2 is toward freedom, grade 3 deals with perspective, grade 4 is empowerment and finally in grade five it's writing about race. Each of these themes lead up to the theme in the following grade. There is specific literature, lesson plans, activities and website links for each grade.</p> <p>There are also literature-based anti-bias kits that contain books, activities, accompanying lesson plans, and supporting media. The lesson plans and activities help to integrate each kit with the Newton curriculum. These resources are available, to provide an opportunity for teacher collaboration, and to publish student work.</p> <p>これらのページにあるリソースは、特別に緻密に計画された読書と活動を含むレッスンを含んでいる。その主題について教師を教育するリソースと同様に教師が教室で使う為に提案された多くのリソースがある。このサイトはまた、教師が生徒の両親の為に作ることができるプログラムに関連した情報をもつている。</p> <p>それぞれの学年に対応した主要なテーマがある。幼稚園児に対しては、それはポジティブなイメージを持つこと。小学校 1 年生は人々をまとめること。小学校 2 年生は自由に向かうこと。小学校 4 年生は能力を高めること。そして最後に小学校 5 年生では人種について書くこと。これらのテーマのそれぞれは続く学年のテーマに繋がって行く。それぞれの学年のための特定の文献、レッスン計画、活動、ウェブサイトリンクがある。</p> <p>書籍、活動、付随的レッスンプラン、補助メディアを含む文献ベースの反バイアスキットもある。レッスンプランと活動はそれぞれのキットをニュートンカリキュラムへ統合するのに役立つ。これらのリソースは、教師の協力の機会を供給し、生徒の仕事を公開するのに役立つ。</p>

Race Equality

人種平等

Source ソース	Scotland スコットランド www.ltscotland.org.uk/raceequality/index.asp
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Studies: K. 1, K. 2, 1. 1, 1. 2, 2. 1, 2. 2, 3. 1, 3. 2 (Appendix A) Health and Life Skills: W-8. 4, W-9. 4 (Appendix B) C. A. L. M: P. 7, P. 10, P. 14, R. 3 (Appendix C) 社会学習: K. 1, K. 2, 1. 1, 1. 2, 2. 1, 2. 2, 3. 1, 3. 2 (付録 A) 健康と生活のスキル: W-8. 4, W-9. 4 (付録 B) キャリアと人生設計: P. 7, P. 10, P. 14, R. 3 (付録 C)
Grades グレード	5 – 12 小学校 5 年～高校 3 年
Subject 主題	<p>This most useful section of this site is the Glossary, which easily is understandable for grade 6 and 7 students and may have to be simplified for younger grades, but provides teachers with an excellent terminology resource. The staff development exercises are also effective and some might be usable for older students. The FAQs are very useful because many of these will come up in your classrooms and the site provides good suggestions for addressing them. The dealing with racist incidents section provides examples of how students and teachers might respond to racism.</p> <p>This site is very easy to use and appropriate for teachers and students.</p> <p>In addition, it provides connections with other areas of inequality.</p> <p>For example, when it explores dealing with and recording racist incidents, it tries to tie in how to deal with and record harassment/bullying on grounds of gender, sexual orientation, class, disability, religion and so on.</p> <p>このサイトで最も役に立つセクションは用語集である。小学校 6 年や中学 1 年なら容易く理解出来るだろう。より低学年に対しては、簡略化しなければならないかもしれないが、教師達には素晴らしい専門用語のリソースを与えてくれる。スタッフ成育演習もまた効果的であり、高学年の生徒達に使えるものもあるかもしれない。FAQ は非常に役に立つ。なぜならこれらのうちの多くがあなたの教室で話題になるだろうし、それらに取り組む為にこのサイトは良い提案を提供するからだ。レイシスト事件を取り扱うセクションは、レイシズムに対しては生徒達や教師達がどのように対応するかの例を提供する。</p> <p>このサイトはとても使いやすく教師や生徒にピッタリである。</p> <p>加えて、不平等の他の分野との関係を教えてくれる。</p> <p>例えば、レイシスト事件を取り扱い記録して調査する時、性別、性的指向、階級、障害、宗教によるハラスメント/いじめの取り扱い記録する方法と結びつけようとしている。</p>
Resources リソース	<p>The material on this website is generally for the use for teachers who are at an early stage of developing an anti-racist approach to their practice. For teachers and schools who are already familiar with the concepts of anti-racist education and legislation, this resource may be useful for accessing further information. By going through the resources, a teacher can find out more about race equality and how to implement good practice in race-related issues.</p> <p>The material includes examples of good practice, exercises for staff development and electronic links to practical ideas about including racial equality in approaches to learning and teaching.</p> <p>This website also provides ideas for programs that schools can create for parent education on racism and anti-racism. These programs help ensure that parents do not bring these attitudes into the school or school grounds. It also provides parents with a clear understanding of what their children are learning in the classroom.</p> <p>このウェブサイトのある素材は一般的にアンチレイシストアプローチ開発の初期の段階にいる教師によつて使われるものだ。既にアンチレイシスト教育や法律のコンセプトに親しんでいる教育たちや学校のため、このリソースはより多くの情報にアクセスするために役立つかもしれない。これらのリソースを通じて、教師は人種平等と、人種関連の問題のより良い対策の実施方法についてより多くを知ることができる。</p> <p>この素材は良い実践の例、スタッフ育成の為の演習、学習と教育に対するアプローチでの人種平等を含む実際的アイディアへのリンクを含む。</p> <p>このウェブサイトはまた、学校がレイシズムとアンチレイシズムについて保護者を教育するために作り出すことができるプログラムに対するアイディアを提供する。これらのプログラムは保護者達がレイシスト的態度を学校や校庭に持ち込まないことを確実にするのに役立つ。それはまた、保護者達に、彼らの子供たちが教室で学んでいることの明確な理解を提供する。</p>

Centre for Education for Racial Equality in Scotland:
 Drama Lessons to Address Prejudice and Discrimination
 スコットランド人種平等教育センター:
 偏見と差別に取り組むための演劇レッスン

Source ソース	Scotland スコットランド www.education.ed.ac.uk/ceres/Curriculum/Drama.htm
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Studies: K. 1, K. 2, 1. 1, 1. 2, 2. 1, 2. 2, 3. 1, 3. 2 (Appendix A) Health and Life Skills: W-8. 4, W-9. 4 (Appendix B) Drama: 社会学習: K. 1, K. 2, 1. 1, 1. 2, 2. 1, 2. 2, 3. 1, 3. 2 (付録 A) 健康と生活のスキル: W-8. 4, W-9. 4 (付録 B) ドラマ:
Grades グレード	7 – 9 中学 1~3 年
Subject 主題	The course was constructed as part of an ongoing initiative to deal with prejudice within schools via student participation in drama. The programs on this site are promoting awareness of the origins of prejudice and racism through the lenses of both the victim and the perpetrator. By doing this it is hoped students will begin to empathise with those on the receiving end of prejudice and, by understanding the motivation of the perpetrator, to react effectively to it. This course as it stands is best suited for teachers of Drama to use. However others can adapt and use as it suits, for example, within Personal and Social Education, English, Modern Studies and other related courses such as cultural or general studies. このコースは、行内の偏見を学生の演劇への参加を通して取り扱うための進行中のプロジェクトの一部として構成されたものである。このサイトのプログラムは、被害者と加害者の両方のレッスンを通じて、偏見とレイシズムの由来に対する自覚を促進している。これを行うことにより、生徒たちが、偏見を捨てるようになり、人々に対して共感を持つようになることが望まれる。そして、加害者の動機を理解することにより、効果的に反応するためである。 このコースは、そのまままで、演劇の教師が使うのに非常に適している。 しかしながら、他の人々は適応させて相応しいものとして使うことができる。例えば、個人及び社会教育、英語や近代学習、その他文化や一般教育の様な関連するコースの中で。
Resources リソース	This website contains many ideas for activities and plays that could be integrated into a drama curriculum at the levels 7–9. The subject is taught through ten lesson plans. These lesson plans and activities have been tried out in prior classes. このウェブサイトは中学生の演劇カリキュラムに統合されうる活動や演劇に対して、多くのアイディアを含んでいる。主題は 10 のレッスンプランで教えられる。これらのレッスンプランと活動群は、前もって教室で試されてきたものである。

[The Kit: A Manual by Youth to Combat Racism through Action](#)
 ザ・キット: 活動を通じてレイシズムと戦うための若者によるマニュアル

Source ソース	Canada カナダ http://www.unac.org/yfar/The_KIT.pdf#search=%22Anti-Racist%20Education%3A%20It%20starts%20within%20film%22
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Studies: 7. 1, 7. 2, 8. 1, 8. 2, 8. 3, 10. 1, 10. 2 (Appendix A) Health and Life Skills: W-8. 4, W-9. 4 (Appendix B) C. A. L. M: P. 7, P. 10, P. 14, R. 3 (Appendix C) 社会学習: 7. 1, 7. 2, 8. 1, 8. 2, 8. 3, 10. 1, 10. 2 (付録 A) 健康と生活のスキル: W-8. 4, W-9. 4 (付録 B) キャリアと人生設計: P. 7, P. 10, P. 14, R. 3 (付録 C)
Grades グレード	7 – 12 中学 1 年～高校 3 年
Subject 主題	<p>This website is a link to the pdf version of The KIT, an anti-racism resource created by youth. The KIT came together through a national project of the United Nations Association in Canada (UNA-Canada) called the Youth Forums Against Racism. Around 100 youth between the ages of 14 and 26 participated in a series of regional forums held from May to July 2001. While the forums travelled to Edmonton, Ottawa, Quebec, and Halifax, the spirit behind the forums, and now this resource, came from all across the country – from Summerside to Kugluktuk, Prince George to Montreal. At each of these forums, participants recommended what they would like to see in a youthfocused anti-racism education model. Then a team of eight youth, representing each of the regional forums, had the difficult task of combining their peers' recommendations into one idea.</p> <p>The KIT is an amalgamation of three complementary sections, all addressing racism: information, tools, and resources. The Information section looks at current issues and key concepts in racism, and debunks a range of myths and misconceptions. other anti-racism materials. This resource has been put together, collectively, by a team of youth who feel passionate about antiracism, and who believe in combating racism and racial discrimination through education. You will hear a multitude of voices in the KIT – not just those of the key authors, but also of the dozens of Youth</p> <p>このウェブサイトは若者によって作られたアンチレイシズムリソースであるキットの PDF バージョンへのリンクである。そのキットは、反レイシズム青年フォーラムと呼ばれるカナダ国際連合協会(UNA-Canada)の国家的プロジェクトを通じて編纂された。ほぼ 100 人の 14 歳から 26 歳の若者が、2001 年の 5 月から 8 月にかけて行われた一連の地域フォーラムに参加した。そのフォーラムは、エドモントン、オタワ、ケベック、ハリファックスを回り、フォーラムの根底となる精神と現在のこのリソースは、国中(サマーサイドからクグルクトゥク、プリンスジョージからモントリオール)から集められたものだ。これらのフォーラム其々において、参加者は若者が注目するアンチレイシズムの教育モデルの中で彼らが見たいものを推奨した。そして、8 人の若者のチームが地域フォーラム其々を代表して、彼らの同僚の推奨するものを一つのアイディアにまとめ上げる困難な仕事を担当する。</p> <p>そのキットは、3 つの補足的なセクションの融合であり、全てレイシズムに取り組んでいる。情報、ツール、そしてリソース。情報セクションは今日の問題とレイシズムにおけるキーワードを見て、様々な作り話や誤解を暴く。その他にもアンチレイシズム素材がある。このリソースは、アンチレイシズムに情熱を感じる若者たちのチームによって編纂されており、彼らは教育を通じたレイシズムと人種差別との戦いを感じている。あなたはそのキットの中で大勢の声を聴くだろう。主要な執筆者の物だけではなく、何ダースもの若者の。</p>
Resources リソース	<p>The Tools section includes a wide range of interactive workshops for a variety of ages and interests, as well as a step-by-step guide for organizing an activity. A multitude of books, films, youth organizations, and educational materials are listed in the Resources section for further reading, action, and inspiration! And, a timeline noting key moments in Canadian history relevant to racism and anti-racism runs throughout the KIT. A resource like this bound by time and resources cannot be comprehensive. They have therefore looked at some issues more than others. Racism targeted at Aboriginal peoples is part of the Canadian past and present, and needs attention and action. In the wake of September 11, Canadian Muslims are facing a wave of racial and religious intolerance. We have focused to some extent on these two groups because they are targets of racism now. But their experiences are examples of how racism works and how it manifests itself in Canada.</p> <p>ツールセクションは、活動を組織することに対するステップバイステップ方式のガイドと同様に、様々な年代と関心に対する広範でインタラクティブなワークショップを含む。さらなる読書や活動、そしてインスピレーション(!)の為に、多くの書籍、映画、青年組織、そして教育素材のリストがリソースセクションにある。そして、カナダのレイシズムとアンチレイシズムに関する歴史上の重要な出来事を記した年表がキットを通して書かれている。このような時間に拘束されたリソースと他のリソースは、包括的なものではないかもしれない。それ故に、それらはある問題を他の物よりよく見ている。原住民の人々を標的にしたレイシズム</p>

アンチレイシズムリソースキット

はカナダの過去の一部であり現在でもある。そして、注意を引くことと行動が必要である。9.11に続いて、カナダ人イスラム教徒は人種的かつ宗教的不寛容の波に曝された。我々は、これらの2つのグループにある程度注目してきた。なぜなら彼らは現在レイシズムの標的であるからだ。しかし彼らの経験はレイシズムがどのように働きカナダ国内でどのように現れるかの例である。

ビデオ

このセクションで紹介するそれぞれのビデオはアルバータ州の学習カリキュラムの社会学習、言語能力、健康と幸福、キャリアと人生設計の中の特定のユニットと結びつけられている（アルバータ州の学習カリキュラムは http://www.education.gov.ab.ca/k_12/curriculum/ を参照せよ）。カリキュラムリンクは、教師たちが彼らの個々のレッスンプランと生徒たちの受容に適合する選択をするであろうという予測をもって、単に提案を提供するだけである。

ビデオの説明は内容についての一般的な考えを提供するものであり、我々は全てのビデオは教材として使う前に、一通り見ておくようにアドバイスする。

幾つかのビデオには、個々の教師たちと組織がビデオと共に利用する作った教師用ガイドもある。そういうガイドは、生徒たちの為のアンチレイシズムや活動そして議論のトピックに対する教師用ガイドを含むかもしれません。そういうガイドは表の中のリソースセクションに記載されるだろう。

これらのビデオを教師たちに利用できるようにするために、このセクションで紹介されるビデオのほとんどはカルガリー大学のマッキミーやドーセットのライブラリ、アルバータ市民自由調査センターとカルガリー大学、マウントロイヤルカレッジライブラリで借りることができる。

01.

Children are not the Problem

子供たちは問題ではない

Source ソース	Toronto, ON : Prieto-McTair Productions (1991) Mount Royal College library 30min トロント, オンタリオ州 : プリエト-マクティアプロダクション(1991) マウントロイヤルカレッジライブラリ 30 分
Curriculum Link 関連カリキュラム	Teacher Resource 教師向け
Grades グレード	K – 12 幼稚園～高校 3 年
Overview あらすじ	Per York University, the Sociology Video Project: “Daycare workers, primary school teachers and parents describe incidents of racist behavior, its impact on young children and the need to develop educational programs that recognize Canada’s multicultural community.” ヨーク大学で、社会学ビデオプロジェクト:「保育士、小学校教師そして保護者達が、レイシスト的振る舞いの事件、その幼い子供への影響とカナダの多文化コミュニティを認識する教育プログラムの開発の必要性を描写する。」
Resources リソース	Per Minh Hoang (undergraduate): “The topic of this video would be appropriate for a course on race & racism or a developmental/social psychology course. The content and language are straightforward, making the video comprehensible, but it is not enlightening, thoughtprovoking, or stimulating. The only interesting thing in it was the commentary/explanation provided by a professor from Seneca College. Everyone else provided a basic and infantile knowledge on the topic of racism & racist behaviour in children. The video is also very slow-paced. It would be a waste of university classroom time ? don’t show this to your class. The level of difficulty is best suited to grade 12 students.” ミン・ホアン(大学生)によると、 「このビデオのトピックは、人種とレイシズムのコースや開発上/社会心理学のコースにとって適切なものとなるだろう。内容と言葉は簡潔でわかりやすく、ビデオを理解しやすいものとしている。しかし、それは啓発的で示唆に富み刺激的というわけではない。唯一興味深い点は、セネカカレッジの教授によるコメント/説明だった。他の人々はレイシズムと子供達のレイシスト的振る舞いのトピックについて基礎的で幼稚な知識を供給していた。このビデオはまた、非常にスローペースだ。大学の授業時間の無駄なんじゃないか? これをあなたのクラスに見せてはいけない。難しさのレベルはせいぜい高校 3 年生向けだ。」

The Canada Series: Multiculturalism

カナダシリーズ:多文化主義

Source ソース	Access Network (1995) University of Calgary Doucette library 20min アクセスネットワーク(1995) カルガリー大学ドゥセッテライブラリ 20 分
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Curriculum: K. 1, K. 2, 1. 1, 1. 2, 2. 1, 2. 2, 5. 3, 6. 1, 7. 1, 7. 2 (Appendix A) Health and Life Skills: R-1. 9, R-3. 6, W-4. 1, W-4. 4 (Appendix B) 社会カリキュラム: K. 1, K. 2, 1. 1, 1. 2, 2. 1, 2. 2, 5. 3, 6. 1, 7. 1, 7. 2 (付録 A) 健康と生活のスキル: R-1. 9, R-3. 6, W-4. 1, W-4. 4 (付録 B)
Grades グレード	K – 7 幼稚園～中学 1 年
Overview あらすじ	Special Canadian Communities is a study of communities that maintain a distinctive cultural lifestyle. It is about the way people keep their traditions, languages, and beliefs through changing times. They observe traditional celebrations, religious beliefs, and values; as they continue to practice traditional arts, skills and cooking. At the same time, they have integrated with a larger Canadian community. 特殊カナダ人コミュニティとは独特の文化的なライフスタイルを維持するコミュニティの研究だ。それは、時代の変化によらず人々が彼らの伝統、言語、信仰を持ち続けるやり方に関する。 彼らは伝統的祭事、宗教的信仰、そして価値観を観察する。彼らが伝統的な芸術、技能、料理を実践し続けるように。同時に、彼らはより大きなカナダ人コミュニティに仲間入りした。
Resources リソース	The resource manual comprises student books, teaching units, and media resources for social studies, history, and geography programs suitable for students from elementary to high school. このリソースマニュアルは、小学生から高校生に向けた、生徒向けの本と、教育単元、そして社会学習、歴史、地理プログラムから構成される。

Not So Different

そんなに違わない

Source ソース	National Film Board of Canada (1985) 6 min 48 sec カナダ国立映画制作庁(1985)※カナダの NHK みたいなもの 6 分 48 秒
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Studies: K.1, K.2 (Appendix A) Health and Life Skills: R-K-9, R-1.9, R-3.6 (Appendix B) 社会学習: K.1, K.2 (付録 A) 健康と生活のスキル: R-K-9, R-1.9, R-3.6 (付録 B)
Grades グレード	K, 1, 3 幼稚園～小学 3 年
Overview あらすじ	According to the National Film Board of Canada: "This delightful, humorous fable is set in the Land of Same, where the law of the land is "sameness". Everyone has to behave the same, wear the same clothes, live in the same houses, drive the same cars, eat the same food -- you name it, it's the same! Everything runs, smoothly (although it's a bit dull!), until the arrival of some different people, causing a wave of "different ness" to spread across the land. So the law is changed to "different ness". Things aren't dull any more, but life is chaotic! Eventually a meeting is held to vote on same or different. The outcome? Well, see for yourself -- it's not the same -- but not so different..." カナダ国立映画制作庁によると、「この愉快でユーモラスな寓話は、「同一性」を法律とする、「同一の国」を舞台にしている。」全ての人が同じように振る舞い、同じ服を着て、同じ作りの家に住み、同じ車に乗り、同じ食べ物を食べる。—どんなものでも、同じものなんです！国中に広まる「違っていること」の波によって、いくらかの異なる人々がやってくるまでは、全ての物事は、スムーズに運んでいました(ちょっと退屈ですが)。そうして法律は「違っていること」に変わりました。物事はもう退屈ではありませんが、生活は混沌とします。ついには、「同じ」と「違う」の投票の為の会議が行われました。結果はどうなるでしょう。それはあなたの目で確かめてください。—「同じ」ではありませんが、かといってそう違うわけでも…”

04.

Building a School Community, Piece by Piece

少しづつ学校コミュニティを作ること

Source ソース	<p>Lovink Media (2001) Alberta Civil Liberties Research Centre Library 14min 7sec ロビンクメディア(2001) アルバータ市民自由調査センターライブラリー 14 分 7 秒</p>
Curriculum Link 関連カリキュラム	<p>Social Studies: K. 1, K. 2, 1. 1, 1. 2, 2. 1, 5. 3 (Appendix A) 社会学習: K. 1, K. 2, 1. 1, 1. 2, 2. 1, 5. 3 (付録 A)</p>
Grades グレード	<p>K, 1, 2, 5 幼稚園～小学 5 年</p>
Overview あらすじ	<p>Set at an elementary school, the film shows how a diverse student body in coordination with a similarly diverse group of teachers and administrators has created a successful multicultural community. Programs emphasizing tolerance, generosity, mastery (academic), respect for cultural differences and random acts of kindness are profiled through student interviews within classrooms, with comments from teachers and administrators.</p> <p>小学校において、この映画は、いかに多様な生徒たちが、同様の多様な教師や管理者のグループと強調して、よくできた多文化コミュニティを作り上げたかを見せる。</p> <p>寛容、寛大さ、(学問的)熟達、文化的差異に対する尊敬、親切な任意の行動を強調するプログラム群は、生徒たちの教室でのインタビューを通じて、教師たちと管理者たちのコメント付きで描写される。</p>

Playing Fair Series

プレイングフェアシリーズ

Source ソース	<p>Carol's Mirror National Film Board of Canada (1991) 14min 5sec Hey, Kelly National Film Board of Canada (1992) 15min 10sec Mela's Lunch National Film Board of Canada (1991) 14min 23sec Walker National Film Board of Canada (1992) 13min 53sec キャロルの鏡 カナダ国立映画制作庁(1991) 14 分 5 秒 ヘイ、ケリー¹ カナダ国立映画制作庁(1992) 15 分 10 秒 メラの昼食 カナダ国立映画制作庁(1991) 14 分 23 秒 ウォーカー² カナダ国立映画制作庁(1992) 13 分 53 秒</p>
Curriculum Link 関連カリキュラム	<p>Social Studies: K. 1, K. 2, 1. 1, 4. 1, 4. 2 (Appendix A) Health and Life Skills: R-K-9, R-1. 9, R-3. 6, W-4. 1, W-4. 4 (Appendix B) 社会学習: K. 1, K. 2, 1. 1, 4. 1, 4. 2 (付録 A) 健康と生活のスキル: R-K-9, R-1. 9, R-3. 6, W-4. 1, W-4. 4 (付録 B)</p>
Grades グレード	<p>K – 4 幼稚園～小学 4 年</p>
Overview あらすじ	<p>Playing Fair is a series of four dramas for 6 to 12-year-olds designed to spark discussion and thought about racism, as well as respect and equality for all children. Central to each is a conflict which illustrates the exclusion, inequality, name calling and taunting experienced by racial minority and Aboriginal children. Titles include:</p> <p>Carol's Mirror: Carol, a black student, is interested in playing the lead in her school's annual play, Snow White; nevertheless, Carol and her classmates find a solution (14 min. 5 sec.);</p> <p>Hey, Kelly: Robert calls Kelly a racist name and a fight ensues. The principal gives them a task to do during detention. While working together, Robert and Kelly learn to cooperate and also find out that they have something in common (15 min. 10 sec.);</p> <p>Mela's Lunch: Having just immigrated to from India, Mela is trying to make friends; at first, Allison goes along with some classmates who make Mela feel unwelcome but ultimately, skin color and country of origin are not an obstacle to friendship or self-esteem (14 min. 23 sec.);</p> <p>and Walker: Walker is an Aboriginal foster child whose only playmate is his dog. Jamie is a lonely young white boy who is afraid of dogs, and has some strange ideas about Aboriginal people. Walker ignores the racism of the bigger boys and reaches out to Jamie (13 min. 53 sec.).</p> <p>プレイングフェアは 6 歳から 12 歳向けの 4 つのドラマによるオムニバスで、議論の種火となるようにデザインされ、全ての子供たちの為の尊敬と平等と同様に、レイシズムについて考えられている。それぞれに対する中心としては、人種的少数派と原住民の子供達によって経験された、排他性、不平等、罵りと冷笑を説明する議論である。それは以下のタイトルを含む。</p> <p>「キャロルの鏡」: 黒人の生徒であるキャロルは、学校の学芸会の劇「白雪姫」の主役を演じることに興味があった。彼女が黒人であるにもかかわらず、キャロルと彼女のクラスメートたちは解決策を見つけた。(14 分 5 秒)</p> <p>「ヘイ、ケリー」: ロバートはケリーを人種差別的な名前で呼び、けんかになった。校長先生は彼らに居残りの間の仕事を命じた。一緒に働いている間、ロバートとケリーは協力することを学び、さらに自分たちが似ていることを発見した。(15 分 10 秒)</p> <p>「メラの昼食」: インドから移民ってきて、メラは友達を作ろうとしていた。初め、アリソンはメラを歓迎していない何人かのクラスメートたちと調子を合わせようとしていたが、結局、肌の色や生まれた国は友情や自尊心の障害ではない。(14 分 23 秒)</p>

アンチレイシズムリソースキット

「ウォーカー」: ウォーカーは養子として育てられた原住民の子供で、遊び友達は彼の犬だけだった。ジェイミーは犬が怖い孤独な白人の少年で、原住民についていくつかの奇妙な思い込みをしていた。ウォーカーは年長の少年たちのレイシズムを無視してジェイミーに手を差し伸べる。(13分53秒)

The Magic Quilt 魔法のキルト	
Source ソース	National Film Board of Canada (1985) 12min 52sec カナダ国立映画制作庁(1985) 12 分 52 秒
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Curriculum: K. 1, K. 2, 1. 1, 1. 2, 2. 1, 2. 2, 5. 3 (Appendix A) Health and Life Skills: R-1. 9, R-3. 6, W-4. 1, W-4. 4 (Appendix B) 社会カリキュラム: K. 1, K. 2, 1. 1, 1. 2, 2. 1, 2. 2, 5. 3 (付録 A) 健康と生活のスキル: R-1. 9, R-3. 6, W-4. 1, W-4. 4 (付録 B)
Grades グレード	K -5 幼稚園～小学 5 年
Overview あらすじ	<p>According to the National Film Board of Canada: “Visual gags, humor, sound effects, live action and cut-out and embroidery animation combine to make this an enchanting parable of good will and understanding. A group of children finds a magic quilt that is their passport to a voyage of discovery. They step inside the quilt and as they travel through its velvet farmlands and satin cities, they experience the multiculturalism of Canada. The quilt is torn and the magic broken when a quarrel breaks out. Once the quilt is repaired and harmony restored, the children have learned that patience and goodwill are needed to mend and maintain quilts, friendships, and nations.”</p> <p>カナダ国立映画制作庁によると、「視覚的ギャグ、ユーモア、サウンドエフェクト、ライブアクション、切抜きと刺繍のアニメーションが、これを善意と理解の魅惑的寓話にするために結びついた。子供たちのグループが、彼らの発見の旅へのパスポートとなる魔法のキルトを見つける。彼らが魔法のキルトに乗ると、彼らはそのベルベットの農地とサテンの都市を旅をして、カナダの多文化主義を経験する。けんかが始まると、魔法のキルトは引き裂かれ、魔法は破られる。キルトが修理されると、調和は復活し、子供たちは忍耐と善意がキルトや友情、国家を直して維持するのに必要であることを学ぶ。</p>

[A Kid's View on Canada](#)
カナダでの子供の視点

Source ソース	National Film Board of Canada (1992) 28min 15sec カナダ国立映画制作庁(1992) 28 分 15 秒
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Curriculum: 1. 1, 2. 1, 5. 2, 5. 3 (Appendix A) Health and Life Skills: R-1. 9, R-3. 6, W-4. 1, W-4. 4 (Appendix B) 社会カリキュラム: 1. 1, 2. 1, 5. 2, 5. 3 (付録 A) 健康と生活のスキル: R-1. 9, R-3. 6, W-4. 1, W-4. 4 (付録 B)
Grades グレード	1 – 5 小学 1~5 年
Overview あらすじ	Per Equity (educ.queensu.ca/~equity/audio/race_culture.html): “A delightfully unique view of Canada as seen through the eyes of 9-year-old children. Occasionally hilarious and often insightful, the children's comments are always revealing and cover the gamut of issues: from racism to clear-cut logging to Quebec separation. The result is a lively discussion starter on what it means to be a Canadian growing up in the '90s.” イクイティ(リンク切れ)によると “9歳の子供の目を通じて見た愉快でユニークなカナダの景観。時として面白く、しばしば洞察的で、子供たちのコメントはいつも啓発的で、問題の全てをカバーする。レイシズムからケベック独立運動の明解な記録まで。結果は、90 年代に成長したカナダ人であることが意味することについて活発な議論のとば口となる。”

Canadian Portraits
カナダ人の肖像

Source ソース	National Film Board of Canada (1989) 29min 56sec カナダ国立映画制作庁(1989) 29 分 56 秒
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Curriculum: 5. 2, 5. 3 (Appendix A) Health and Life Skills: W-4. 1, W-4. 4 (Appendix B) 社会カリキュラム: 5. 2, 5. 3 (付録 A) 健康と生活のスキル: W-4. 1, W-4. 4 (付録 B)
Grades グレード	4, 5 小学校 4.5 年
Overview あらすじ	Per the National Film Board of Canada: "In this tribute to the cultural diversity that characterizes present-day Canada, a teenage girl, answering an exam question about people who have played an important role in building this country, decides to focus on the contributions made by so-called "ordinary folk." These are the people profiled in the video. They speak candidly about the successes they have achieved, the problems they have faced as members of minority groups, and the contributions they have made to our society. These "Canadian portraits" are interwoven with historical material from the past which shows the nature and extent of this country's multicultural make-up." カナダ国立映画制作庁によると、「この今日のカナダを特徴づける文化的多様性に対する賛辞において、一人のティーンエイジャーの少女が、この国を作り上げる上で重要な役割を演じた人々に関する試験問題に答えて、「庶民」と呼ばれる人々によって成された貢献に焦点を当てるに決める。これらは、ビデオの中で描写される人たちである。彼らは彼らが達成した成功と少数派グループのメンバーとして彼らが直面した問題、そして我々の社会に対して彼らがなした貢献について率直に話す。これらの「カナダ人の肖像」はこの国の多文化的構成の本質と幅を見せる過去からの歴史的な素材と織り交ぜられる。」

アンチレイシズムリソースキット

09.

In Service 奉公	
Source ソース	National Film Board of Canada (1993) 24min 5sec カナダ国立映画制作庁(1993) 24 分 5 秒
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Studies: 5. 3, 6. 1 (Appendix A) Health and Life Skills: W-4. 4 (Appendix B) 社会学習: 5. 3, 6. 1 (付録 A) 健康と生活のスキル: W-4. 4 (付録 B)
Grades グレード	4-6 小学 4~6 年
Overview あらすじ	<p>According to the National Film Board of Canada: “The story of a Black girl's first exposure to racism. Young Nell really looks forward to the weekly visits from Helen, a family friend. Helen is “in service” in a big house, which Nell imagines must be wonderful. After all, doesn't Helen live in a big house? And doesn't she often bring beautiful clothes for Nell's family? When Nell visits Helen, she comes to understand what “in service” really means. She also comes to understand herself a little better.”</p> <p>カナダ国立映画制作庁によると、「黒人の少女が初めてレイシズムに曝される物語。若いネルは家族ぐるみの友達であるヘレンの毎週の訪問を心待ちにしていた。ヘレンは大きな家で「奉公」しており、ネルはそれを素晴らしいに違いないと思っていた。結局、ヘレンは大きな家に住んでいなかったのでしょうか？そして彼女は頻繁にはネルの家族にきれいな洋服を持ってこなかったのでしょうか？ネルがヘレンを訪ねたとき、彼女は「奉公」の本当の意味を理解しました。彼女はまた、彼女自身の事を少し良く理解するようになりました。」</p>

Land of Hope

希望の土地

Source ソース	National Film Board of Canada (1996) 28min 28sec カナダ国立映画制作庁(1996) 28 分 28 秒
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Curriculum: 5. 2 (Appendix A) 社会カリキュラム: 5. 2 (付録 A)
Grades グレード	5 小学 5 年生
Overview あらすじ	<p>According to the National Film Board of Canada: "Dramatic stories spanning two centuries of the Canadian immigrant experience. In 1755, the Acadian people were expelled from Nova Scotia by the British and forced to relocate in South Carolina. Ten-year-old George was uprooted from his home, forced to hide from bounty hunters and eventually found refuge amongst the Micmac people. It was only years later that his parents returned and they became a family again (6 min. 40 sec.). As a child, Kate Boyle fled Ireland's potato famine of 1847. Typhoid fever claimed the lives of many during the ocean voyage, orphaning thousands of children. She was among those many youngsters who were eventually adopted by French-Canadian families (6 min. 34 sec.). In the late 1800s, John Ware became one of the first Black cowboys. A skilled horseman, Ware overcame the prejudices of his time to make his mark as a successful rancher (8 min. 30 sec.). Joe Mah, a Chinese laborer, confronted incredible hardships and racism when he tried to settle his family in the new land (7 min. 23 sec.)."</p> <p>カナダ国立映画制作庁によると、「カナダ移民の経験の 2 世紀に及ぶ劇的な物語。1755 年、アカディア人の人々がノヴァスコーシャからイギリス人によって追い出され、サウスカロライナに移住させられた。10 歳のジョージは彼の家から追い立てられ、賞金稼ぎから隠れなければならず、最終的にはミクマック族の中に隠れ家を見つけた。彼の両親が戻り、彼らが再び家族になったのはほんの数年後だった。(6 分 40 秒) 子供時代、ケイト・ボイ尔は 1847 年のアイルランドのポテト飢饉から逃げてきました。航海の間、腸チフスが多く命を奪い、何千人の子供が孤児となつた。彼女は最終的に仏系カナダ人家族の養子になつたそれらの多くの子供の中にいた。(6 分 34 秒) 1800 年代終盤、ジョン・ウェアは最初の黒人カウボーイたちの一人となつた。熟練の騎手であるウェアは、成功した農場労働者として名を残すことで彼の時代にあつた偏見に打ち勝つた。(8 分 30 秒) ジョー・マーは中国人労働者で、彼が家族と共に新しい土地に定住しようとしたとき、信じがたい困難とレイシズムに直面した。(7 分 23 秒)」</p>

Eyes on Canada/Focus on Canada

カナダの目/カナダの焦点

Source ソース	<p>Eyes on Canada/Coup d'oeil sur le Canada National Film Board of Canada (2001) 2min 17sec</p> <p>Focus on Canada/Point de mire sur le Canada National Film Board of Canada (2001) 6min 7sec</p> <p>カナダの目 カナダ国立映画制作庁(2001) 2 分 17 秒</p> <p>カナダの焦点 カナダ国立映画制作庁(2001) 6 分 7 秒</p>
Curriculum Link 関連カリキュラム	<p>Social Studies: 2. 1, 4. 1, 5. 1, 7. 1, 7. 2, 20. 1, 20. 2 (Appendix A) C. A. L. M: P4, P7, P10 (Appendix B)</p> <p>社会学習: 2. 1, 4. 1, 5. 1, 7. 1, 7. 2, 20. 1, 20. 2 (付録 A) キャリアと人生設計: P4, P7, P10 (付録 B)</p>
Grades グレード	<p>2, 4, 5, 7, 10, 11 小学 2 年～高校 2 年</p>
Overview あらすじ	<p>According to the National Film Board of Canada: “Eyes on Canada/Coup d'oeil sur le Canada and Focus on Canada/Point de mire sur le Canada are a lively musical montage expressing the creativity and innovation that is at the heart of Canada and its people. Stunning images of our diverse landscapes—from immense wilderness and bustling cities to the kaleidoscopic faces of our people—offer a whirlwind tour of a dynamic and multi-cultural country. A film without words.”</p> <p>カナダ国立映画制作庁によれば、「『カナダの目』と『カナダの焦点』は、カナダの中心にある創造性と革新性を表現する生き生きとした音楽的モンタージュである。息をのむ我々の多様な景観のイメージ—巨大な野生と騒がしい都市から我々大衆の万華鏡的な多くの顔まで—は、ダイナミックで多文化的な国のもぐるしいツアーを提供する。セリフやナレーションは無い。」</p>

Asian Canadian History Collection アジア系カナダ人の歴史コレクション	
Source ソース	National Film Board of Canada (2006) カナダ国立映画制作庁(2006)
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Studies: 7. 1, 7. 2, 8. 1 (Appendix A) 社会学習: 7. 1, 7. 2, 8. 1 (付録 A)
Grades グレード	7, 8 中学 1,2 年
Overview あらすじ	<p>According to the National Film Board of Canada: “From the opening the West to baseball, Canadians of Asian heritage have helped build Canada. This 5-part collection of NFB documentaries highlights their contributions and recounts some of the injustices Asian Canadians have faced. These films will spark discussion and animate lively debates in the classroom. Use these titles to explore racism, the building of the Canadian West and World War II history.”</p> <p>カナダ国立映画制作庁によれば、「西部開拓から野球まで、アジア系カナダ人がカナダを作り上げるのに役立ってきた。この NFB の 5 卷のドキュメンタリーコレクションは、彼らの貢献を強調し、アジア系カナダ人が直面した不正義のいくつかを物語っている。これらのフィルムは議論の端緒となり、教室での議論を活発にするだろう。これらのタイトルをレイシズム、カナダ西部の開発と第 2 次世界大戦の歴史を調査するのに使いなさい。」</p>

Colour Blind

カラーブラインド(色盲)

Source ソース	National Film Board of Canada (1999) NFB Order # C9199 233 Alberta Civil Liberties Research Centre Library 25min 42sec カナダ国立映画制作庁(1999) NFB 注文ナンバー C9199 233 アルバータ市民自由調査センターライブラリー 25 分 42 秒
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Studies: 7. 1, 7. 2, 9. 2, 20. 1 (Appendix A) C. A. L. M: P4, P7, P10 (Appendix C) 社会学習: 7. 1, 7. 2, 9. 2, 20. 1 (付録 A) キャリアと人生設計: P4, P7, P10 (付録 C)
Grades グレード	7, 9, 10, 11 中学 1 年～高校 2 年
Overview あらすじ	According to the National Film Board of Canada: "Colour Blind is a film about subtle racism and its daily impact on teenagers in high school. To outsiders, Princess Margaret Senior Secondary, in the heart of Surrey, BC, looks like an ordinary high school. To teachers and students, however, it was a school full of racial rage, segregation and violence. Its troubles began in 1995 when the predominately white student body became a predominately ethnic majority. Five years later, we follow five teenagers as they learn tolerance for each other's differences. Colour Blind documents that painful and confusing process of overcoming racial conflicts. The video's purpose is to encourage young students to examine their own behaviors and attitudes and to ask probing questions of themselves about how they react to racism within their own high school." カナダ国立映画制作庁によれば、「『カラーブラインド(色盲)』は微妙なレイシズムとその高校生への日常のインパクトについて扱っている。部外者にとって、ブリティッシュコロンビア州サレーの中心地にあるプリンセスマーガレット第二高校は、普通の高校のように見える。しかしながら、教師たちや生徒たちにとっては、人種的な怒りと断絶、そして暴力で満ちた学校だった。それら問題は 1995 年、ほとんどを占めていた白人の学生たちが、支配的なエスニックマジョリティとなった時に始まった。5 年後、我々はそれぞれの違いの為の寛容を学ぶ 5 人のティーンエイジャーを追跡した。『カラーブラインド』は、人種間のいざこざを乗り越える痛ましく混乱した過程をドキュメントする。このビデオの目的は、若い生徒たちに彼ら自身の振る舞いと態度を検証せしように促し、彼ら自身の学校内でどのようにレイシズムに反応するかについて、彼ら自身の厳密な問い合わせることである。」

Minoru: Memory of Exile

ミノル: 追放者の記憶(訳注: 日系移民が主人公)

Source ソース	National Film Board of Canada (1992) 18min 45sec カナダ国立映画制作庁(1992) 18 分 45 秒
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Studies: 8. 1 (Appendix A) 社会学習: 8. 1 (付録 A)
Grades グレード	8 中学 2 年
Overview あらすじ	<p>According to the National Film Board of Canada: “The bombing of the American naval base at Pearl Harbour, by a nation he knew only by name, thrust nine-year-old Minoru Fukushima into a world of racism so malevolent he would be forced to leave Canada, the land of his birth. Like thousands of other Japanese Canadians, Minoru and his family were branded as an enemy of Canada, dispatched to internment camps in the interior of British Columbia, and finally deported to Japan. Directed by Michael Fukushima, Minoru’s son, the film artfully combines classical animation with archival material. The memories of the father are interspersed with the voice of the son, weaving a tale of suffering and survival, of a birthright lost and recovered.”</p> <p>カナダ国立映画制作庁によれば、「名前しか知らない国による、真珠湾攻撃により、9歳のフクシマ・ミノルは彼が生まれた国であるカナダを去らざるを得ないような悪意のあるようなレイシズムの世界に突き落とされた。他の数千の日系カナダ人のように、ミノルとその家族はカナダの敵の烙印を押され、ブリティッシュコロンビア州内の収容所に送られた。そしてついには日本に追放された。この映画を監督したマイケル・フクシマはミノルの息子であり、映画はクラシックなアニメーションと資料映像を巧妙につないでいる。父親の記憶は息子の声で点在し、生得権の喪失と回復の受難の物語を紡ぎだす。</p>

Between: Living in the Hyphen

間:ハイフンの中の生活

Source ソース	National Film Board of Canada (2005) 43min 43sec カナダ国立映画制作庁(2005) 43 分 43 秒
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Studies: 8. 2, 10. 2 (Appendix A) C. A. L. M: P4, P7, P10 (Appendix C) 社会学習: 8. 2, 10. 2 (付録 A) キャリアと人生設計: P4, P7, P10 (付録 C)
Grades グレード	8, 10 中学 2 年～高校 1 年
Overview あらすじ	<p>According to the National Film Board of Canada: “In Canada, diversity often means “one ethnicity + hyphen + Canadian,” but what if you don’t fit into an easy category? What if your background is a hybrid of ancestries and you live somewhere between, where cultural identities overlap? Between interweaves the experiences of a group of Canadians with one parent from a European background and one from a visible minority. They’re all struggling to find a satisfying frame of reference. Cultural identity, it seems, is more complex than what our multicultural utopia implies.</p> <p>Seven individuals share stories of being multi-ethnic in a world that wants to put each person into a single category. Among them are award-winning poet Fred Wah, who recalls being told by his elementary teacher that he was Chinese, even though his background also includes Irish, Scottish and Swedish ancestry.</p> <p>When visiting China, however, he finds that he is not accepted as Chinese because he is mixed. Shannon Waters, who is half-Coast Salish, is questioned for participating in the First Nations Family Practice program. Although she chooses to identify with her Aboriginal ancestry, her connection with that background is challenged because of her appearance.</p> <p>The thought-provoking experiences of these Canadians come to life against an innovative visual landscape and soundscape. Filmmaker Anne Marie Nakagawa, drawing on her work as a multimedia artist, creates a stylistic documentary that plays with form.</p> <p>As globalization increasingly blurs borders, Between offers a provocative glimpse of what the future holds: a movement away from hyphens and “pure” bloodlines, towards a celebration of fluidity, hybridity and being mixed.”</p> <p>カナダ国立映画制作庁によれば、「カナダでは、多様性はしばしば“一つの民族性+ハイフン+カナダ人”を意味する。しかし、あなたが簡単な分類に当てはまらないとしたら？あなたのバックグラウンドが幾種類かの祖先のハイブリッドで、あなたが複数の文化的アイデンティティの重なるどこかに住んでいるとしたら？映画はヨーロッパ人のバックグラウンドを持つ片親とマイノリティのもう片親を持つカナダ人のグループの経験を織りあわせる。彼らは皆、満足できる基準の枠組みを見つけようと努力している。文化的アイデンティティ、それは我々の多文化的ユートピアが仄めかすものより複雑であるように思われる。</p> <p>7人の個人が、それぞれの人々を単一のカテゴリーに分類しようと望む世界で、多民族背景を持つことの物語を共有する。彼らの中には高名な詩人であるフレッド・ワーもいる。彼は、彼の小学校教師によって、彼のバックグラウンドはアイルランド系、スコットランド系、スウェーデン系の祖先も持つが、彼は中国人だと語られたことを思い出す。</p> <p>しかしながら、中国を訪れたとき、彼には中国人として受け入れてもらえないことを知った。なぜなら彼は混血だから。</p> <p>シャノン・ウォーターはコーストサリッシュ族とのハーフであり、先住民家族実習プログラムに参加することに対して質問を受けている。彼女は彼女の原住民としてのアイデンティティを選ぶにもかかわらず、彼女とそのバックグラウンドとのつながりは、彼女の外見のせいで異議を唱えられる。</p> <p>これらのカナダ人たちの示唆に富む経験は、革新的な景色と音の広がりに対して活気づく。映画製作者のアン・マリー・ナカガワは、マルチメディアアーティストとしての彼女の仕事を利用して、調子で遊ぶようなスタイルッシュなドキュメンタリーを作り上げた。</p> <p>グローバリゼーションが境界をますますぼやけさせ、映画は未来が抱える物を挑発的に垣間見せる。つまり、流動性、ハイブリッド性そして混血であることを称賛することに向かって、ハイフンと「純」血から離れていく動きである。」</p>

A Shadow of Hate

憎しみの影

Source ソース	Guggenheim Productions, Washington, D. C(1995) University of Calgary Doucette library 40min グッゲンハイムプロダクション, ワシントン DC(1995) カルガリー大学ドゥセッテライブラリー 40 分
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Studies: 8. 1, 8. 2, 8. 3 (Appendix A) C. A. L. M: P4, P7, P10 (Appendix C) 社会学習: 8. 1, 8. 2, 8. 3 (付録 A) キャリアと人生設計: P4, P7, P10 (付録 C)
Grades グレード	8, 10 中学 2 年～高校 1 年
Overview あらすじ	<p>According to the American Friends Service Committee: “Tells a story as old as humanity -- pointing the finger at those who don't look or act or think like we do, whether they be people of different religions, races, or sexual orientation. Produced by 3-time Academy Award winner Charles Guggenheim (for “Teaching Tolerance” in Montgomery, Alabama) this closed-captioned program spans 3 centuries to examine this country's ongoing struggle to live up to its ideals of liberty and justice for all. Provides a powerful perspective on historical events from the ordinary people who lived through them. Lessons focus on Quakers, Mormons, Jews, homosexuals, immigrants, Native Americans, Chinese, Mexican-Americans and Japanese.”</p> <p>アメリカフレンズ奉仕団によると、「人間性と同じくらい古い物語を語る--我々がするように見たり、行動したり、考えたりしない人を指さし、彼らが異なる宗教や人種、性的指向であるかどうか。3回アカデミー賞を受賞しているチャールズ・グッゲンハイム(アラバマ州モンゴメリーで『寛容を教えること』に対して)」によってプロデュースされたこのクローズドキャプションプログラムは3世紀に及んでこの国で進行している、万人の為の正義と自由というその理想に従い行動する努力を調査している。歴史的イベントを生き抜いた普通の人々の力強い視点を提供している。レッスンは、クエーカー教徒、モルモン教徒、ユダヤ人、ホモセクシュアル、移民、ネイティブアメリカン、中国人、メキシコ系アメリカ人、そして日本人に焦点を当てている。</p>

Light in the Shadows

影の中の光

Source ソース	Oakland, CA : World Trust (2003) Mount Royal College library 45min オークランド, カリフォルニア : ワールドトラスト(2003) マウントロイヤルカレッジライブラリ 45 分
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Studies: 8. 1, 8. 2, 8. 3 (Appendix A) Health and Life Skills: W-8. 4, W-9. 4 (Appendix B) C. A. L. M: P. 7, P. 10, P. 14, R. 3 (Appendix C) 社会学習: 8. 1, 8. 2, 8. 3 (付録 A) 健康と生活のスキル: W-8. 4, W-9. 4 (付録 B) キャリアと人生設計: P. 7, P. 10, P. 14, R. 3 (付録 C)
Grades グレード	8 – 10 中学 2 年～高校 1 年
Overview あらすじ	According to Shakti Butler, New Day Films: “Light in the Shadows is a frank conversation about race among 10 women who participated in the ground-breaking video The Way Home. These American women of Indigenous, African, Arab, European, Jewish, Asian, Latina and Mixed Race descent, use authentic dialogue to crack open a critical door of consciousness. What lies behind it is a perspective on race that is often unseen/unnoticed within the dominant culture. With clear language, open hearts and a willingness to engage – even when it gets hard – these women travel over roads that demonstrate why valuable discourse on race is so laden with emotion, distrust and misunderstanding. Light in the Shadows is a springboard for critical self-inquiry and inter-ethnic dialogue.” ニューデイフィルムのシャクティ・バトラーによると、「『影の中の光』は、草分け的なビデオ『家路』に参加した10人の女性たちによる人種に関する率直な会話である。これらの、原住民やアフリカ系、アラブ系、ヨーロッパ系、ユダヤ系、アジア系、ラテン系、そして混血のアメリカ人女性達は、意識の重要なドアをこじ開けるために、本物の対話を使う。その裏側にあるものは、主流の文化の中ではしばしば、見過ごされ気づかれない人種についての展望である。はつきりした言葉と、開かれた心、そして参加しようとする意欲—それが困難になる時でさえも—をもって、これらの女性たちは、何故人種に関する価値ある談話が感情や不信、誤解をそれほど含んでいるのかを示す道を旅していく。『影の中の光』は重要な自問と民族間対話の出発点である。」
Resources リソース	A study guide and teacher resources are included in this video. It includes suggested activities and discussion questions and topics. 学習ガイドと教師向け資料がこのビデオには含まれている。それは、活動提案と議論における質問とトピックの例を含む。

Prejudice: The Monster Within

偏見:内に潜む怪物

Source ソース	Knowledge Unlimited (1996) University of Calgary Doucette library 31min ナリッジアンリミテッド(1996) カルガリー大学ドウセッテライブラリー 31 分
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Studies: 8. 2 (Appendix A) C. A. L. M: P4, P7, P10 (Appendix C) 社会学習: 8. 2 (付録 A) キャリアと人生設計: P4, P7, P10 (付録 C)
Grades グレード	8, 10 中学 2 年～高校 1 年
Overview あらすじ	<p>According to the University of Maine, College of Education and Human Development: “The video weaves interviews with middle and high school students, who discuss their own experiences and attitudes about prejudice, with background information on examples of prejudice from slavery to the crisis in Bosnia. It examines the reasons that prejudices have developed, as well as how each of us can identify prejudice in ourselves and work to overcome it.”</p> <p>In this video, teenagers relate the ways they have experienced prejudice. Historical information is shared by featuring perspectives from groups who have experienced persecution. The study guide reinforces the message of taking personal responsibility to combat any form of prejudice. This program will help each of us think more carefully about prejudice and arrive at our own solutions for combating the “monster within”.</p> <p>メイン大学の教育と人間開発カレッジによると、「このビデオは、中学生と高校生のインタビューを集めたものである。そして彼らは、奴隸制からボスニア危機までの偏見の例についての背景情報をもって、偏見についての彼ら自身の経験と態度を議論する。それは、我々々がどのようにして我々自身の中に偏見を確認することができるか、それを打ち破るために働くことができるかと同様に、偏見が作られる理由を調査する。</p> <p>このビデオでは、ティーンエイジャー達が彼らが偏見を経験した経緯について語る。歴史的な情報は、迫害を経験したグループからの考え方方に注目することにより共有される。学習ガイドはあらゆる形態の偏見と闘う個人的な責任を取ることについてのメッセージを増強する。このプログラムは、我々々がより注意深く偏見について考え、“内なる怪物”と戦うための我々自身の解決策に到達する手助けをしてくれるだろう。</p>
Resources リソース	<p>There is a teacher's resource guide for this video. The guide consists the following:</p> <ul style="list-style-type: none"> • A brief introduction, describing the video and stating goals and objectives • A Readiness Activity to be completed before viewing the video • Four follow-up lessons to be completed after viewing the video. A reproducible activity sheet accompanies each lesson <ul style="list-style-type: none"> • The complete script of the video • A brief bibliography <p>このビデオの為の教師向け資料ガイドがあり、それは以下のものを含む。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 簡潔な紹介とビデオの説明そしてゴールと目的の明言 • ビデオを見る前に完了しておくべき準備活動 • ビデオ鑑賞後にを行うべき 4 つのフォローアップレッスン。それぞれのレッスンに伴う再現活動シート • ビデオの完全台本 • 簡潔な参考文献

Bronwen & Yaffa: Moving towards tolerance

ブロンウェン & ヤッファ: 寛容に向かって進むこと

Source ソース	National Film Board of Canada (1996) NFB Order # C9196 110 The Doucette Library, University of Calgary 28min カナダ国立映画制作庁(1996) NFB 注文ナンバー C9196 110 カルガリー大学ドウセッテライブラリー 28 分
Curriculum Link 関連カリキュラム	Health and Life Skills: W-8. 4, W-9. 4 (Appendix B) C. A. L. M: P4, P7, P10 (Appendix C) 健康と生活のスキル: W-8. 4, W-9. 4 (付録 B) キャリアと人生設計: P4, P7, P10 (付録 C)
Grades グレード	8 – 10 中学 2 年～高校 1 年
Overview あらすじ	<p>According to the National Film Board of Canada: “Against a vibrant soundtrack of punk and rap music, two extraordinary young women from Halifax create change at the grassroots level by organizing benefit rock concerts to raise money for East coast Against Racism (E. A. R.).</p> <p>Bronwen and Yaffa have both experienced racism in their own lives and are determined to make a difference. Their message is simple to those who promote racism and those who struggle against it: “The world is getting way out of control. We don’t have to live this way. We can change it.” Together, they reach out to local bands to help raise money for E. A. R., knowing that the universal language of music will speak out to, and help unite, the community. At the same time, they struggle to renew their friendship with Scott, a former, Ku Klux Klan member; he’s trying to reform but he admits that there is still conflict within him. He talks about how the Klan provided him with a sense of belonging and how that can be tempting to many young people. His experience is further encouragement for the two young activists to continue to fight against racism and to practice the tolerance that they preach. As Yaffa tells Scott, “If we don’t accept you back, there’s no motivation for you to leave the Klan.” Bronwen & Yaffa (Moving Towards Tolerance) chronicles the efforts of these two determined young women as they successfully rally against racism: booking a variety of bands, putting up posters, writing an information booklet, organizing a writing contest so that young people can speak their minds, talking to people in the streets, and even encouraging Scott to speak at the concert. After the show, they realize that, even though the battle is huge, ‘It is possible to get your message across and people do listen. . . and that’s worth everything!’</p> <p>カナダ国立映画制作庁によれば、「パンクとラップのスリリングなサウンドトラックに対抗して、ハリファックスから来た二人の風変わりな若い女性達が、東海岸反レイシズム活動(E.A.R.)の為の資金集めのために慈善コンサートを企画することにより草の根レベルの変化を作り出す。</p> <p>ブロンウェンとヤッファは彼らの人生において二人ともレイシズムを経験していた。そして、変化を作り出すことに決めた。彼らのメッセージはレイシズムを助長する人達とレイシズムに対抗して戦う人達に向けたシンプルなものだった。“世界は制御不能になりつつある。そのままにしておく必要はない。私たちは世界を変えることができる。”世界共通語である音楽はコミュニティと遠慮なく話し、結合するのに役立つだろうということを知って、共に、E.A.R.の為の資金調達の為に彼らは地方のバンドたちと心を通わせた。同じころ、彼らはスコットとの友情を取り戻そうと努力していた。彼はかつてクークラックスクランのメンバーで、改心しようとしていたが、自身まだ葛藤を感じていることを認めていた。彼はクランがどのように彼に帰属意識を与えたかと、どのように多くの若者を魅惑するかについて語った。彼の経験は、レイシズムと戦い続け、彼女たちが伝道する寛容を実践し続ける二人の活動家にとってさらに励みとなった。ヤッファはスコットにこう言った。“もし私たちがあなたが戻ることを受け入れないなら、あなたにとってクランを去る動機はない。”ブロウエンとヤッファ(寛容に向かって進むこと)はこの二人の決心した若い女性の彼らがレイシズムに反対して集った時の努力を記録したものである。様々なバンドと出演契約し、ポスターを掲げ、パンフレットを書き、若い人たちが彼らの気持ちを言えるように作文コンクールを企画し、往来で人々に語り掛け、そしてスコットにコンサートで話すように勇気づけすらして。ショーの後で、彼らは。戦いがどんなに大きくて“あなたのメッセージをわからせることは出来る。そして人々はきっと聞いてくれる…それにはすべての価値がある！”ということを認識する。」</p>

20.

How biased are you?

あなたはどれほどバイアスがかかってる？

Source ソース	Princeton, NJ : Films for Humanities and Sciences (2001) Mount Royal College library 26min プリンストン, ニュージャージー : 人間性と科学のための映画社 (2001) マウントロイヤルカレッジライブラリ 26 分
Curriculum Link 関連カリキュラム	Health and Life Skills: W-8. 4, W-9. 4 (Appendix B) C. A. L. M: P. 7, P. 10, P. 14, R. 3 (Appendix C) 健康と生活のスキル: W-8. 4, W-9. 4 (付録 B) キャリアと人生設計: P. 7, P. 10, P. 14, R. 3 (付録 C)
Grades グレード	8 – 10 中学 2 年～高校 1 年
Overview あらすじ	According to UNL Video Services, “Racism is easily recognized in its extreme forms, but racial prejudice infiltrates everyday life in subtle, often unintentional ways as well. Discover just how prevalent bias is as you watch real-life adults followed with hidden cameras as they interact with people of different races. ” UNL ビデオサービスによれば、「過激な形態のレイシズムは容易に認識されるが、人種的偏見は日常生活に微妙に、しばしば意図しない方法で、浸透している。異なる人種の人々の相互作用を隠しカメラで追跡された現実の大人を見ることで、単にどのようにバイアスが広まっていくかを明らかにする。」

The Truth about Hate ヘイトに関する真実	
Source ソース	Woodstock, On : Canadian Learning Co (1999) Mount Royal College library Available in three versions: Full-length (49 minutes); School (32 minutes); and, the School version is also available in Spanish. ウッドストック、オンタリオ州 : カナディアンラーニング社(1999) マウントロイヤルカレッジライブラリ 3種類のバージョンが利用可能: フルサイズ(49分); 学校版(32分); スペイン語版(学校版と同じ)
Curriculum Link 関連カリキュラム	Health and Life Skills: W-8. 4, W-9. 4 (Appendix B) C. A. L. M: P. 7, P. 10, P. 14, R. 3 (Appendix C) 健康と生活のスキル: W-8. 4, W-9. 4 (付録 B) キャリアと人生設計: P. 7, P. 10, P. 14, R. 3 (付録 C)
Grades グレード	8 – 10 中学2年～高校1年
Overview あらすじ	<p>According to View Tech Educational Media: “This emotional and hard-hitting program is part of AIMS Multimedia’s “The Teen Files” series and hosted by Leeza Gibbons. It explores the origins of hate through the eyes of teens, as they come face to face with their own racism, ethnic bigotry, religious hatred and sexual discrimination.”</p> <p>ビューテックエデュケーションナルメディアによると「この感情的かつ強力なプログラムは、エイムズマルチメディアの“ザ・ティーンファイルズ”の一部であり、リーザ・ギブソンによって主催されている。彼らが自身のレイシズムや民族的偏見、宗教的憎悪や性差別と向き合うようにして、ヘイトの由来をティーンエイジャー達の目を通して調査する。」</p>

Learning to Hate

ヘイトについて学ぶこと

Source ソース	<p>Learning to Hate Princeton, N. J. : Films for the Humanities and Sciences (1997) Mount Royal College library 42min</p> <p>ヘイトについて学ぶこと プリンストン, ニュージャージー州 : 人間性と科学のための映画社(1997) マウントロイヤルカレッジライブラリ 42 分</p>
Curriculum Link 関連カリキュラム	<p>Health and Life Skills: W-8. 4, W-9. 4 (Appendix B) C. A. L. M: P. 7, P. 10, P. 14, R. 3 (Appendix C)</p> <p>健康と生活のスキル: W-8. 4, W-9. 4 (付録 B) キャリアと人生設計: P. 7, P. 10, P. 14, R. 3 (付録 C)</p>
Grades グレード	8 – 10 中学 2 年～高校 1 年
Overview あらすじ	<p>According to the Network of Alliance for Bridging Race and Ethnicity: “This program focuses on how children learn to hate and how attitudes about hatred differ from culture to culture. Interview with a youth of Arab-Israeli descent who becomes friends with a young Orthodox Jew; high school students in Bensonhurst analyze the origins of hatred against gays. Nelson Mandela, Elie Wiesel, and Vaclav Havel share their own experiences with hatred and discuss the resolve that helped them.”</p> <p>人種と民族の架け橋の為の同盟ネットワークによると、「このプログラムは子供たちがどのようにヘイトを学ぶか、そして憎悪に関する態度がいかに文化によって異なるかに焦点を当てている。若い正統派ユダヤ教徒と友達になったアラブ・イスラエル系の若者(二人ともベンソンハーストの高校生)とのインタビューはゲイの人々に対するヘイトの起源を分析する。 Nelson Mandela、Elie Wiesel、Vaclav Havel は、かれ自身の憎悪に関する経験を共有し、彼らを助けた解決策を議論する。」</p>

Hi-Tech Hate ハイテクヘイト	
Source ソース	Princeton, N. J. : Films for the Humanities and Sciences (1996) Mount Royal College library 20min プリンストン, ニュージャージー州 : 人間性と科学のための映画社(1996) マウントロイヤルカレッジライブラリ 20 分
Curriculum Link 関連カリキュラム	Health and Life Skills: W-8. 4, W-9. 4 (Appendix B) C. A. L. M: P. 7, P. 10, P. 14, R. 3 (Appendix C) 健康と生活のスキル: W-8. 4, W-9. 4 (付録 B) キャリアと人生設計: P. 7, P. 10, P. 14, R. 3 (付録 C)
Grades グレード	8 – 10 中学 2 年～高校 1 年
Overview あらすじ	<p>According to Professor Kevin Bowyer, Computer Science and Engineering, University of South Florida: "This video discusses hate groups of the neo-Nazi / holocaust revisionist / skinhead variety, and their use of the internet for communications and recruiting. Since it is a Canadian video, it looks primarily at activities and people in Canada. But it also describes ties to groups in Russia and the United States. A main figure in the video is Ernst Zundel, whose conviction on some "criminal false news" charges was overturned by Canada's high court. There are clips of Zundel talking about himself, his organization, his "Voice of Freedom" video program, his meeting with Zhirinovsky in Russia, his tour of a concentration camp in Germany, and people in the U. S. who help him to get his program shown on local-access cable in the U. S.</p> <p>There is one clip of a revisionist arguing that historical photos of the holocaust are doctored. There are also clips of students discovering hate groups on the internet, and their reactions to what they read. There is brief mention of internet "flame wars" and whether they could lead to actual violence. There is brief discussion of bombmaking recipes available on the internet, with a reference to the Oklahoma City bombing. Overall, the video is good, even a little slick, in production quality. The balance of the content really seems more on the organizations and politics in Canada than on what happens on the internet, but it is overall a good video. Students in the U. S. would certainly learn that first amendment protections are not the same in all countries, and they would get a glimpse of what makes the hate groups so sickening."</p> <p>南フロリダ大学のコンピューターサイエンスとエンジニアリングの教授であるケヴィン・ボイヤーによると、「このビデオは、ネオナチのヘイトグループ/ホロコースト歴史修正主義者/様々なスキンヘッド団、そして彼らのコミュニケーションと人材募集の為のインターネット利用を議論している。カナダ製のビデオであるため、カナダでの活動と人々が主であるように見えるが、ビデオはまたロシアと米国のグループとのつながりを描いている。このビデオが主に解説するのはエルンスト・ツンデルである。彼の抱く“犯罪的な間違ったニュース”の告発に対する有罪判決は、カナダの最高裁で覆された。ツンデルが彼自身の事、彼の組織、彼の「自由の声」ビデオプログラム、ロシアのジリノフスキーニーとのインタビュー、彼のドイツの強制収容所への訪問、そして彼のプログラムを米国の方のケーブルテレビで放映する彼のアメリカの支援者たちのことを語っているシーンがある。</p> <p>ホロコーストの歴史的写真が修正されていると主張している歴史修正主義者の場面がある。また、インターネットでヘイトグループを発見している生徒たちと彼らが読む者に対してどんな反応をするかという場面がある。</p> <p>インターネットの“炎上”とそれらが実際の暴力につながるかどうかに関する簡潔な言及がある。オクラホマ爆弾テロに関してインターネットで入手できる爆弾製造法に関する簡潔な議論がある。全体としては、製造品質において少しなめらかすぎるくらいはあるが、これは良いビデオだ。内容のバランスは実際、ネットで起きていることよりもカナダの組織と政治に関する者の方が多いように思われる。しかし、それでも良いビデオである。アメリカの生徒たちは確実に憲法修正第一項の保護が全ての国で同じではないことを学ぶだろう。そして、何がヘイトグループをこれほど気色悪いものにしているかを垣間見るだろう。」</p>
Resources リソース	For a similar film centered towards racism in the Canadian culture refer to the video titled "Cyber Hate or Freedom of Speech" Some of the same people are interviewed in this film. カナダの文化におけるレイシズムを中心に据えた同様のフィルムとして、“サイバーヘイトか言論の自由か”と題されたビデオを参照しなさい。インタビューを受ける何人かは、『ハイテクヘイト』にも出演している。

The Internet: Cyber-Hate and Freedom of Speech

インターネット: サイバーヘイトと言論の自由

Source ソース	Princeton, N. J. : Films for the Humanities and Sciences (1995) Mount Royal College library 20min 15sec プリンストン, ニュージャージー州 : 人間性と科学のための映画社(1995) マウントロイヤルカレッジライブラリ 20 分 15 秒
Curriculum Link 関連カリキュラム	Health and Life Skills: W-8. 4, W-9. 4 (Appendix B) C. A. L. M: P. 7, P. 10, P. 14, R. 3 (Appendix C) 健康と生活のスキル: W-8. 4, W-9. 4 (付録 B) キャリアと人生設計: P. 7, P. 10, P. 14, R. 3 (付録 C)
Grades グレード	8 – 10 中学 2 年～高校 1 年
Overview あらすじ	<p>This video uses the issue of “cyber hate” as a vehicle for discussion of freedom of speech and censorship. The actual content of “cyber hate” is treated with a minimum of sensationalism. There are glimpses of web page graphics that are offensive to most viewers.</p> <p>There are interview clips with individual skin-heads and holocaust revisionists. One of them makes the comment, in appreciation of the internet, “How could I get a broader audience?” There are also interview clips with a representative from the Simon Weisenthal Center, a Canadian anti-revisionist, students, university administrators, and Canadian government officials.</p> <p>This video does not deal in detail with the claims made by the holocaust revisionists, to show why they are wrong / dangerous / abhorrent. It does discuss in more detail the arguments for and against censorship of the internet from the viewpoints of various “stake-holders.” Importantly for U. S. students, it clearly makes the point that freedom of speech as interpreted through the first amendment is not universal. The video is not heavy-handed in presenting “the” correct solution. The video is reasonably up-to-date, though there is one reference to “the anonymous re-mailer in Finland” that has since been shut down. Overall, this should be a good video to introduce the topics “internet hate” and free speech to students.</p> <p>このビデオは言論の自由と検閲についての議論の為の手段として“サイバーヘイト”的問題を取り扱っている。“サイバーヘイト”的実際の内容は、最もセンセーショナルでないように扱われる。殆どの閲覧者に対して攻撃的なウェブページ画像を垣間見せる。</p> <p>個々のスキンヘッドたちと歴史修正主義者のインタビューがあり、そのうちの一人は、インターネットを称賛して、「(ネットなしでは)どうすればより多くの観衆を得ることができるんだ?」とコメントしている。またサイモン・ヴィーゼンタールセンターの代表者、カナダ人反歴史修正主義者、生徒達、大学の管理者、カナダ政府官僚達のインタビューもある。</p> <p>このビデオは、なぜ彼らが間違っており、危険で、忌まわしいかを見せるために、ホロコースト否定論者の主張を詳しくは扱わない。それがまさに、より詳細に、様々な“利害関係者”的視点からインターネットの検閲に対しての議論をさせている。アメリカの生徒たちにとって重要なことには、憲法修正第一項を通じて解釈された言論の自由が世界的なものではないと明らかにしていることである。このビデオは、現在の“あの”正しい解決策を押し付ける物ではない。既にシャットダウンされた“フィンランドの匿名メール転送”などが含まれるもの、このビデオは適度に今日的なものである。全体として、これは生徒たちに“インターネットヘイト”と言論の自由というトピックを紹介する良いビデオであるはずだ。</p>

The Heart of Hatred 憎しみの心臓	
Source ソース	Princeton, N. J. : Films for the Humanities and Sciences (1997) Mount Royal College library 42min プリンストン, ニュージャージー州 : 人間性と科学のための映画社(1997) マウントロイヤルカレッジライブラリ 42 分
Curriculum Link 関連カリキュラム	Health and Life Skills: W-8. 4, W-9. 4 (Appendix B) C. A. L. M: P. 7, P. 10, P. 14, R. 3 (Appendix C) 健康と生活のスキル: W-8. 4, W-9. 4 (付録 B) キャリアと人生設計: P. 7, P. 10, P. 14, R. 3 (付録 C)
Grades グレード	8 – 11 中学 2 年～高校 2 年
Overview あらすじ	<p>According to Oregon State University, Multimedia Collection: “This program features conversations with a variety of people who have explored the heart of hatred. A Los Angeles gang member uses hate as a survival weapon. White supremacist leader Tom Metzger defends his policies of hate both in a court of law and in interviews.</p> <p>A former Israeli soldier tells how he disguised himself as a Palestinian in order to better understand the source of his own hatred. High school students in Bensonhurst, New York, discuss the beating death of a black youth in their neighborhood, and Myrlie Evers, wife of assassinated civil rights leader Medgar Evers, talks about her own triumph over hate after her husband’s untimely death.</p> <p>A man who physically abused his wife is presented as an example of people who act hatefully when their identity and self-esteem are threatened.”</p> <p>オレゴン州立大学マルチメディアコレクションによれば、「このプログラムは、ヘイトの核心を調査する様々な人々との会話を特徴としている。ロサンゼルスのギャングのメンバーはヘイトをサバイバルの為の兵器として使う。白人優位主義者たちのリーダーであるトム・メッツガーは彼のヘイトのポリシーを法廷とインタビューの両方で擁護している。</p> <p>元イスラエル兵士は、彼自身のヘイトの源をよりよく理解するためにどのように彼自身をパレスチナ人に偽装するかを語る。ニューヨークのベンソンハーストの高校生たちは彼らの近所に住む黒人の若者が殴り殺されたことを議論する。そして暗殺された公民権運動の指導者であるメドガー・エヴァースの妻であるマーリィ・エヴァースは、夫の若すぎる死の後の憎しみを乗り越えた彼女自身の勝利について語る。</p> <p>妻に身体的な暴力を振るった男が、アイデンティティと自尊心が脅かされた時に憎しみを持って行動する人々の例として提示される。</p>

[Under One Sky: Arab women in North America talk about the hijab](#)
 一つの空の下で: 北アメリカのアラブ人女性たちがヒジャブについて語る

Source ソース	National Film Board of Canada (1999) University of Calgary Doucette library 43min 30sec カナダ国立映画制作庁(1999) カルガリー大学ドゥセッテライブラリー 43 分 30 秒
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Curriculum: 9. 1, 20. 1, 20. 2 (Appendix A) Health and Life Skills: W-8. 4, W-9. 4 (Appendix B) C. A. L. M: P. 7, P. 10, P. 14, R. 3 (Appendix C) 社会カリキュラム: 9. 1, 20. 1, 20. 2 (付録 A) 健康と生活のスキル: W-8. 4, W-9. 4 (付録 B) キャリアと人生設計: P. 7, P. 10, P. 14, R. 3 (付録 C)
Grades グレード	8 – 11 中学 2 年～高校 2 年
Overview あらすじ	According to the National Film Board of Canada: “To Western eyes, the veil is one of the most contentious symbols of Middle Eastern culture. For some it represents the oppression of Muslim women, mysterious sexuality and the struggle between Eastern and Western values. But for the North American Arab women who wear the hijab, the veil is a proud emblem of their identity and heritage. Against a backdrop of ads and Hollywood movies that exoticize or demonize the Middle Eastern woman, Under One Sky presents some very modern Arab women who trace their history, from early colonialist missions, to post–Gulf War feminism. Informed and articulate, these women reveal the ideologies behind the veil with passionate insight and unexpected flair. Director Jennifer Kawaja discovers that Arab women are adamant about tearing away labels imposed by both East and West. Whether denouncing right wing anti-abortionists or defending the right of Muslim women not to wear the hijab, veiled Arab women see no reason to follow anyone's dogma.” カナダ国立映画制作庁によれば、「西側から見ると、ベイルはもっとも異論のある中東文化のシンボルの一つである。ある人々にとっては、イスラム教徒女性の抑圧、ミステリアスな性的関心と東西の価値観の間の闘争を示す。しかし、ヒジャブを身に着けた北米のアラブ人女性にとっては、ベイルは彼女たちのアイデンティティと伝統の誇らしい象徴である。中東女性をエキゾティックにしたり悪魔化したりするハリウッド映画や広告の背景に対抗して、『一つの空の下で』は嘗ての植民地主義的な任務から、湾岸戦争後のフェミニズムの時代までの歴史をたどる、何人かのとても近代的なアラブ人女性を登場させている。克明かつ明瞭に、これらの女性たちはベイルに隠されたイデオロギーを情熱的な洞察と予想外の才覚をもつて明らかにする。ジェニファー・カワジャ監督はアラブ人女性が東西両方によって押し付けられたラベルをはがすことについて、断固としている。右翼の中絶反対派を非難するか、ヒジャブを身に着けないイスラム女性の権利を守るかに関わらず、ベイルをつけたアラブ人女性は誰かの決めた協議に従う理由はない。」

Anti-Racist Education: It starts within

アンチレイシズム教育:内側から始める。

Source ソース	Nova Scotia Education and Culture (1993) University of Calgary Doucette library 12min ノヴァスコーシャ教育文化社(1993) カルガリー大学ドゥセッテライブラリー 12 分
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Studies: 8. 1, 8. 2, 8. 3, 10. 1, 10. 2 (Appendix A) Health and Life Skills: W-8. 4, W-9. 4 (Appendix B) C. A. L. M: P. 7, P. 10, P. 14, R. 3 (Appendix C) 社会学習: 8. 1, 8. 2, 8. 3, 10. 1, 10. 2 (付録 A) 健康と生活のスキル: W-8. 4, W-9. 4 (付録 B) キャリアと人生設計: P. 7, P. 10, P. 14, R. 3 (付録 C)
Grades グレード	8 – 12 中学 2 年～高校 3 年
Overview あらすじ	A group of twenty Cole Harbour District School students of various racial, cultural, socio-economic, and academic backgrounds are led through five-day power play workshop under the direction of Anne Johnson-McDonald. They focus on issues of concern to Black and White students as well as issues facing other racially visible students. The students come to understand that racism affects the oppressed as well as the groups in society with the final product being the video It Starts Within. 様々な人種、文化、社会経済的階層、そして学術的なバックグラウンドを持つ 20 人のコールハーバーディストリクト高校の生徒たちのグループは、アン・ジョンソン・マクドナルドの監督下で、5 日間のパワープレイワークショップを通じて指導された。彼らは人種的に判断される生徒達が直面する問題と同様に、黒人と白人の生徒達に関する問題に焦点を当てる。生徒たちは、レイシズムが社会の中のグループと同様、被抑圧者に影響を及ぼすことを最終製品であるビデオ『内側から始める』によって理解するようになる。
Resources リソース	A video study guide, It Starts Within is a tool which will help teachers impart cross-cultural understanding and race relations concepts to students. The objectives of the video production and student power play workshop from which the video was produced are to: 1. Provide a tool for teachers to help foster evaluation of self, curriculum, school practices and their effects on students (student behavior, reaction, response) 2. Reveal the various forms of racism, including both overt and subtle acts and to name the problem “racism” 3. Initiate discussion, and provide evaluative and observation activities. 4. Suggest possible outcomes ビデオ学習ガイド、『内側から始める』は教師が文化間理解と人種関係のコンセプトを生徒たちに授けるのに役立つであろうツールである。このビデオ製品とビデオが作り出す生徒のパワープレイワークショップの目的は、 1.生徒たちに、自己とカリキュラムと学校の実践と彼ら自身の効果(生徒たちの振る舞い、反応)の評価を促進するのに役立つツールを教師に提供することである。 2.明白なものと微妙なものを含む様々な形態のレイシズムを明らかにすること。そしてその問題を“レイシズム”と名付けること。 3.議論の口火を切り、評価と観察の諸活動を提供すること。 4.可能な成果を提案すること。

Skin Deep

肌の奥

Source ソース	Berkeley, CA : Iris Films (1995) Mount Royal College library 25min 34sec バークレー, カリフォルニア州 CA : アイリスフィルム(1995) マウントロイヤルカレッジライブラリ 25 分 34 秒
Curriculum Link 関連カリキ ュラム	Social Studies: 8. 1, 8. 2, 8. 3, 10. 1, 10. 2 (Appendix A) Health and Life Skills: W-8. 4, W-9. 4 (Appendix B) C. A. L. M: P. 7, P. 10, P. 14, R. 3 (Appendix C) 社会学習: 8. 1, 8. 2, 8. 3, 10. 1, 10. 2 (付録 A) 健康と生活のスキル: W-8. 4, W-9. 4 (付録 B) キャリアと人生設計: P. 7, P. 10, P. 14, R. 3 (付録 C)
Grades グレード	8 – 12 中学 2 年～高校 3 年
Overview あらすじ	<p>Per California Newsreel: "Skin Deep chronicles the eye-opening journey of a diverse and divided group of college students as they awkwardly but honestly confront each other's racial prejudices. Academy Award nominated filmmaker Frances Reid follows students from the University of Massachusetts, Texas A&M, Chico State, and U. C. Berkeley to a challenging racial awareness workshop where they confront each other's innermost feelings about race and ethnicity. She also accompanies them back to their campuses and on visits home in an attempt to understand why they think the way they do.</p> <ul style="list-style-type: none"> • An Italian American from Boston asks why the African American students seem to look at everything in terms of race; he wants to be judged as an individual. • A Latina daughter of California farm workers vigorously defends the affirmative action program which enabled her to go to college. • A Native American poignantly admits the pain of internalized racism which has long crippled his self-concept. • An African American woman says she's tired of having to correct white students for their blind, racist behavior – and is called hypersensitive. • A Vietnamese American comments that people have trouble remembering what his real name is. <p>Issues of self-segregation on campus, feelings of hurt and discrimination, conflicts over affirmative action, and ultimately, students' personal responsibility for making a difference all enter the interracial dialogue. The students eventually learn to hear each other, arrive at new levels of trust and understanding, and take their first tentative steps towards building community.</p> <p>Skin Deep will trigger thoughtful discussion and encourage students to address the deep-seated barriers to building a campus climate which respects diversity. It is ideal for student development, residential life, counseling, and staff diversity training as well as courses in sociology, psychology, education, and ethnic and multicultural studies."</p> <p>カリフォルニアニュースリールによると、「『肌の奥』は多様かつ分離された大学生のグループの不器用だが誠実にそれぞれの人種的偏見に立ち向かう驚くべき旅を記録にとどめる。</p> <p>アカデミー賞ノミネート映像作家のフランシス・レイドは、学生たちの後をマサチューセッツ大学、テキサスA&M大学、カリフォルニア州立大学チコ校、そしてカリフォルニア大学バークレー校から、互いの人種と民族性に関する最も深い感覚に立ち向かう挑戦的人種的自覚ワークショップまで追いかけた。彼女はまた、彼らがなぜそうしようと考えたのかを理解しようとして、彼らが自分たちのキャンパスに戻るのに同行し、家を訪問した。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ボストンから来たイタリア系アメリカ人は、なぜアフリカ系アメリカ人の学生たちは全ての物を人種という観点で見るようになるのかと尋ねた。彼は個人として判断されたいと思っていた。 • ラテン系のカリフォルニアの農場労働者の娘は力強く彼女がカレッジに行けるようにアファーマティブアクションプログラムを擁護した。 • 一人のアメリカ原住民は、長く彼の自己概念を損なってきた内面化したレイシズムの痛みを心から認めた。 • あるアフリカ系アメリカ人女性は、白人学生の盲目的なレイシスト的振る舞いを正さねばならないということに疲れたと言った。そして、彼女は過敏症と呼ばれた。 • あるベトナム系アメリカ人は、人々は彼の本当の名前を思い出そうとして苦労しているとコメントした。 <p>キャンパスでの自己分離の問題は、傷ついたり差別を感じたりすることで、アファーマティブアクションを巡って矛盾を呈し、究極的には学生の全ての人が人種間対話に入る力を発揮するための個人的な責任なのだ。この学生たちは、結局、互いの話を聞くことを学び、信頼と理解の新しい段階に到達し、そしてコミュニティを作り出すことに向けた、試験的な第一歩を踏み出すのだ。</p>

アンチレイシズムリソースキット

	『肌の奥』は思慮深い議論の呼び水となるだろう。そして生徒たちが多様性を称賛するキャンパスの雰囲気を作り出すことに対する根深い障壁に取り組むことを促すだろう。それは学生の発達や住民の生活、カウンセリングと職員の多様性トレーニングにとって、社会学、心理学、教育と民族性と多文化研究のコースと同様に、理想的である。
Resources リソース	<p>There are online resources for teachers and students at: http://www.newsreel.org/guides/skindeep.htm</p> <p>Some of these resources include discussion topics, background on issues raised in this film, group activities and a teacher's guide.</p> <p>教師と生徒の為のオンライン教材がここにある。</p> <p>これらの教材のいくつかは、議論のトピックやこのフィルムの中で提示されている問題の背景、グループ活動と教師用ガイドを含む。</p>

The Color of Fear

恐怖の色

Source ソース	Oakland, Ca : Stir-Fry Production (1994) Mount Royal College library 25min 34sec オークランド, カリフォルニア州 : ステアフライ(炒め)プロダクション(1994) マウントロイヤルカレッジライブラリ 25 分 34 秒
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Studies: 8. 1, 8. 2, 8. 3, 10. 1, 10. 2 (Appendix A) Health and Life Skills: W-8. 4, W-9. 4 (Appendix B) C. A. L. M: P. 7, P. 10, P. 14, R. 3 (Appendix C) 社会学習: 8. 1, 8. 2, 8. 3, 10. 1, 10. 2 (付録 A) 健康と生活のスキル: W-8. 4, W-9. 4 (付録 B) キャリアと人生設計: P. 7, P. 10, P. 14, R. 3 (付録 C)
Grades グレード	8 – 12 中学 2 年～高校 3 年
Overview あらすじ	According to the American Friends Service Committee: “A film about the pain and anguish that racism has caused in the lives of eight men — Asians, blacks, Latinos, and whites —spending an engrossing weekend retreat together. Tension develops between a white American and the other members, especially the African-American who angrily challenges this man’s denial of white privilege and his perception of non-white disempowerment. Others highlight the tensions that exist between Chinese- and Japanese-Americans and between blacks and Latinos. When the white man’s defense finally cracks, he remembers the role of his strict angry father, and the other group members then discuss the influence of their family of origin. Hierarchy and power prejudice between groups, and discomfort with “America” identity are insightfully discussed. Age level: High school to adult.” アメリカフレンズ奉仕団によると、「楽しい週末を使って一緒に過ごす八人の男(アジア人、黒人、ラテン系、そして白人)たちの人生においてレイシズムが引き起こした痛みと苦しみについての映画である。白人のアメリカ人と他のメンバーたちの間で緊張が高まる。特に、この男の白人の特権の否定と非白人軽視の認識に異議を唱えるアフリカ系アメリカ人ととの間で。他の人々は、中国系アメリカ人と日系アメリカ人の間と黒人とラテン系の間に存在する緊張を強調する。白人男性の主張に最終的にひびが入った時、彼は彼の厳格で怒った父親の役割を思い出す。そして他のグループメンバーたちはその時、彼らの起源の家族の影響を議論する。ヒエラルキーと権力はグループ間に偏見をもたらし、“アメリカ”アイデンティティの不快感は洞察的に議論される。対象年齢:高校生～成人」

Race: The power of an Illusion

人種:幻の権力

Source ソース	California Newsreel (2003) Mount Royal College library カリフォルニアニュースリール(2003) マウントロイヤルカレッジライブラリ
Curriculum Link 関連カリキュラム	Health and Life Skills: W-8. 4, W-9. 4 (Appendix B) C. A. L. M: P. 7, P. 10, P. 14, R. 3 (Appendix C) 健康と生活のスキル: W-8. 4, W-9. 4 (付録 B) キャリアと人生設計: P. 7, P. 10, P. 14, R. 3 (付録 C)
Grades グレード	8 – 12 中学 2 年～高校 3 年
Overview あらすじ	<p>According to PBS: “Race is one topic where we all think we’re experts. Yet ask 10 people to define race or name “the races,” and you’re likely to get 10 different answers. Few issues are characterized by more contradictory assumptions and myths, each voiced with absolute certainty.</p> <p>In producing this series, we felt it was important to go back to first principles and ask, What is this thing called “race?” – a question so basic it is rarely raised. What we discovered is that most of our common assumptions about race – for instance, that the world’s people can be divided biologically along racial lines – are wrong. Yet the consequences of racism are very real.</p> <p>How do we make sense of these two seeming contradictions? Our hope is that this series can help us all navigate through our myths and misconceptions, and scrutinize some of the assumptions we take for granted. In that sense, the real subject of the film is not so much race but the viewer, or more precisely, the notions about race we all hold.</p> <p>We hope this series can help clear away the biological underbrush and leave starkly visible the underlying social, economic, and political conditions that disproportionately channel advantages and opportunities to white people. Perhaps then we can shift the conversation from discussing diversity and respecting cultural difference to building a more just and equitable society.”</p> <p>PBSによると、「人種は我々すべてが自分を専門家だと考える話題だ。しかし、10人の人に人種や“人種”という言葉を定義するように頼んだら、10種類の違った答えが返ってくるだろう。より矛盾に満ちた仮定と作り話によって、特徴づけられており、それぞれ完全な確かさで言い表せるものはほとんどない。このシリーズを作り出すことで、我々は最初の原理に戻って、“人種”と呼ばれるものは何か?」-基本的過ぎて殆ど問われることがない質問-を問うことが重要だと感じた。我々は、人種についての我々の一般的な仮定のほとんど、例えば、世界の人々は生物学的に人種的な境界によって分けられるというようなことが、誤りであることを見出した。それでも、レイシズムがもたらすものはまさしく現実だ。どうすれば我々はこれら二つの表面的な矛盾を理解できるか?我々はこのシリーズが作り話や誤解を打ち破り我々すべてを導き、我々が当然のこととして受け入れてきた仮定のいくつかを綿密に調べる手助けとなることを望んでいる。その意味では、このフィルムの本当のテーマは人種というよりは観客だ。より正確には我々が抱く人種についての観念だと言える。</p> <p>我々はこのシリーズが生物学的な茂みを取り去り、不当に白人に優位と機会を与える根底にある社会的、経済的、政治的な状態を克明に可視化し続けるのに役立つことを望む。おそらくはそうすれば我々は多様性と文化的な差異を尊敬する議論から、より公正かつ平等な世界の建設へと、会話を移行することができるだろう。」</p>
Resources リソース	<p>On the website http://www.pbs.org/race/000_General/000_00-Home.htm, they present some tools to help educators explore the significance of race through multiple disciplines. Lesson plans draw from the television series, the Web site and carefully selected resources.</p> <p>There are also 14 downloadable pages of Discussion Guides for episode summaries, an overview of important concepts from the film, a list of “Ten Things Everyone Should Know about Race,” plus comprehension questions, discussion points, and suggested activities.</p> <p><u>ウェブサイト</u>にて、教育者が複数の訓練を通じて人種の意味を調査するのに役立つツールが提供されている。レッスンプランはテレビシリーズ、ウェブサイトそして注意深く選ばれた教材から抜き出されたものである。</p> <p>また、ダウンロード可能な 14 ページのエピソードの要約、フィルムからの重要な概念の概観、“人種について皆が知っておくべき 10 の事柄”のリストとわかりやすい質問、論点そして活動提案に対する議論の為のガイドがある。</p>

Race: The world's most dangerous myth

人種:世界で最も危険な神話

Source ソース	New York : Insight Media (1993) Mount Royal College library 59min ニューヨーク : インサイトメディア(1993) マウントロイヤルカレッジライブラリ 59 分
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Studies: 8. 1, 8. 2, 8. 3, 10. 1, 10. 2 (Appendix A) Health and Life Skills: W-8. 4, W-9. 4 (Appendix B) C. A. L. M: P. 7, P. 10, P. 14, R. 3 (Appendix C) 社会学習: 8. 1, 8. 2, 8. 3, 10. 1, 10. 2 (付録 A) 健康と生活のスキル: W-8. 4, W-9. 4 (付録 B) キャリアと人生設計: P. 7, P. 10, P. 14, R. 3 (付録 C)
Grades グレード	8 – 12 中学 2 年～高校 3 年
Overview あらすじ	The concept of race is examined from scientific and cultural perspectives. The program also details the different classifications of race. 人種の概念が科学的かつ文化的観点から検証される。このプログラムはまた、人種の異なる分類を詳解する。

Taking Charge

管掌

Source ソース	National Film Board of Canada (1996) University of Calgary Doucette library 25min 34sec カナダ国立映画制作庁(1996) カルガリー大学ドゥセッテライブラリー 25 分 34 秒
Curriculum Link 関連カリキュラム	Health and Life Skills: W-8. 4, W-9. 4 (Appendix B) C. A. L. M: P. 7, P. 10, P. 14, R. 3 (Appendix C) 健康と生活のスキル: W-8. 4, W-9. 4 (付録 B) キャリアと人生設計: P. 7, P. 10, P. 14, R. 3 (付録 C)
Grades グレード	8 – 12 中学 2 年～高校 3 年
Overview あらすじ	<p>According to the National Film Board of Canada: “Taking Charge shows teens taking the initiative to overcome the fears and vulnerabilities of growing up in an increasingly violent and rapidly changing society. Through role-playing, theatre groups, peer discussion groups and anti-violence collectives these young activists have “taken charge,” educating themselves and their peers towards a deeper understanding of the effects of violence rooted in sexism, racism and homophobia.</p> <p>We see through their various initiatives, as well as personal testimonies, that teens speaking and organizing against violence sends a positive message to everyone. Taking Charge encourages the viewer to re-examine definitions of violence, and shows how to effect change.</p> <p>The defiant lyrics of the theme song match the bold and creative energy alive in these teens. Witty animation sequences add a layer of visual playfulness, but the message remains: Do something before it is too late!”</p> <p>カナダ国立映画制作庁によれば、「『管掌』はティーンエイジャー達に率先して恐怖と増え続ける暴力と急速に変化する社会の中で成長することの脆さに打ち勝つことを示している。ロールプレイングや劇場グループ、同年代の議論、反暴力団体を通じて、これらの若い活動家たちは、彼ら自身と同僚たちをセクシズムやレイシズムそしてホモフォビアに由来する暴力の影響をより深く理解することに向けて自分たちを教育することで、“管掌”してきた。</p> <p>我々は、ティーンエイジャー達が暴力に対して話し、組織してきた個人的な証言と同様に、彼らが先鞭をつけた様々なことを通じて、全ての人々にポジティブなメッセージを送る。『管掌』は見る者に暴力の定義を再検討するように促し、変化をもたらす方法を見せる。</p> <p>主題歌の反抗的な歌詞は、これらのティーンエイジャーの中で生きている大胆で創造的なエネルギーにマッチしている。ウイットに富んだアニメーション場面は視覚的な楽しさの層を加えているが、メッセージは健在だ。手遅れになる前に何かをしろ！」</p>

アンチレイシズムリソースキット

33.

Gabrielle and Joe ガブリエルとジョー	
Source ソース	National Film Board of Canada (2006) 35min カナダ国立映画制作庁(2006) 35 分
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Studies: 9. 1, 10. 1, 10. 2, 20. 1, 20. 1 (Appendix A) C. A. L. M: P4, P7, P10 (Appendix C) 社会学習: 9. 1, 10. 1, 10. 2, 20. 1, 20. 1 (付録 A) キャリアと人生設計: P4, P7, P10 (付録 C)
Grades グレード	9 – 11 中学 3 年～高校 2 年
Overview あらすじ	<p>According to the National Film Board of Canada: “This documentary is about racism in a small, rural blue collar BC town. The story weaves through the lives of two Aboriginal youth who struggle to belong. They team up with other youth to help explore the ongoing segregation and distance imposed by their mostly-white community.</p> <p>Along the way, they confront the community at large, witnessing the viewpoints of their elders, peers, politicians, land owners, educators and law enforcement officers. What they see will change their lives. <i>Produced with the assistance of the NFB's FAP program.</i>”</p> <p>カナダ国立映画制作庁によれば、「このドキュメンタリーは、ブリティッシュコロンビア州の田舎の小さい労働者の町でのレイシズムを扱っている。物語は、溶け込もうと努力する二人の原住民の若者の生活を通じて作られる。彼らは、彼らのほとんど白人で構成されたコミュニティによって強いられた進行する分離と隔たりを調べる手助けをしようとする他の若者たちとチームを形成する。</p> <p>道々、彼らは年長者、同年代、政治家、地主、教育者や司法関係者の視点で目撃することで、コミュニティ一般と対決する。彼らの見る物は彼らの人生を変えるだろう。</p> <p>NFB の FAP(映像制作者支援)プログラムの援助で製作された。」</p>

A Deathly Silence

死の沈黙

Source ソース	CBC (2003) Mount Royal College library 25min 34sec CBC (2003) マウントロイヤルカレッジライブラリ 25 分 34 秒
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Studies: 10. 2 (Appendix A) C. A. L. M: P. 7, P. 10, P. 14, R. 3 (Appendix C) 社会学習: 10. 2 (付録 A) キャリアと人生設計: P. 7, P. 10, P. 14, R. 3 (付録 C)
Grades グレード	10 高校 1 年
Overview あらすじ	<p>This is a documentary that would be useful for many different social studies and anti-racism courses, and is suitable for all levels of understanding. It explores the very timely issues of, but not just limited to, youth and violence, poverty and low-income neighborhoods, race and crime, community-police relations, racial profiling, community initiatives to stop youth violence, family relations, and many more. It allows voices as diverse as that of parents of murder victims, police and law enforcement, community and social workers, and the youth themselves who live in these low-income neighborhoods in Toronto, a form of agency and a chance to express their frustrations and opinions about what is happening around them, and one could sense the hopelessness and fatalism among both many of the youth and parents. This documentary would be good for classes on race/race relations, social class, and social structure, both in upper level and Intro courses.</p> <p>多くの様々な社会研究とアンチレイシズムコースために役に立つドキュメンタリーであり、全てのレベルの理解に対して適切なものである。非常にタイミングの良い、しかし限定的なものではなく、若者と暴力、貧困と低賃金地域、人種と犯罪、コミュニティと警察の関係、レイシャルプロファイリング、若者の暴力を止めるためのコミュニティの施策、家族関係、他にもたくさんの問題を調査している。殺人の犠牲者の両親と警察と司法、コミュニティワーカーとソーシャルワーカー、トロントの低賃金地域に住む若者たち自身、機関の形態と彼らの周りで何が起きているかについて彼らの不満と意見を表す機会、そうしたものと同じくらい多様な声を記録しており、あるものは若者と親たちの多くの中に絶望と運命を感じるかもしれない。このドキュメンタリーは上級レベルと初心者コースの両方に対して、人種階級/人種関係、社会的階層、社会構造を考えるための良い資料である。</p>

Hearts of Hate: The battle for young minds

憎しみの心:若い心の為の戦い

Source ソース	<p>Toronto, ON : Investigative Productions, Inc. (1994) Mount Royal College library 57min トロント, オンタリオ州 : インベスティゲイションプロダクション(1994) マウントロイヤルカレッジライブラリ 57 分</p>
Curriculum Link 関連カリキュラム	<p>C. A. L. M: P. 7, P. 10, P. 14, R. 3 (Appendix C) キャリアと人生設計: P. 7, P. 10, P. 14, R. 3 (付録 C)</p>
Grades グレード	10 高校 1 年
Overview あらすじ	<p>According to Direct Cinema – Personal Use: “This unflinching documentary is an exposé of Canadian racist groups and their frightening influence over young people. <i>Hearts of Hate</i> goes behind the scenes to document young racists and the groups they join: The Heritage Front, Aryan Nations, Church of the Creator, and the Canadian Liberty Net. Penetrating these secretive organizations, filmmaker Peter Raymont examines their manipulative and violent practices — and the power they exert over young minds.</p> <p>In addition to the footage shot inside the white-supremacist movement, the film is comprised of testimonies from young people inside these groups, revelations from a former racist who abandons the movement, victims of violent racist attacks, and a young antiracist activist.</p> <p><i>Hearts of Hate</i> explores the hatred of racist groups and the appalling injuries they inflict on their victims. The film also examines the sophistication of the racist message, how hate groups exploit new technologies to excite and recruit young people. Finally, the film explores how best to stop these menaces to the stability of our society.”</p> <p>ダイレクトシネマ個人使用によると、「この意欲的なドキュメンタリーはカナダ人レイシストグループとその若者への恐るべき影響を暴き立てる。『憎しみの心』は、若いレイリストたちと彼らが参加するグループ(ヘリテージ・フロント(ネオナチグループ)、アーリアン・ネイション(白人優位主義グループ)、創造者協会(白人至上主義者グループ)、カナディアンリバティネット(差別団体))を記録するために舞台裏へ踏む込んでいく。これらの秘密組織を見通すことで、映像製作者であるピーター・レイモントは彼らの統制と暴力活動-そして彼らが若者の中に及ぼす力を調査する。</p> <p>白人優位主義運動の内幕の映像素材に加えて、フィルムはこれらのグループ内部の若者たちからの証言、運動から抜けた元レイリストからの暴露、暴力的なレイリストの攻撃の被害者と若い反レイシズム活動家によって構成される。</p> <p>『憎しみの心』はレイリストグループの憎悪と彼らが被害者に加えるすさまじい被害を調査する。フィルムはまた、レイリストのメッセージの巧みさ、ヘイトグループがどうやって新しいテクノロジーを若者たちを興奮させて仲間にするために利用するかを調査する。最終的に、我々の社会の安寧に対するこれらの脅威を止める最も良い方法を検討する。」</p>

[Canada: We all Belong](#)
 カナダ:私たち皆が属する

Source ソース	National Film Board of Canada (2001) 0min 31sec カナダ国立映画制作庁(2001) 31秒
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Studies: 20. 1, 20. 2 (Appendix A) C. A. L. M: P4, P7, P10 (Appendix C) 社会学習: 20. 1, 20. 2 (付録 A) キャリアと人生設計: P4, P7, P10 (付録 C)
Grades グレード	10, 11 高校 1~2 年
Overview あらすじ	Canada: We All Belong is a 30 second public service announcement which promotes tolerance, respect and a sense of community amongst all Canadians. 『カナダ:私たち皆が属する』は全てのカナダ人の間の寛容、敬意と共同体意識を促進する 30 秒の公的サービス情報である。

Indecently Exposed

無作法に暴かれた

Source ソース	<p>Canadian Broadcasting Corporation (2005) Mount Royal College library 25min 34sec カナダ放送社(2005) マウントロイヤルカレッジライブラリ 25 分 34 秒</p>
Curriculum Link 関連カリキュラム	<p>Social Studies: 20. 1, 20. 2 (Appendix A) C. A. L. M: P. 7, P. 10, P. 14, R. 3 (Appendix C) 社会学習: 20. 1, 20. 2 (付録 A) キャリアと人生設計: P. 7, P. 10, P. 14, R. 3 (付録 C)</p>
Grades グレード	<p>10 – 12 高校 1~3 年</p>
Overview あらすじ	<p>According to Knowledge Network: “Anti-racism expert Jane Elliott leads her renowned workshop in discrimination in this documentary that challenges Canadian attitudes towards Native Canadians and exposes systematic racism in Canada. Jane Elliott divides the 22 Canadians attending the workshop into two groups – the “blue eyes” and the “brown eyes” – and then discriminates against the blue eyes, thus creating a microcosm of society which teaches the blue eyes what it is like to be a target of discrimination. The intensity of the situation and the confrontational techniques force the participants to re-evaluate their behavior and to examine new ways to interact.”</p> <p>ナレッジネットワークによると、「アンチレイシズムの専門家であるジェーン・エリオット(訳注:既訳のアンチレイシズムツールキット活動セットに碧眼茶眼シミュレーションの作者として名前だけ登場している)は、先住民たちに向けられたカナダ人の態度に挑戦し、カナダの組織的なレイシズムを暴くこのドキュメンタリーで、差別に関する彼女の有名なワークショップを指導する。ジェーン・エリオットはワークショップに参加した22人のカナダ人を2つのグループに分ける。“青い目”と“茶色の目”に。それから青い目のグループを差別する。そうして青い目のグループに差別のターゲットになることがどんなことか教える社会の小宇宙を作り出す。状況の強さと対立の技術が参加者達に、彼らの振る舞いを再評価させ、新しい関係の在り方を検討させる。」</p>
Resources リソース	<p>A facilitator's guide can be found at the following website: http://www.newsreel.org/guides/blueeyed.htm This website includes the following:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Introduction: Diversity Training Today • Background: Jane Elliott and the “Blue-eyed/ Brown-eyed” Exercise • Jane Elliott’s Unique Approach to Diversity Training • A Synopsis of Blue Eyed • Using Blue Eyed in Organizational Settings • Using Five Common Viewer Reactions to Blue Eyed as Discussion Starters • Applying Blue Eyed to Your Organization: Eight Discussion Points • Bringing Closure to Your Screening: Four Paths for Personal Action • Acknowledgments <p>ファシリテーターガイドがニュースリールのウェブサイトにある。 このウェブサイトは、以下のものを含む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イントロダクション: 今日のダイバーシティトレーニング ・バックグラウンド: ジェーン・エリオットと“碧眼/茶眼”エクササイズ ・ジェーン・エリオットのダイバーシティトレーニングのユニークなアプローチ ・碧眼の梗概 ・組織的な設定で碧眼を用いる ・議論の開始点としての 5 人の一般人閲覧者の反応 ・あなたの組織に対する碧眼の適用: 八つの議論のポイント ・あなたのスクリーニングのまとめ: 個人的な活動に向けた四つの方法 ・謝辞

Blue Eyed

青い目

Source ソース	<p>San Francisco, CA : California Newsreel (1996) Mount Royal College library 45min サンフランシスコ, カリフォルニア州 : カリフォルニアニュースリール (1996) マウントロイヤルカレッジライブラリ 45 分</p>
Curriculum Link 関連カリキュラム	<p>C. A. L. M: P. 7, P. 10, P. 14, R. 3 (Appendix C) キャリアと人生設計: P. 7, P. 10, P. 14, R. 3 (付録 C)</p>
Grades グレード	<p>10 – 12 高校 1~3 年</p>
Overview あらすじ	<p>According to California Newsreel: “Blue Eyed lets viewers participate vicariously in the “Blue-Eyed/brown eyed” exercise. In the video, we see adults from Kansas City, Missouri, who were invited by a local organization, “Harmony,” to take part in a workshop about appreciating diversity. We watch as the group is divided according to eye color. Since the blue-eyed people are “on the bottom” they are crowded into a small, hot room without enough chairs and watched by strict security. Jane Elliott leaves them for a long while without any information while she prepares the brown-eyed people to be “on the top.” The brown-eyed people are given answers to test questions and instructed to demean the blue-eyed people. When the blue-eyed people are brought into the room, some are required to sit at the feet of the brown-eyed people as Jane Elliott treats them according to negative traits that are commonly assigned to people of color, women, lesbians and gay men, people with disabilities, and other non-dominant members of society.</p> <p>Jane Elliott is unrelenting in her ridicule and humiliation of the blue-eyed people. When participants express sadness, shame, or tears, she drills in the point that participants only have to live this reality during the workshop, while people of color receive this treatment for a lifetime. Despite the fact that the group is participating voluntarily and, to some extent, knows what to expect, it seems clear that the exercise is painful. The blue-eyed participants experience humiliation and powerlessness. The participants of color watch as white people learn what they already know to be true. Later in the film, people of color talk about the stress of being denied housing, job opportunities and dignity as parents. Interspersed between clips of the exercise we see Jane Elliott in her home and on the streets of her community describing the origins and consequences of the exercise. She describes, with great emotion, how her family has been harassed and ostracized as a result of her efforts to educate white people about racism.”</p> <p>カリifornニアニュースリールによると、「『青い目』」は視聴者を“碧眼/茶眼”エクササイズに間接的に参加させる。このビデオでは、我々は多様性を認めることに関するワークショップに参加するための地方組織“ハーモニー”によって招かれたミズーリ州カンザスシティからの成人たちを見る。我々はグループが目の色によって分けられるのを観察する。青い目の人々は“底辺にいる”ので、彼らは狭くて暑い十分な椅子のない部屋におしこめられ、厳格な警備によって監視される。ジェーン・エリオットは、茶色の目の人々に“頂点”に置く準備をさせる間、彼らをしばらくの間、何の情報も与えずに放置する。茶色の目の人々はテストの問題に対する答えを与えられ、青い目の人々の品位を貶めるように指図される。青い目の人々が部屋に連れてこられたとき、青い目の人々は茶色の目の人々にひざまずくように要求される。ジェーン・エリオットが彼らを有色人種や女性、レズビアンやゲイ、障害者そして社会の被支配的なメンバーに一般的に割り当てられたネガティブな特色によって扱う様に。ジェーン・エリオットは青い目の人々をあざけり屈辱を与えることに容赦しない。参加者が悲しみや恥ずかしさ、涙を見せたら、彼女は、参加者はこの現実をワークショップ期間中だけ生きればよいが、有色人種はこの扱いが生涯にわたるという点を厳しく教え込む。グループは志願して参加しているという事実にもかかわらず、そしていくらかは予想すべきことを知っているにもかかわらず、このエクササイズが苦行であることは明らかに思える。青い目の参加者たちは屈辱と無力感を経験する。有色人種の参加者は、彼らがすでに知っていることが本当の事であると学ぶのを見る。映画の後半では、有色人種の人々が、賃貸契約や求職や親としての尊厳を否定されることのストレスについて語る。</p> <p>エクササイズの場面の間の時々に、我々は自宅や彼女のコミュニティのある街角にいるジェーン・エリオットがこのエクササイズの起源と結果について説明するのを見る。彼女は、彼女の白人にレイシズムについて教育しようとする努力の結果として、いかに彼女の家族が嫌がらせや排斥をされてきたかを、強い意欲を持って述べる。」</p>

アンチレイシズムリソースキット

A facilitator's guide can be found at the following website:
<http://www.newsreel.org/guides/blueeyed.htm> This website includes the following:

- Introduction: Diversity Training Today
- Background: Jane Elliott and the "Blue-eyed/ Brown-eyed" Exercise
- Jane Elliott's Unique Approach to Diversity Training
- A Synopsis of Blue Eyed
- Using Blue Eyed in Organizational Settings
- Using Five Common Viewer Reactions to Blue Eyed as Discussion Starters
- Applying Blue Eyed to Your Organization: Eight Discussion Points
- Bringing Closure to Your Screening: Four Paths for Personal Action
- Acknowledgments

Resources

リソース

ファシリテーターガイドが[ニュースリールのウェブサイト](http://www.newsreel.org/guides/blueeyed.htm)にある。

このウェブサイトは、以下のものを含む。

- イントロダクション: 今日のダイバーシティトレーニング
- バックグラウンド: ジェーン・エリオットと“碧眼/茶眼”エクササイズ
- ジェーン・エリオットのダイバーシティトレーニングのユニークなアプローチ
- 碧眼の梗概
- 組織的な設定で碧眼を用いる
- 議論の開始点としての 5 人の一般人閲覧者の反応
- あなたの組織に対する碧眼の適用: 八つの議論のポイント
- あなたのスクリーニングのまとめ: 個人的な活動に向けた四つの方法
- 謝辞

Race, the Floating Signifier

人種、うつろう記号

Source ソース	Northampton, MA : Media Education Foundation (1996) Mount Royal College library 25min 34sec ノーザンpton, マサチューセッツ州 : メディア教育基金(1996) マウントロイヤルカレッジライブラリ 25 分 34 秒
Curriculum Link 関連カリキュラム	C. A. L. M: P. 7, P. 10, P. 14, R. 3 (Appendix C) English: 10, 20, 30 (Appendix D) キャリアと人生設計: P. 7, P. 10, P. 14, R. 3 (付録 C) 英語: 10, 20, 30 (付録 D)
Grades グレード	10 – 12 高校 1~3 年
Overview あらすじ	According to the Media Education Foundation: “Arguing against the biological interpretation of racial difference, Hall asks us to pay close attention to the cultural processes by which the visible differences of appearance come to stand for natural or biological properties of human beings. Drawing upon the work of writers such as Frantz Fanon, he shows how race is a ‘discursive construct’ and, because its meaning is never fixed, can be described as a ‘floating signifier.’” メディア教育基金によると、「人種的な違いに関する生物学的解釈に対し議論することで、ホールは我々に、外見の違いが人類の本来のまたは生物学的な特性を表すようになる文化的なプロセスに細心の注意を払う様に頼む。フランツ・ファンののような著者たちの作品を使って、彼は人種がいかに“漠然とした構成概念”であるかを示し、その意味は決して固定されないために、“うつろう記号”として記述されるかもしれない。」
Resources リソース	The Reference Edition features, unedited, the full lecture that Hall delivered at Goldsmith's College in London (65 min), as well as the 20-min question-and-answer session that followed. 解説版は、無編集の、ホールがロンドンのゴールドスミスカレッジで行ったレクチャー(65 分)全体であり、続く 20 分の質疑応答セッションを特徴としている。

The Angry Eye 怒りの目	
Source ソース	Orangeville, Ont. : McIntyre Media (2001) Mount Royal College library 35min オレンジビル, オンタリオ州 : マッキンタイヤメディア(2001) マウントロイヤルカレッジライブラリ 35 分
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Studies: 20. 1, 20. 2 (Appendix A) C. A. L. M: P. 7, P. 10, P. 14, R. 3 (Appendix C) 社会学習: 20. 1, 20. 2 (付録 A) キャリアと人生設計: P. 7, P. 10, P. 14, R. 3 (付録 C)
Grades グレード	10 – 12 高校 1~3 年
Overview あらすじ	<p>According to California Newsreel: “Hailed as ‘a fascinating revisit’ to the famous 1968 Blue-Eyes/Brown-Eyes Exercise in discrimination by Jane Elliott, this film documents the effects of racial prejudice with startling force and emotional intensity.</p> <p>Taking pigmentation – in this case, eye color – as an arbitrary dividing line, Jane Elliott builds a microcosm of contemporary American society, compelling her more privileged blue-eyed participants to live in another world for the longest two and a half hours of their lives.</p> <p>The Angry Eye skillfully interweaves the young adults in the exercise with post-session interviews that show the participants struggling to come to terms with their recent experiences. Through the intense and often painful emotions that the exercise provokes shines a hope that, someday, we will overcome the capricious lines that divide us – if only we can learn to accept and appreciate our differences.”</p> <p>カリフォルニアニュースリールによると、「有名な 1968 年のジェーン・エリオットによる碧眼茶眼差別エクササイズに対して“素晴らしい再訪”として称賛された、このドキュメンタリーは驚異的な力と感情的な強さを持つ人種偏見の影響を記録している。</p> <p>色素を持つこと—この場合、目の色—を恣意的な境界線として、ジェーン・エリオットは、より特権的な青い目の参加者たちに、彼らの人生の中で最も長い 2.5 時間を別世界で生きるように強制し、同時代のアメリカ社会を模した小宇宙を作り上げる。</p> <p>『怒りの目』は巧みにエクササイズ中の青年たちと、彼らの最近の経験と折り合いをつけようと努力している参加者を見せるそのセッション後のインタビューを織り交ぜる。このエクササイズが引き起こす強烈でしばし苦痛を伴う感情を通じて、いつの日か、我々は、我々を分け隔てるあやふやな線に打ち勝つだろうという希望に光を当てる。-もし我々が我々の違いを受け入れ、称賛することが出来さえすれば。</p>
Resources リソース	<p>A facilitator’s guide can be found at the following website: http://www.newsreel.org/guides/blueeyed.htm This website includes the following:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Introduction: Diversity Training Today • Background: Jane Elliott and the “Blue-eyed/ Brown-eyed” Exercise • Jane Elliott’s Unique Approach to Diversity Training • A Synopsis of Blue Eyed • Using Blue Eyed in Organizational Settings • Using Five Common Viewer Reactions to Blue Eyed as Discussion Starters • Applying Blue Eyed to Your Organization: Eight Discussion Points • Bringing Closure to Your Screening: Four Paths for Personal Action • Acknowledgments <p>ファシリテーターガイドがニュースリールのウェブサイトにある。 このウェブサイトは、以下のものを含む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イントロダクション: 今日のダイバーシティトレーニング ・バックグラウンド: ジェーン・エリオットと“碧眼/茶眼”エクササイズ ・ジェーン・エリオットのダイバーシティトレーニングのユニークなアプローチ ・碧眼の梗概 ・組織的な設定で碧眼を用いる ・議論の開始点としての 5 人の一般人閲覧者の反応 ・あなたの組織に対する碧眼の適用: 八つの議論のポイント ・あなたのスクリーニングのまとめ: 個人的な活動に向けた四つの方法 ・謝辞

Journey to Justice

正義への旅

Source ソース	<p>National Film Board of Canada (2000) NFB Order # C9100 077 Alberta Civil Liberties Research Centre Library University of Calgary Doucette library</p> <p>47min 8sec カナダ国立映画制作庁(2000) NFB 注文ナンバー C9100 077 アルバータ市民自由調査センターライブラリー カルガリー大学ドゥセッテライブラリー 47 分 8 秒</p>
Curriculum Link 関連カリキュラム	<p>Health and Life Skills: W-8. 4, W-9. 4 (Appendix A) C. A. L. M: P. 7, P. 10, P. 14, R. 3 (Appendix B)</p> <p>Law Sociology</p> <p>健康と生活のスキル: W-8. 4, W-9. 4 (付録 A) キャリアと人生設計: P. 7, P. 10, P. 14, R. 3 (付録 B)</p> <p>法律 社会学</p>
Grades グレード	<p>7-12 中学 1 年～高校 3 年</p>
Overview あらすじ	<p>According to the National Film Board of Canada: "Journey to Justice pays tribute to a group of Canadians who took racism to court. They are Canada's unsung heroes in the fight for Black civil rights. Focusing on the 1930s to the 1950s, this film documents the struggle of six people who refused to accept inequality. Viola Desmond insisted on keeping her seat at a Halifax movie theatre in 1946 rather than moving to the section normally reserved for the city's Black population. Fred Christie was denied service at a Montreal tavern because of his skin color and took his case to the Supreme Court in 1936. Hugh Burnette and Bromley Armstrong pressured the Ontario government to enact fair accommodation practices in the 1940s. Donald dedicated his life to reforming Canada's biased immigration policy. Stanley G. Grizzle, president of the Toronto Brotherhood of Sleeping Car Porters, worked to ensure fair employment practices for his predominantly Black union members.</p> <p><i>These brave pioneers helped secure justice for all Canadians. Their stories deserve to be told.</i></p> <p>カナダ国立映画制作庁によれば、「『正義への旅』はレイシズムを法廷へ訴えたカナダ人たちへ敬意を表するものである。彼らは黒人公民権の戦いにおいてカナダの忘れられたヒーローたちである。1930 年代から 50 年代にかけて、この映画は不平等を受け入れることを拒んだ 6 人の人々の努力を追いかけたものである。ヴァイオラ・デズモンドは 1946 年、ハリファックス劇場の席を立って黒人用の席に移動しないことを主張した。フレッド・クリスティは肌の色のせいでモントリオールの酒場でのサービスを拒否され、彼の訴えは 1936 年に最高裁に持ち込まれた(訳注: 既訳のアンチレイシズムツールキット活動セットの『クリスティ氏の不運』で扱われている。)。ヒュー・バーネットとブロムリー・アームストロングは公正便宜実践法(通常市民が使える公共物やサービスの使用を特定の人や集団に対して拒否できないとする法律)の施行の為にオンタリオ州政府に圧力をかけた。ドナルドは彼の生涯をカナダの偏向した移民政策の改正にささげた。寝台車ポーター組合の会長であったスタンリー・G・グリズルは、彼のほとんど黒人で占められた組合員の為に公正な雇用の実施を確実にするために働いた。これらの勇敢なパイオニアたちは、全てのカナダ人の為の確実な正義に貢献した。彼らの物語は語られる価値がある。</p>

Speak It! From the Heart of Black Nova Scotia

それを話しなさい！黒いノヴァスコーシャの魂から

Source ソース	National Film Board of Canada, 1993, 28:50 min NFB Order # C9192 139 Alberta Civil Liberties Research Centre Library カナダ国立映画制作庁, 1993, 28 分 50 秒 NFB 注文ナンバー C9192 139 アルバータ市民自由調査センターライブラリー
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Curriculum: English: Health and Life Skills: C. A. L. M: 社会カリキュラム 英語 健康と生活のスキル キャリアと人生設計
Grades グレード	10-12 高校 1~3 年
Subject 主題	The film centres around a group of Black high school students in Nova Scotia speaking out about the silencing in educational materials of black cultural experiences in the Maritimes. このフィルムは、マリティメス地区の黒人文化体験の教材の沈黙について意見を述べたノヴァスコーシャの黒人の高校生グループを中心している。
Resources リソース	Excerpts from a series of stage monologues representing figures from Black history in the province are shown. Another excerpt shows students in a group with 2 Black teachers rapping and beatboxing which appeared somewhat stereotypical. The film demonstrates how much even a small group of students can do to create local awareness about minority contributions to Canada's history and culture, and in the process learn something about themselves. この地区の黒人の歴史を象徴する一連の独白劇からの抜粋が示される。別の抜粋は、グループの中の学生達と 2 人の黒人教師が、ややステレオタイプ的に表れるラップとビートボックスを見せる。フィルムはカナダの歴史と文化に対するマイノリティの貢献についての地域の自覚を作り出すために、小さな学生のグループでさえどれだけの事ができるかを示している。そしてそのプロセスの中で彼ら自身について何かを学ぶ。

When Strangers Reunite

余所者と再会するとき

Source ソース	National Film Board of Canada, 1999, 52:00 min NFB Order # C9199 019 Alberta Civil Liberties Research Centre Library カナダ国立映画制作庁, 1999, 52 分 NFB 注文ナンバー C9199 019 アルバータ市民自由調査センターライブラリー
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Curriculum: English: Health and Life Skills: C. A. L. M: 社会カリキュラム 英語 健康と生活のスキル キャリアと人生設計
Grades グレード	10-12 高校 1~3 年
Subject 主題	The film is useful in presenting the lives of immigrants who enter Canada as virtual refugees, separated from their family and working subsistence jobs to send any money possible back home この映画は、家族から引き離され、自給自足の仕事を働いて可能な限りのお金を家に送る事実上の難民としてカナダに入ってきた移民の生活を提示するのに役に立つ。
Resources リソース	The struggle to reunite the family in Canada is a long one, and there are many issues in attempting to reintegrate as a unit after many years apart. Everyone (including the narrator) is from the Philippines and it's a great portrait of the Filipino expatriate community and the problems they face integrating into Canadian society. The film would assist people in understanding what the children of these families are going through, and would explain some of the difficulties they have in adjusting to life in Canada. カナダで家族と再会するための努力は長引く。そして何年もたった後、一つに再統合することを試みることには多くの問題が発生する。全ての登場人物は(ナレーターを含んで)、フィリピン出身で、それはカナダのフィリピン人社会と彼らが直面するカナダ社会への統合の問題の大いなる肖像である。このフィルムは人々がこれらの家族の子供たちが切り抜けてきたものを理解するのを手助けし、カナダの生活に合わせるために彼らが直面する困難さの一部を明らかにする。

[An Educators' Guide to Racial & Sexual Harassment in Schools](#)
 教育者の為の校内レイシャル＆セクシャルハラスメントガイド

Source ソース	Canada Law Book, 21:30 min Alberta Civil Liberties Research Centre Library カナダ法律書, 21分30秒 アルバータ市民自由調査センターライブラリー
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Curriculum: English: Health and Life Skills: C. A. L. M: 社会カリキュラム 英語 健康と生活のスキル キャリアと人生設計
Grades グレード	Teacher Resource 教師向け
Subject 主題	This film features a dialogue between a school principal and an education lawyer describing what constitutes racial and sexual harassment in an educational environment, and what the responsibilities of educators and administrators are. このフィルムは、こういく環境で人種的そして性的なハラスメントを構成するものは何か、そして教育者と管理者の責任とはどんなものかについての校長と教育法律家の間の対話を特徴とする。
Resources リソース	The film is an excellent guide for making sure educators are doing everything they can to keep the school environment free of harassment, including defining a harassment policy and setting up complaint resolution procedures. The lawyer offers tips on how a school board can prevent legal liability as well. There are, however, no examples of actual situations; nor does the film cover educational strategies to combat racial or sexual harassment. このフィルムは、教育者が彼らが学校環境をハラスメントがない状態に維持するためにできることをすべてやっているかを確認するためのすばらしいガイドであり、ハラスメント対策方針の定義と苦情対応手順の設定を含んでいる。法律家は、教育委員会がどうすれば法的責任をうまく回避できるかの秘訣を提供する。しかしながら、現実の状況の例は存在せず、人種的及び性的ハラスメントと戦う教育的戦略もこのフィルムはカバーしない。

The Road Home 家路	
Source ソース	Alberta Multiculturalism Commission, 1992, 50:00 min Alberta Civil Liberties Research Centre Library アルバータ州多文化主義委員会, 1992, 50 分 アルバータ市民自由調査センターライブラリー
Curriculum Link 関連カリキュラム	Social Curriculum: English: Health and Life Skills: C. A. L. M: 社会カリキュラム 英語 健康と生活のスキル キャリアと人生設計
Grades グレード	7-12 中学 1 年～高校 3 年
Subject 主題	The Road Home presents an overview of diverse Albertans and their contributions to the province's culture. 『家路』は多様なアルバータ州民と彼らの地域文化への貢献の概観を提示する。
Resources リソース	Some Albertans are 2nd generation Ukrainian immigrants, some are Vietnamese refugees. A Holocaust survivor as well as a Trinidadian poet are featured. Both rural and urban experiences of immigration are shown. The film explores what constitutes the modern Canadian identity by showcasing the bits-and-pieces contributions to the mosaic by people of many different origins. The narration also changes between multicultural voices. 一部のアルバータ州民は第 2 世代のウクライナ系移民である。ヴェトナム難民もいる。トリニダート人詩人と同様、ホロコースト生存者も登場する。田舎と都会の両方の移民の経験が見られる。このフィルムは、多くの異なる起源の人々によるモザイクへの断片的な貢献を披露することで、現代のカナダ人のアイデンティティを構成するものが何かを調査する。ナレーションもまた多文化的な複数の声の間を変化する。

46.

Hopes and Dreams: Stories from Young Refugees

希望と夢:若い難民たちの物語

Source ソース	Alberta Civil Liberties Research Centre, 2003, 25 min アルバータ市民自由調査センターライブラリー, 2003, 25 分
Curriculum Link 関連カリキ ュラム	Social Curriculum: English: Health and Life Skills: C. A. L. M: 社会カリキュラム 英語 健康と生活のスキル キャリアと人生設計
Grades グレード	7-12 中学1年～高校3年
Overview あらすじ	<p>Every day, somewhere in the world, people of all ages become refugees. People flee their home countries for many reasons such as war, famine, political or religious persecution, torture and even genocide. This can be particularly difficult for young people who, in the chaos and confusion of escape, can become separated from their parents. Many of them end up living in refugee camps without what we would consider the basic essentials of life—things like electricity, running water, and even food. In this video, you will meet a few of these young people who were forced to give up everything and flee their home countries. They talk about the barriers they faced including starting school not knowing any English, making friends and finding a job. Some of the biggest obstacles to acceptance are entrenched prejudices and discrimination. Many refugees encounter discrimination daily and in this video, they also talk about these experiences. These young people share their personal stories with the hope that their experiences will foster a greater understanding and tolerance of the plight of the refugee.</p> <p>毎日、世界のどこかで、全ての年代の人々が難民になっている。故国を様々な理由で逃れてきた。戦争、飢餓、政治的または宗教的迫害、拷問、そしてジェノサイド。逃亡の混乱と混沌の中で、両親と離ればなれになった子も知れない若者たちにとって、これは特に難しいかもしれない。彼らの多くが、我々が思い描くような基本的な生活必需品(電気、水道、そして食料さえ)もなしに、最後は難民キャンプに住むことになった。</p> <p>このビデオでは、あなたはすべてを諦めさせられ、彼らの故国を逃れてきたこれらの若者たちの何人かに会うだろう。彼らは、英語を知らずに学校に通うようになること、友達を作り、仕事を見つけることを含む、彼らが直面した壁について語る。受け入れることに対する最も大きな障害のいくつかは、根強い偏見と差別である。多くの難民が日常的に差別に見舞われており、このビデオでは彼らはまたこれらの経験について語る。これらの若者たちは、彼らの個人的な物語を彼らの経験が難民の窮境に対するより大きな理解と寛容を育てるだろうという希望を持って共有する。</p>
Resources リソース	Includes a video user's guide with teaching materials and glossary. 教材と用語集を含むビデオユーザーズガイド付き。

Alberta Civil Liberties Research Centre

Research Centre Publications

Please indicate choice(s) and fill out information form:

The Rights Angle: Human Rights Education Using the Newspaper—Teacher & Student Materials. Background information for teachers, and student activities on human rights, the newspaper, the Charter, hate crimes, war crimes and applicable laws, suitable for secondary students. Includes reproducible handouts and overheads. 150+ pages. **Please indicate which province or territory's you would like.** Updated 2008. ISBN# 1-896225-24-1 (\$35 + \$5 s/h).

Know Your Rights in the Workplace: A Youth Employment Law Handbook. Question and answer format deals with legal and other employment issues faced by youth in Alberta: employment standards, discrimination and harassment, work and age, salary, benefits, hours of work and breaks, overtime, safety and working conditions, holidays, and being fired. Includes a resource section and learning exercises. 145+ pages. 2008. ISBN # 1896225-24-56-X. (\$25 + \$5 s/h)

Freedom to Be: A Teachers' Guide to Sexual Orientation, Gender Identity and Human Rights. Background information and resources for teachers and students on lesbian, gay, bisexual and trans-identified youth. Includes applicable laws; suitable for grades 9 and up. 116+ pages. 2007. ISBN# 1-896225-52-7. (\$25 + \$5 s/h)

Anti- Racism Resource Kit. This Resource Kit is part the Anti-Racism Curriculum and Mentoring Project, and connected specifically to curriculum part of the project. The intent of the project is to promote and facilitate anti-racism education, at all levels of the formal education system. The goal is to ensure that every student receives appropriate and effective anti-racism education and support to address personal experiences of racism and enhance safety in self-affirming and productive ways. Includes books, websites and videos for teachers K-12. 130+ pages Updated 2009. ISBN# 1-896225-50-0 (\$25 + \$5 s/h)

Techno-tonomy: Privacy, Autonomy and Technology in a Networked World Teacher and student material on the nature and value of identity, anonymity and authentication, the constitutional and legal aspects of anonymity and the new technologies which have changed our world. Includes a CD-Rom with interactive student activities, handouts and overheads. Suitable for grade 9 and up. 76+ pages 2007. ISBN # 1-896225-48-9 (\$25 + \$5 s/h).

Refugees and Discrimination: Teacher and Student materials. Background information for teachers, and student activities on refugees in Canada. Includes applicable laws, suitable for secondary school students. 190+ pages. 2006. ISBN# 1-896225-43-8 (\$35 + \$5 s/h).

Family Law: Don't Get Lost in the Shuffle: Adult Handbook. Answers questions that young people have about separation and divorce. Intended to assist adults. Can be used alone or with Don't Get Lost in the Shuffle Cards (Contact CLERC for information on these cards at (403) 207-9029). 32 pages. 2005. ISBN# 1-896225-39-X (\$7 + \$3 s/h).

Adoption Handbook. Answers questions that young people have about adoption. Intended to assist adults. 28 pages. 2006. ISBN# 1-896225-41-1 (\$7 + \$3 s/h).

...but words DO hurt: Stories from GLBTT Youth Video. 30 mins. In this video, you will meet young people who identify as GLBTT. They talk about identity issues, the media, coming out, their family, their experiences in school and their hopes for the future. Some of the biggest obstacles they face include discrimination and name-calling and they share some of these experiences. Includes guidebook 2005. Check here for order information.

Butt Out: Smokers and Anti-Smoking Bylaws in Alberta. Despite the fact that several municipalities have passed bylaws that restrict or prohibit smoking in public places, a number of persons continue to smoke. Examines the possible challenges to anti-smoking bylaws, the cases that have involved these challenges and whether there may be an argument that smoking is a disability under the Charter. 38 pages. 2004 ISBN #1-896225-33-0. (\$10 + \$3 s/h)

Religion in Public School—The Alberta Situation. Examines the unique situation in Alberta regarding constitutional protection for prayers in public schools. Looks at the issue in the context of the Charter of Rights guarantee of freedom of religion, which includes freedom from religion. 48 pages. 2004. ISBN# 1-896225-29-2. (\$12 + \$3 s/h).

Freedom of Expression and Its Limitations in Canada: Background Materials and Learning Activities. Includes background activities and suggested learning activities (grades 7 to 12 and beyond) on freedom of expression law, Charter issues, obscenity law, defamation, hate laws and related issues of interest to youth. 176 pages. 2004. ISBN# 1-896225-25-X. (\$30 + \$5 s/h).

Annotation of the Human Rights, Citizenship and Multicultural Education Act (2003 Edition) Contains full text of the Alberta Act, as amended, by-laws, current caselaw and panel decisions. Includes table of concordance, glossary and other resources. 110 pages. 2003. ISBN# 1-896225-27-6 (\$22 + \$3 s/h).

Hopes and Dreams: Stories from Young Refugees (video (25 mins. and guidebook 60+ pages) 2002. ISBN #1-896225-38-1. Check here to receive ordering information.

Rights and Responsibilities in Canada: Young Offenders. Basic guide to laws and procedures involving Canada's new Youth Criminal Justice Act. Covers procedures, being questioned by police, search and seizure, rights of arrested persons, bail, first appearance in court, trials and finding a lawyer. 45+ pages. 2003. ISBN#1-896225-32-2 (\$13 + \$3 s/h).

Privacy Handbook for Canadians: Your Rights and Remedies by ACLRC and Brian Edy. Two Volumes full of user-friendly information about government and private sector privacy laws that affect all Canadians. 2002. Vol.

アンチレイシズムリソースキット

1 350 pages, ISBN # 1-896225-34-9. Vol. 2 150+ pages, ISBN # 1-896225-36-5 (**Both: \$59 + \$10 s/h**).

_____ *Freedom of Expression and all that Jazz* (video). Intended for secondary school and up. Provides an overview of laws about freedom of expression and the legal limits placed on it in Canada. Discussion group format. Includes a user's guidebook. 40+ pages. 2001. ISBN #1-896225-30-6. Check here to receive ordering information.

_____ *Seniors and the Law: A Resource Guide* by Anna Pellatt, LL.M. In a question-answer format, provides an overview of issues facing seniors, including abuse, mental health, personal directives, powers of attorney and consumer protection. Includes a glossary and list of Alberta agencies. 160 pages. 2000. ISBN #1-896225-28-4. (**\$25 + \$5 s/h**).

_____ *Harassment and What You Can Do About It* (video). Intended for ages 12 and up. Provides an overview of laws on harassment: racial, sexual and other types, using scenarios and featuring youth. Includes user's guide. 17 mins. 2000. ISBN#1-896225-26-8. (**\$22 + \$3 s/h**).

_____ *The Rights Angle: Human Rights Education Using the Newspaper—Teacher and student materials*. Background information for teachers, and student activities on human rights, the newspaper, the Charter, hate crimes, war crimes and applicable laws, suitable for secondary school students. Includes reproducible handouts and overheads. 150+ pages. 1999. ISBN# 1-896225-24-1 (**\$35 + \$5 s/h**).

_____ *United Nations Convention on the Rights of the Child: How Does Alberta's Legislation Measure Up?* by Anna Pellatt, LL.M. uses a star rating system to assist in analyzing the degree to which Alberta legislation complies with the UN Convention. Appendices include the Convention, a checklist for analysis, a summary of recommendations, a list of pertinent legislation and a compliance chart. 260+ pages. 1999. ISBN #1-896225-23-3 (**\$20 + \$5 s/h**).

**Special discount price.

No s/h costs if items are picked up. Discount in s/h available if more than 2 copies of the same item are ordered. Please contact office.

Please make cheques payable to the Alberta Civil Liberties Research Centre. Visa/MasterCard Accepted (see below). No GST is payable.
Amount Enclosed _____

Publication Order

Name:.....

Address:.....

City, Province Postal Code

Please mail completed form and payment to:

Alberta Civil Liberties Research Centre
c/o University of Calgary, Faculty of Law
2500 University Drive N.W.
Calgary, Alberta, Canada T2N 1N4
Tel: (403) 220-2505
Fax: (403) 284-0945

email: aclrc@ucalgary.ca

We take Visa/ MasterCard

Visa _____ MasterCard _____

Card Number _____

Expiry Date _____

Name on Card _____